

目で見る渋高70年

# 懐嶺



1920  
~  
1990



群馬県立渋川高等学校「榛嶺——目でみる渋高70年」

群馬県立渋川高等学校創立70周年記念

応援歌

武井民部 作詞  
松本 匠 作曲

群馬県立渋川高等学校

応援歌

作曲 松本 匠  
作詞 武井民部

一 榛嶺青く

健児等が集う学び舎  
新たにも歴史を重ね  
大銀杏仰ぎ鍛えて  
たくましく心と技で  
打ち勝たん  
勝利の叫び  
赤城山嶺と返せ  
高らかに

二 利根の流れを見晴らす

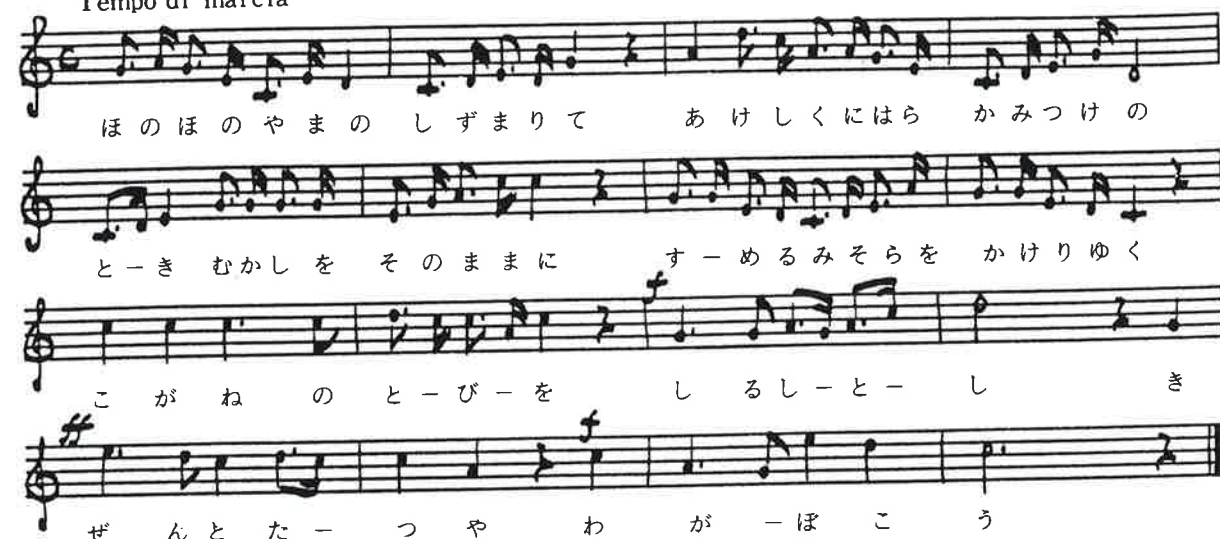
我等が母校  
今ここに歴史を重ね  
赤城山仰ぎ鍛えて  
たくましく心と技で  
打ち勝たん  
勝利の誉れ  
榛名山ともに讃えん  
巖かに



# 渋川中学校校歌

川窪千峰 作詞  
平岡均之 作曲

Conbrio  
Tempo di marcia



一、炎<sup>は</sup>の山の鎮<sup>しづ</sup>りて  
明けし国原<sup>くにがは</sup>上毛<sup>じやうもう</sup>の  
遠<sup>とほ</sup>き往古<sup>むかし</sup>をそのまゝに  
澄<sup>すみ</sup>める深空<sup>ふかそら</sup>を翔<sup>はば</sup>りゆく  
黄金<sup>こがね</sup>の鵒<sup>わづら</sup>を徽章<sup>えいしやう</sup>とし  
巍<sup>たい</sup>然<sup>ぜん</sup>と立つや吾母校  
二、一州<sup>いちしゅう</sup>に野を展<sup>ひら</sup>げたる  
全<sup>まこと</sup>き姿<sup>すがた</sup>や赤城<sup>あかぎ</sup>嶺<sup>の</sup>  
高<sup>たか</sup>きに向<sup>むか</sup>ふ衝<sup>しやう</sup>天<sup>てん</sup>の  
吾等<sup>われら</sup>が意<sup>い</sup>氣<sup>ぎ</sup>を人知<sup>ひとし</sup>るや  
雄飛<sup>ゆうと</sup>惣海<sup>そうかい</sup>内に  
輝<sup>かがや</sup>け毛野<sup>けの</sup>の歴史<sup>れきし</sup>こそ

## 渋川中学校校歌(旧制)

三、巖<sup>いわ</sup>に激<sup>げき</sup>し淵<sup>ふち</sup>となり  
百河<sup>ひやくが</sup>を合<sup>あ</sup>し東<sup>ひがし</sup>に  
久遠<sup>くゑん</sup>の流れ大利根<sup>だうり</sup>の  
時代<sup>じだい</sup>は移<sup>うつ</sup>れ掲<sup>か</sup>げたる  
不変<sup>ふへん</sup>の理想<sup>りしやう</sup>目指<sup>めざ</sup>しつゝ  
極<sup>きよく</sup>知<sup>ち</sup>れぬ行手<sup>ゆきで</sup>かな  
四、見<sup>み</sup>よや榛名<sup>しづな</sup>の嶺<sup>の</sup>に懸<sup>か</sup>る  
日は燦爛<sup>さんらん</sup>の紅<sup>こう</sup>の色<sup>いろ</sup>  
燃<sup>も</sup>ゆる血潮<sup>ちゆうしやう</sup>に若人<sup>わくにん</sup>の  
生命<sup>いのち</sup>も揺<sup>ゆ</sup>げ渋川<sup>しぶがわ</sup>の  
丘<sup>かみ</sup>も響<sup>ひび</sup>かむ雄叫<sup>ゆうけう</sup>に  
母校<sup>はうこ</sup>の栄<sup>えい</sup>誉<sup>よ</sup>いや挙げ<sup>あ</sup>げむ

(昭和三年十一月五日  
御大典記念として作成)



# 渋川高等学校校歌

佐藤春夫 作詞  
信時潔 作曲

力強く 約112



## 渋川高等学校校歌

一、自由<sup>じゆう</sup>の子 民主<sup>みんしゆ</sup>の民ぞ  
新らしき文化<sup>ぶんか</sup>の国に  
我等<sup>われら</sup>生<sup>な</sup>く若<sup>わか</sup>き命<sup>いのち</sup>を  
天<sup>てん</sup>そゝる大樹<sup>だいつく</sup>にも似<sup>に</sup>て  
たくましく土<sup>つち</sup>に根<sup>ね</sup>を張<sup>は</sup>り  
ひたすらに真理<sup>しんり</sup>を指<sup>さ</sup>せり  
君<sup>きみ</sup>見<sup>み</sup>よや渋川<sup>しぶがわ</sup>高等<sup>こうとう</sup>学校<sup>がく</sup>の  
健児<sup>けんに</sup>一千<sup>いっせん</sup>意<sup>い</sup>氣<sup>ぎ</sup>高<sup>たか</sup>し心<sup>こころ</sup>素直<sup>すちよく</sup>に  
二、学舎<sup>がくしゃ</sup>は榛名<sup>しづな</sup>のふもと  
居<sup>ゐ</sup>ながらに山<sup>やま</sup>うるわしく  
門<sup>かど</sup>を出<sup>で</sup>て何<sup>なに</sup>をか見た<sup>み</sup>たる  
悠々<sup>ゆうゆう</sup>と大利根<sup>だうり</sup>流<sup>なが</sup>る  
川<sup>がは</sup>波<sup>なみ</sup>は光<sup>ひかり</sup>たゆたい  
おごそかに希望<sup>きやうぼう</sup>に向<sup>むか</sup>かう  
君<sup>きみ</sup>見<sup>み</sup>よや渋川<sup>しぶがわ</sup>高等<sup>こうとう</sup>学校<sup>がく</sup>の  
健児<sup>けんに</sup>一千<sup>いっせん</sup>意<sup>い</sup>氣<sup>ぎ</sup>高<sup>たか</sup>し心<sup>こころ</sup>素直<sup>すちよく</sup>に

(昭和二十七年一月十五日  
校歌発表演奏会)





## 序

学校長 中村 英一

本校は大正9年4月20日に呱呱の声をあげて以来70周年を迎えました。これを記念して『榛嶺一目で見る渋高70年』(写真集)が発刊されることになりました。これは既刊の「渋高五十年史(上・下巻)」《上巻50.1.30 下巻52.2.25 発刊》に附加し、補充するものであります。写真は事実そのもので、我々にストレートに訴えてくれる力をもっております。

本書は一万六千有余の先輩の方々が、「質実剛健」「文武両道」の精神の下、真摯に学校づくりに取り組んできた、輝かしい足跡であり、そこにはその時々在校生たちの汗と涙と感動の青春譜があります。これを見る時、同窓生にとっては懐かしい時代を偲ぶ心のよすがとなるであろうし、これから学ぶ者にとっては貴重な教訓であり、激励でもあります。また、我々が本校の将来を展望しようとする時、必ずや過去の渋高を振り返らねばならぬのであります。本書編纂の意義はここにあると申せましょう。

さて、70周年記念事業の一つとして本書は刊行されましたが、外に、同窓会やPTAの皆様の方ならぬ御協力と県当局の御援助の下、記念会館の増改築、校門周辺の整備、図書館の冷暖房施設の完備、さらに同窓会員名簿の発行が行われました。これらの70周年記念事業に寄せられた多くの方々の温情に対して深甚なる謝意を表する次第であります。

終わりに、本書編纂にあたり、貴重な資料を御提供くださった同窓生並びに本校関係者の各位に対して深く感謝申し上げますとともに、資料の整理・執筆にあられた編集委員並びにその協力者に対して心からその労をねぎらいたいと存じます。



## 記念誌発刊のお祝い

PTA会長 角田 登

「榛嶺一目で見る渋高70年」の発刊をPTAを代表してお祝い申し上げます。本校も創立70年、古稀。杜甫の詩にあるように70年のあゆみは貴重でありました。在校生は言うまでもなく、卒業生、関係者の70年間の汗と努力の結晶が北毛の伝統校としての評価につながっております。関係者の平素の御努力、御協力に深甚なる敬意を表する次第であります。

本年を節として、新しい皮袋に新しい酒を入れ、次代にこのすばらしい伝統を汚すことなく伝えたいと思います。

昨年より本年5月まで、群馬県監査委員として県内各地の高校を監査する機会がありましたが、それぞれの高校が特色のある学校づくりをめざしておりました。

伝統校においては、在校生、卒業生の長い深い絆で、地域に根づいた教育で成果をあげており、新設校では、新しい感覚で時代にマッチした伝統を創るために、先生・生徒が英知をしばって活動しております。

実業校においては、産業構造の変化により学科の改廃等、社会のニーズに対応しておりますが、伝統のある校名まで変更せざるを得ない高校もあります。特に工業系では、経済成長による人手不足で生徒ひとりに数十社の求人が殺到するという状況であります。

いわゆる「花長風月」(花形企業で長期休暇があり、社風が良く月給がよい)と言われる職場に人気が集申し、また暗い、汚い、危険な「3K」を避け、「かっこよさ」を求め、額に汗を流すことを嫌う社会の風潮はいかなるものでしょうか。本校生徒は、厳しい受験、社会にむかって「質実剛健」の精神を忘れることなく頑張っていたいただきたいと思います。

「温故知新」、先輩の足跡をたずねて、新しい時代、21世紀への渋高をどのように創造するかを考えると、後輩たちに多くの示唆を与えてくれるものが本記念誌であり、その果たす役割は大なるものがあります。

今後も地域の期待に応えられる渋高を創るために努力する所存であります。

本校のますますの発展と皆様の御健勝を祈念して祝辞といたします。



## 祝 辞

記念事業後援会長 池原 透

渋川高等学校創立70周年記念誌「榛嶺一目で見る渋高70年」の発刊を心よりお祝い申し上げますとともに、編集の任に当られました関係者の御尽力に対しまして敬意と感謝申し上げます。

記念事業後援会は、渋川高校が平成2年に70周年を迎えるにあたり、その記念事業に協力すべく、在校生および卒業生の保護者を中心として平成元年4月1日に発足いたしました。そして平成元年度の新入生保護者の皆様より入会していただき、その入会金により基金を積立てております。御協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「質実剛健・堅忍持久」の校訓のもとに、1920年開校以来70周年を迎えた渋川高校ですが、私は1946年渋川中学校最後の新入生として入学し、1952年高校を卒業するまで、6年間本校に在学しました。その間にあって、4年間最下級生という憂き目にもあいましたが、中学高校一貫教育という先端教育も受けることが出来ました。当時は木造二階建ての校舎、うらぶれた寄宿者、みすばらしい部室等現在の学校施設に較べると雲泥の差を感じます。加えて戦後の食糧難ではありましたが、「炎の山」から「自由の子」へと変化に富んだ青春の6年間は、すばらしい体験として生きております。その当時の仲間は「黄金の鶏の集い」として、今でも毎年集まり、40年前をしのび、現在を語りあっております。

創立70周年を契機として、北毛の雄渋川高校が、生徒・教師・保護者・同窓会員等関係者が一体となって、ますます発展されますことを祈念申し上げます。祝辞といたします。



## 感謝とお祝いの言葉

教育振興会長 福田 尚

母校の創立70周年、心からお祝い申し上げます。記念式典に時を合せて刊行されます記念誌『榛嶺一目で見る渋高70年』の発刊を、期待をもってお祝いいたします。

母校を思う先輩各位の暖かい御支援とPTAの協力によりまして、記念会館が、この度新しく衣替えすることができました。新しい記念会館は、1階に食堂・厨房と本校関係者の美術品や記念品を納める展示室、2階には大広間(和室)があります。これから部活動に、クラス毎の合宿に活用でき、師弟・仲間同士が寝食を共にして語り合える機会を通じて、一生の思い出を作り得ると思ひ、大変喜んでおります。記念会館の改築を企画し実行に携わった各位、募金のお世話をしてくださった方々、募金に応じてくださった方々に、心より感謝の言葉を申し上げます。本当にありがとうございました。

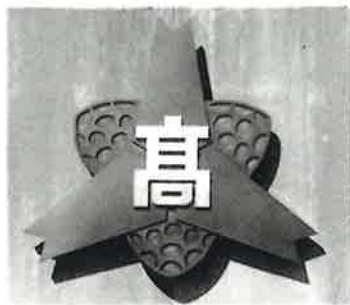
思い起こせば昭和20年、私は旧制の中学に入学いたしました。当時校舎は木造2階建て、体育館や講堂も木造でした。勤労奉仕、敗戦、教科書のない授業、わら半紙に印刷された教科書、学制改革、そして母校の名前も渋川高等学校と変わりました。校舎もコンクリート校舎に一部立て替えられ、シンボルの太い桜の木もなくなりましたが、校門、校庭の石垣、佐藤次郎の胸像は昔のままです。それらのものを目の当たりにするにつけ、旧制の校歌を思い出します。

在校生の諸君、「火焰の山の鎮まりて、明けし国原上毛の……」で始まる渋中の校歌を、ぜひ渋川高校の第2校歌として声高らかに歌って下さい。同窓会の存在意義は、在校生を含めて同じ学び舎を共にした仲間が、先輩と後輩とを一本の糸で結び付ける所にあると思います。それも強く絶対切れない感傷の糸で。

全く偶然の縁かも知れませんが、同じ学舎で勉強し、同じ校庭で運動したということで、暖かい感情が自然と芽生えることは、誠に不思議なことです。運命的な縁の深さがつくづく感じられます。

在校生諸君も運動競技に、大学入試に良い成果をおさめております。先輩各位には、母校と後輩への益々の御支援をお願い申し上げ、言葉整いませんが、教育振興会を代表して関係各位に対し御礼の言葉と記念誌発刊の祝辞を申し上げます。





昭和23年4月制定 「校章」  
学制改革で渋川高校として発足したさい、在校生から公募したが秀作がなく、図工担当の長野萬先生が図案化した。

「高」を中心に榛名山系とくに水沢山の雄姿を仰ぎみるところから山を配し、また本校の伝統である質実剛健の校風をあらわす象徴として、深い山で風雪をしのぎ実を結ぶ「ミヤマハンノキの実」をデザインした。

質実剛健  
堅忍持久

## 記念誌発刊を祝して



創立70周年記念事業実行委員長（同窓会長）

川崎 富三

群馬県立渋川高等学校は、大正9年4月、この地に誕生し、爾来地域の期待を享け、先輩諸氏の努力と精進、関係の先生方の熱意溢れる御指導を得て、ここに創立70周年の年輪を刻むことが出来ましたことは、誠に御同慶の至りに存じます。

発足当時の「県立渋川中学校」、および「県立渋川高等学校」の卒業生は一万六千余名。政界・官界・財界はもとより、学問・芸術・スポーツなど、様々な領域の第一線で活躍する先輩を多数輩出して名実ともに「北毛の雄」としての確かな地歩を獲得して参りました。

「質実剛健」「堅忍持久」の校訓の示すごとく、雄々しく逞しい真に男性的な誇り高き卒業生・在校生諸君は、本校の歴史と伝統を守り育て、さらなる発展のために日々邁進しております。

この年に当たり、「群馬県立渋川高等学校創立70周年記念事業実行委員会」が組織され、記念事業としてふさわしい事業を検討・推進して参りました。

その主な事業は、①、正門の移築、②、同窓会名簿の改定、③、図書館等への冷房設備の設置、④、「記念誌」の刊行、⑤、記念会館の増改築の5本柱であります。

これら記念事業には、同窓会・PTA・教育振興会などの関係者の絶大なる御支援をいただきました。実行委員会を代表して深甚なる感謝の言葉を申し上げます。

さて、70周年記念誌「榛嶺一目で見る渋高70年」は、グラビア写真による本校の変遷の歴史であります。本校の歴史のひとこまひとこまを記録する写真集で、これを見ることによって、古き思い出深き青春の日々を回顧し、また母校の発展の歴史を知る縁ともなり得ると自負しております。

この記念誌の刊行が機縁となって、本校同窓会が益々充実することも企図しております。

これら諸事業に御協力いただいた多くの方々に、衷心より御礼申し上げるとともに、母校の一層の御発展を祈念申し上げ、記念誌発刊のお祝いの言葉といたします。



# 校舎 全景















第1代 杉原九郎先生



第2代 湯澤徳地先生



第3代 樋口安一郎先生



第4代 中曽根都太郎先生



第5代 高見勤次郎先生



第6代 長岡禎利先生



第7代 小林熊光先生



第8代 平野武夫先生



第9代 狩野道美先生



第10代 井関 保先生



第11代 小池 慈先生



第12代 竹園 一先生



第13代 飯塚二郎先生



第14代 梶原堅二先生



第15代 水穴再喜先生



第16代 佃 和朋先生



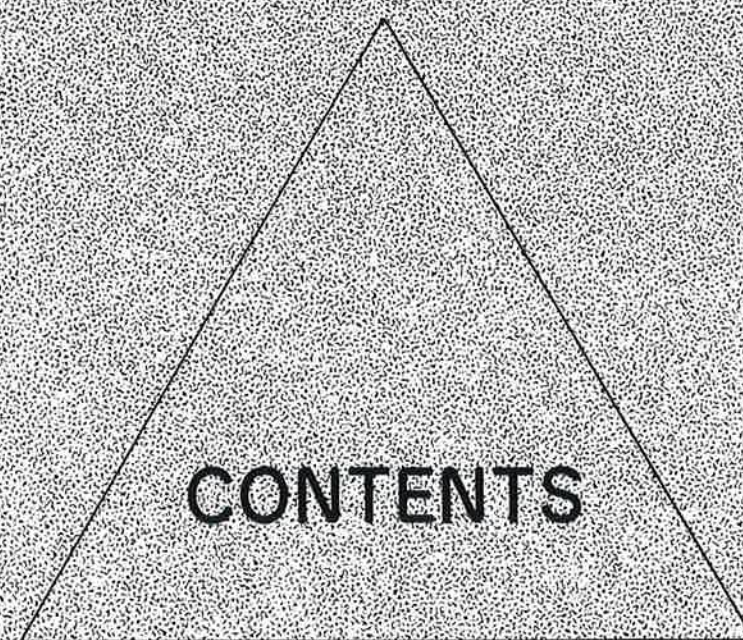
第17代 原 弘先生



第18代 八高 進先生



第19代 荒井英一先生



### 目で見る渋高70年

1. 曙 期	大正9年～大正15年	2
2. 昭和一期	昭和2年～昭和12年	14
3. 昭和二期	昭和13年～昭和20年	30
4. 戦 後 期	昭和21年～昭和25年	48
5. 発展一期	昭和26年～昭和40年	60
6. 発展二期	昭和41年～昭和54年	82
7. 発展三期	昭和55年～昭和63年	100
8. 平成の表情	平成元年～平成2年	110
9. 年表・資料		116



70年のあゆみ



1. 曙 期 大正9年～大正15年



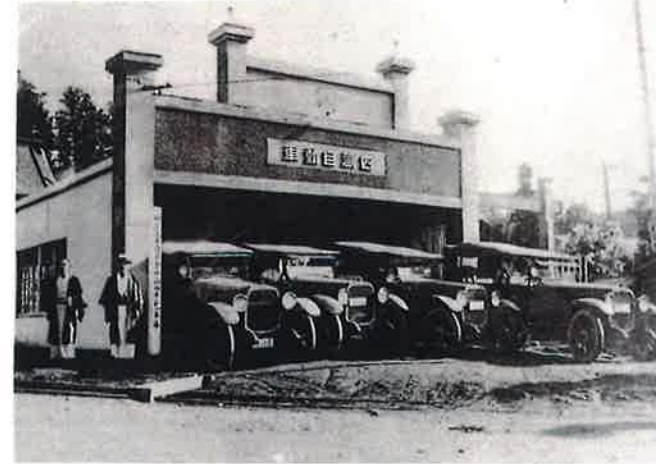


## 敷地建物配置図

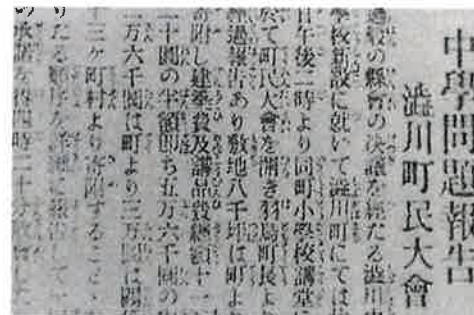
(「県庁保存文書」大正9年)



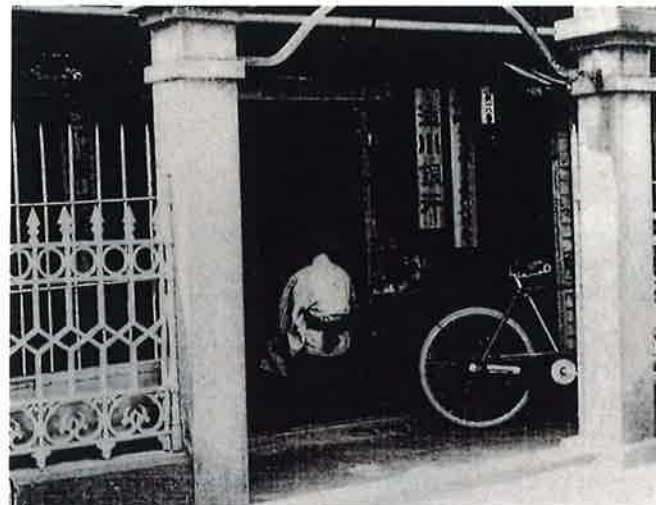
渋川町有志による中学設立請願  
 (大正8年、上毛新聞)



設立準備会合の所



渋川中学設立のための町民大会  
 (大正8年12月、上毛新聞)



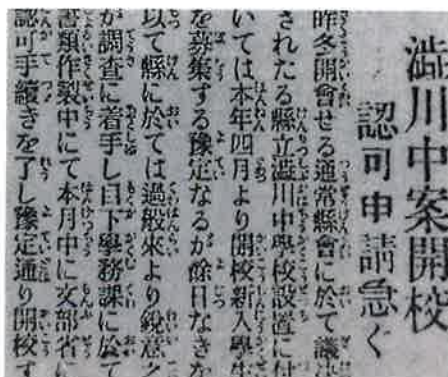
澁川銀行（大正3年）



渋中設置、生徒定員の告示  
 (大正9年3月、県報)



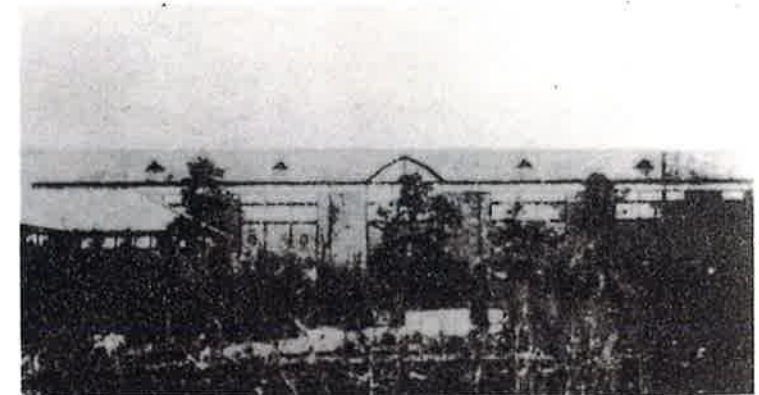
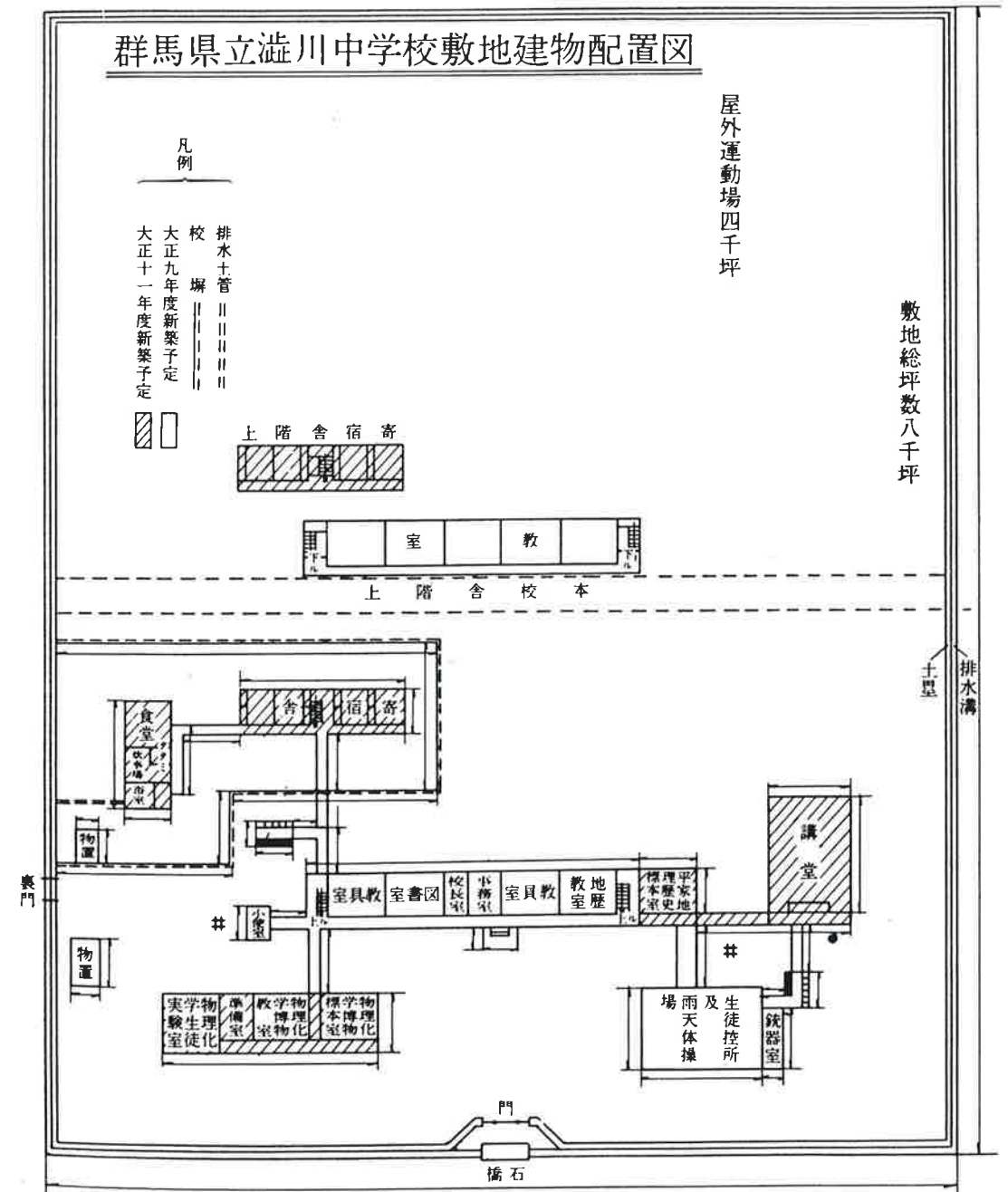
生徒募集  
(大正9年3月県報)



予定通り開校  
(大正9年 上毛新聞)



創立当時間借りの渋川小学校  
(明治44年 落成)



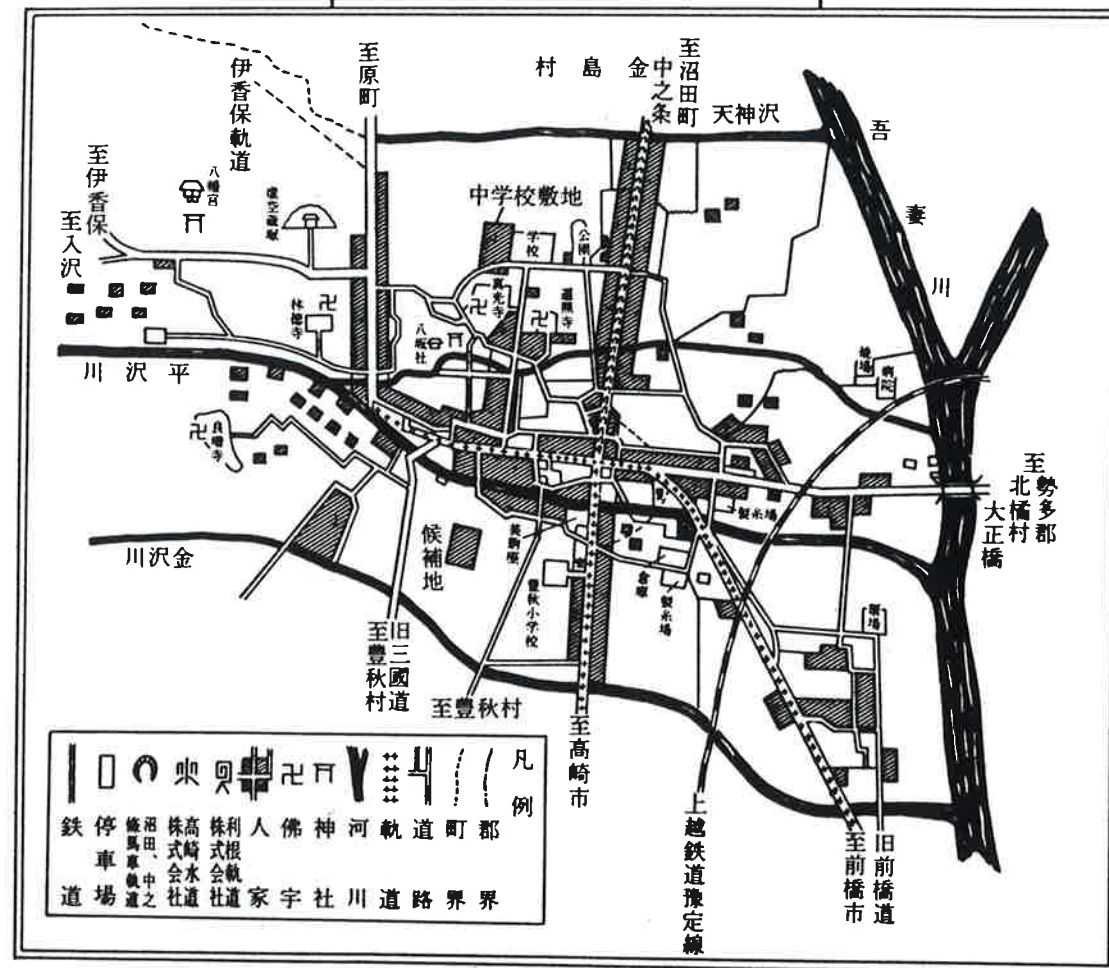
### 創立当初の校舎全景



## 創立当時の渋川町

(「県庁保存書類」大正9年)

澁川町市街図

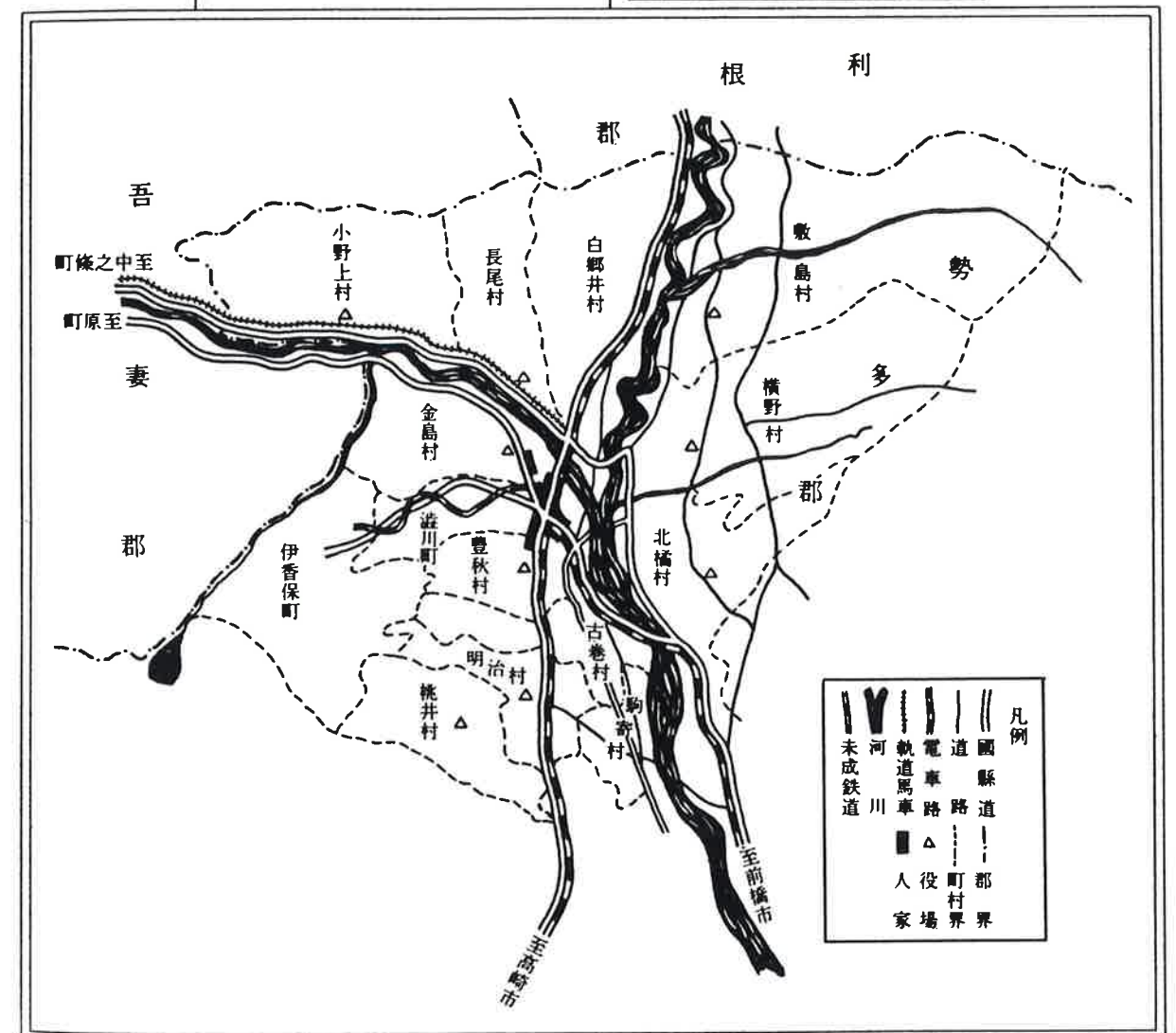


澁川町内風景（大正10年）

## 創立当時の渋川附近

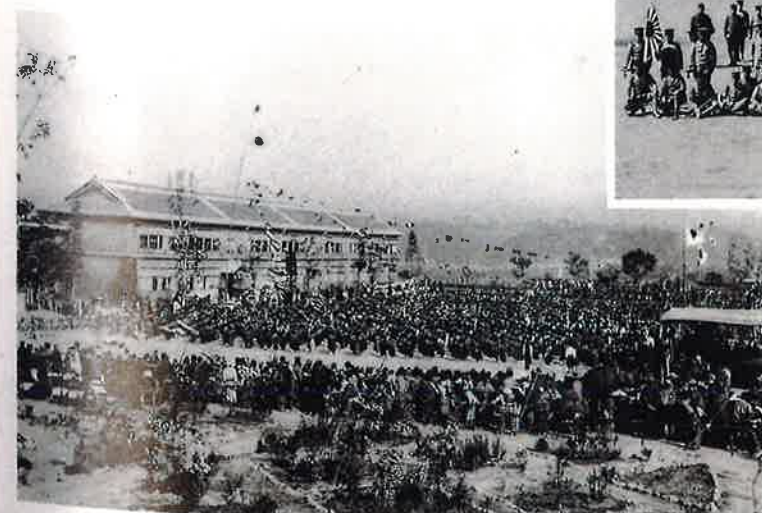
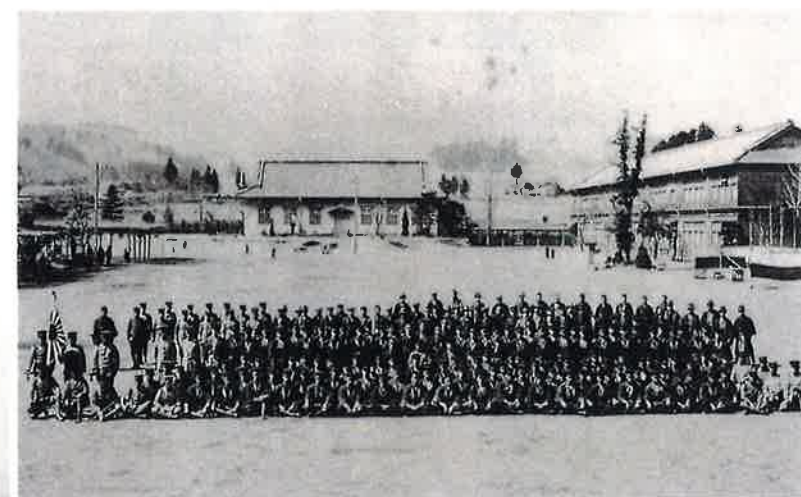
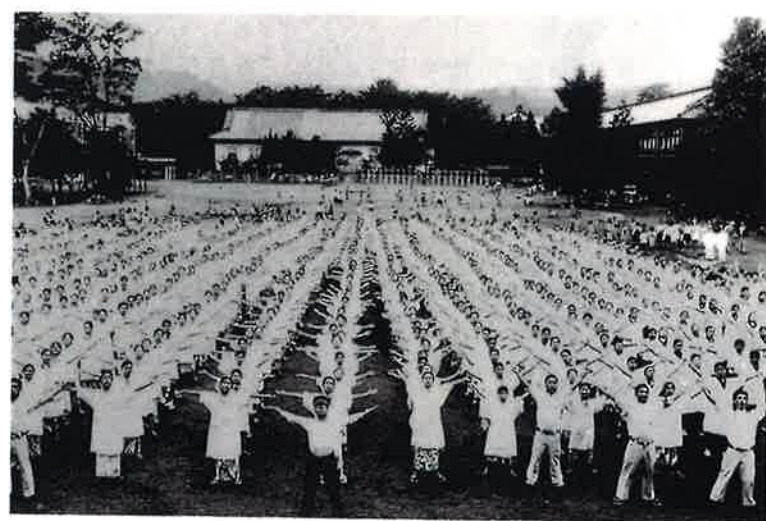
(「県庁保存書類」大正9年)

圖畧近附町川澁 図域区能可学通

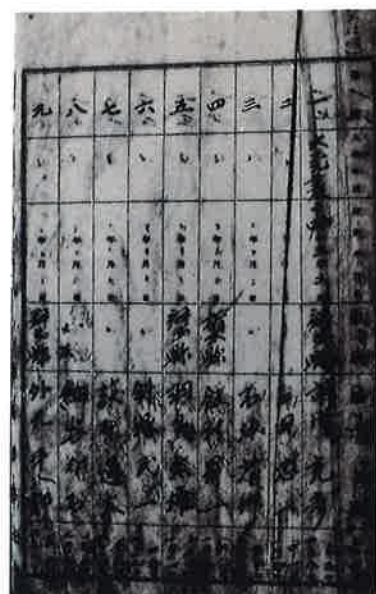
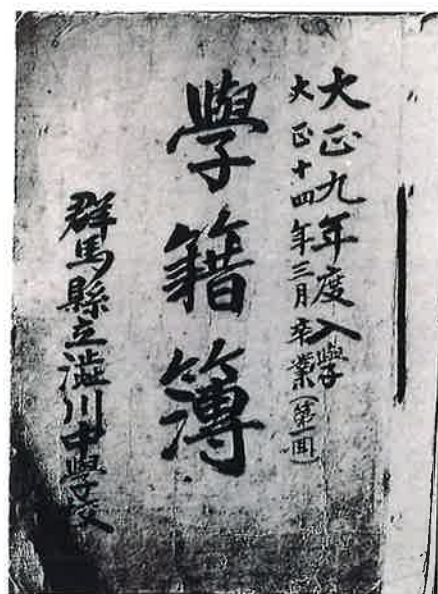


利根川周辺









地元町村よりの設立寄附金

第1回学籍簿



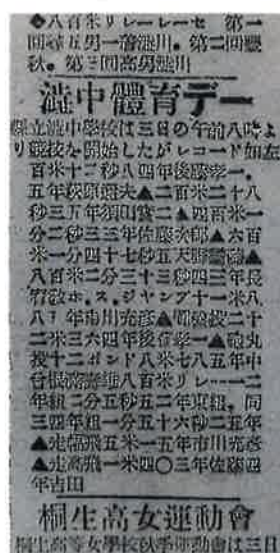
渋川に鉄道開通



渋川町内出身大学高専進学懇親会の折



第1回生、富士山登山（大正11年8月2日）



渋中体育デーの記事



関東大震災（大正12年、朝日新聞）

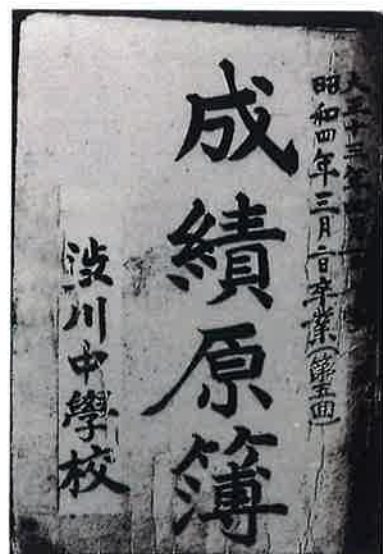


群馬県立渋川中學校第壹回卒業生一覽表 (大正14年3月)

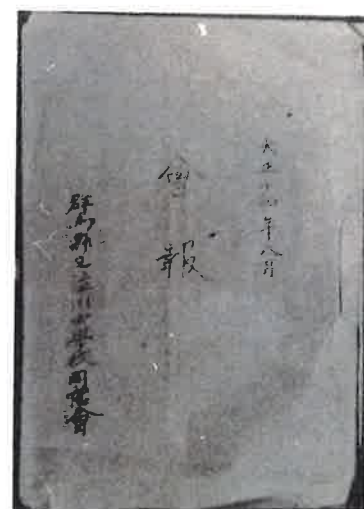
学年	姓名	出身	備考
第一回	山本 健一	群馬県	
第一回	山本 健二	群馬県	
第一回	山本 健三	群馬県	
第一回	山本 健四	群馬県	
第一回	山本 健五	群馬県	
第一回	山本 健六	群馬県	
第一回	山本 健七	群馬県	
第一回	山本 健八	群馬県	
第一回	山本 健九	群馬県	
第一回	山本 健十	群馬県	
第一回	山本 健十一	群馬県	
第一回	山本 健十二	群馬県	
第一回	山本 健十三	群馬県	
第一回	山本 健十四	群馬県	
第一回	山本 健十五	群馬県	
第一回	山本 健十六	群馬県	
第一回	山本 健十七	群馬県	
第一回	山本 健十八	群馬県	
第一回	山本 健十九	群馬県	
第一回	山本 健二十	群馬県	
第一回	山本 健二十一	群馬県	
第一回	山本 健二十二	群馬県	
第一回	山本 健二十三	群馬県	
第一回	山本 健二十四	群馬県	
第一回	山本 健二十五	群馬県	
第一回	山本 健二十六	群馬県	
第一回	山本 健二十七	群馬県	
第一回	山本 健二十八	群馬県	
第一回	山本 健二十九	群馬県	
第一回	山本 健三十	群馬県	
第一回	山本 健三十一	群馬県	
第一回	山本 健三十二	群馬県	
第一回	山本 健三十三	群馬県	
第一回	山本 健三十四	群馬県	
第一回	山本 健三十五	群馬県	
第一回	山本 健三十六	群馬県	
第一回	山本 健三十七	群馬県	
第一回	山本 健三十八	群馬県	
第一回	山本 健三十九	群馬県	
第一回	山本 健四十	群馬県	
第一回	山本 健四十一	群馬県	
第一回	山本 健四十二	群馬県	
第一回	山本 健四十三	群馬県	
第一回	山本 健四十四	群馬県	
第一回	山本 健四十五	群馬県	
第一回	山本 健四十六	群馬県	
第一回	山本 健四十七	群馬県	
第一回	山本 健四十八	群馬県	
第一回	山本 健四十九	群馬県	
第一回	山本 健五十	群馬県	
第一回	山本 健五十一	群馬県	
第一回	山本 健五十二	群馬県	
第一回	山本 健五十三	群馬県	
第一回	山本 健五十四	群馬県	
第一回	山本 健五十五	群馬県	
第一回	山本 健五十六	群馬県	
第一回	山本 健五十七	群馬県	
第一回	山本 健五十八	群馬県	
第一回	山本 健五十九	群馬県	
第一回	山本 健六十	群馬県	
第一回	山本 健六十一	群馬県	
第一回	山本 健六十二	群馬県	
第一回	山本 健六十三	群馬県	
第一回	山本 健六十四	群馬県	
第一回	山本 健六十五	群馬県	
第一回	山本 健六十六	群馬県	
第一回	山本 健六十七	群馬県	
第一回	山本 健六十八	群馬県	
第一回	山本 健六十九	群馬県	
第一回	山本 健七十	群馬県	
第一回	山本 健七十一	群馬県	
第一回	山本 健七十二	群馬県	
第一回	山本 健七十三	群馬県	
第一回	山本 健七十四	群馬県	
第一回	山本 健七十五	群馬県	
第一回	山本 健七十六	群馬県	
第一回	山本 健七十七	群馬県	
第一回	山本 健七十八	群馬県	
第一回	山本 健七十九	群馬県	
第一回	山本 健八十	群馬県	
第一回	山本 健八十一	群馬県	
第一回	山本 健八十二	群馬県	
第一回	山本 健八十三	群馬県	
第一回	山本 健八十四	群馬県	
第一回	山本 健八十五	群馬県	
第一回	山本 健八十六	群馬県	
第一回	山本 健八十七	群馬県	
第一回	山本 健八十八	群馬県	
第一回	山本 健八十九	群馬県	
第一回	山本 健九十	群馬県	
第一回	山本 健九十一	群馬県	
第一回	山本 健九十二	群馬県	
第一回	山本 健九十三	群馬県	
第一回	山本 健九十四	群馬県	
第一回	山本 健九十五	群馬県	
第一回	山本 健九十六	群馬県	
第一回	山本 健九十七	群馬県	
第一回	山本 健九十八	群馬県	
第一回	山本 健九十九	群馬県	
第一回	山本 健一百	群馬県	

第1回卒業生一覽表（大正14年3月）

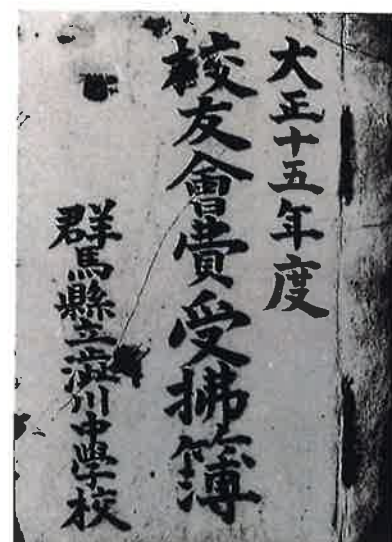




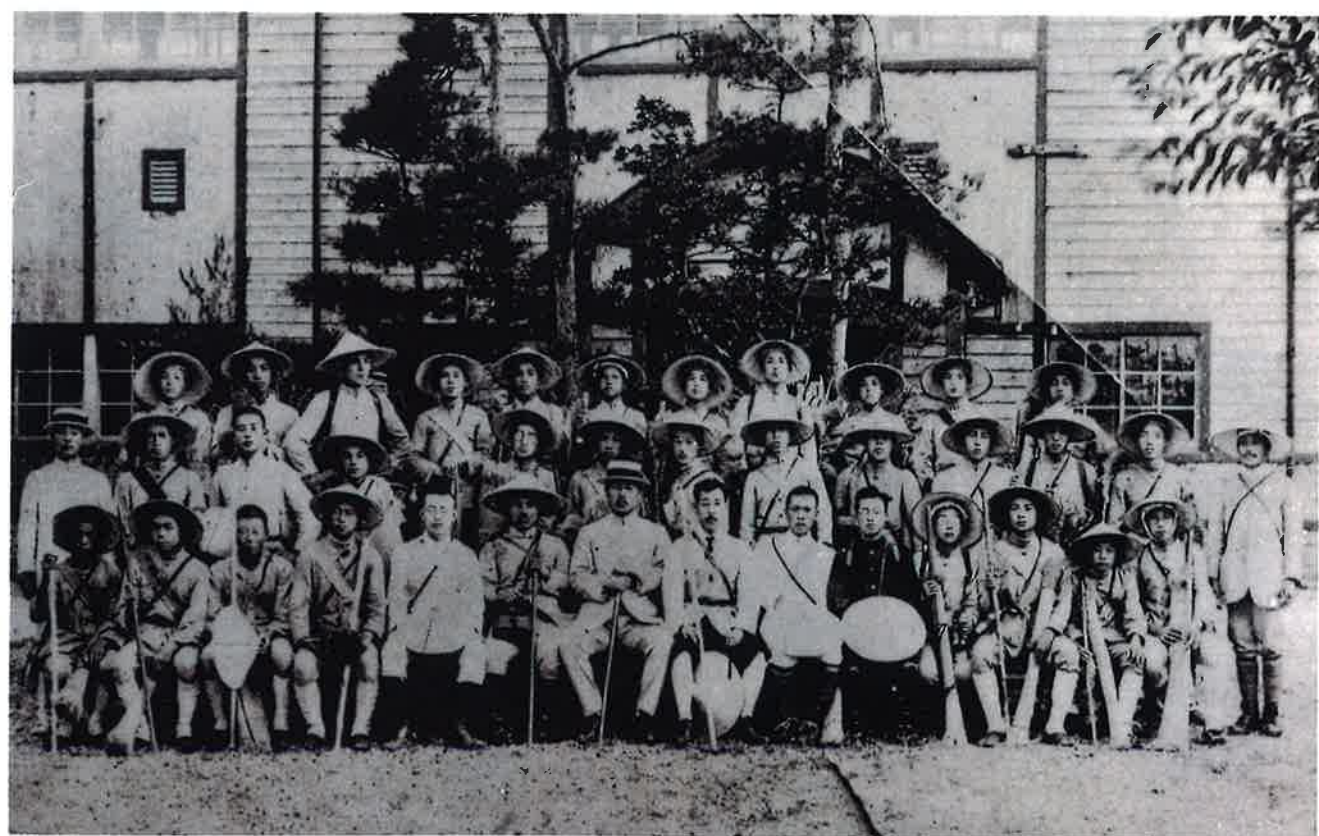
震災時の浪川に関する記事（上毛新聞）



同窓会報、1号



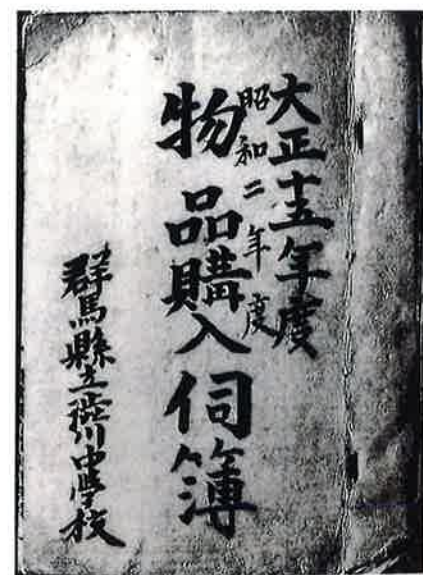
同窓会報、2号



白根山 剛健旅行（2回生）



観桜風景





70年のあゆみ



依藤次郎選手世界庭球界で活躍

2. 昭和一期

昭和2年～昭和12年



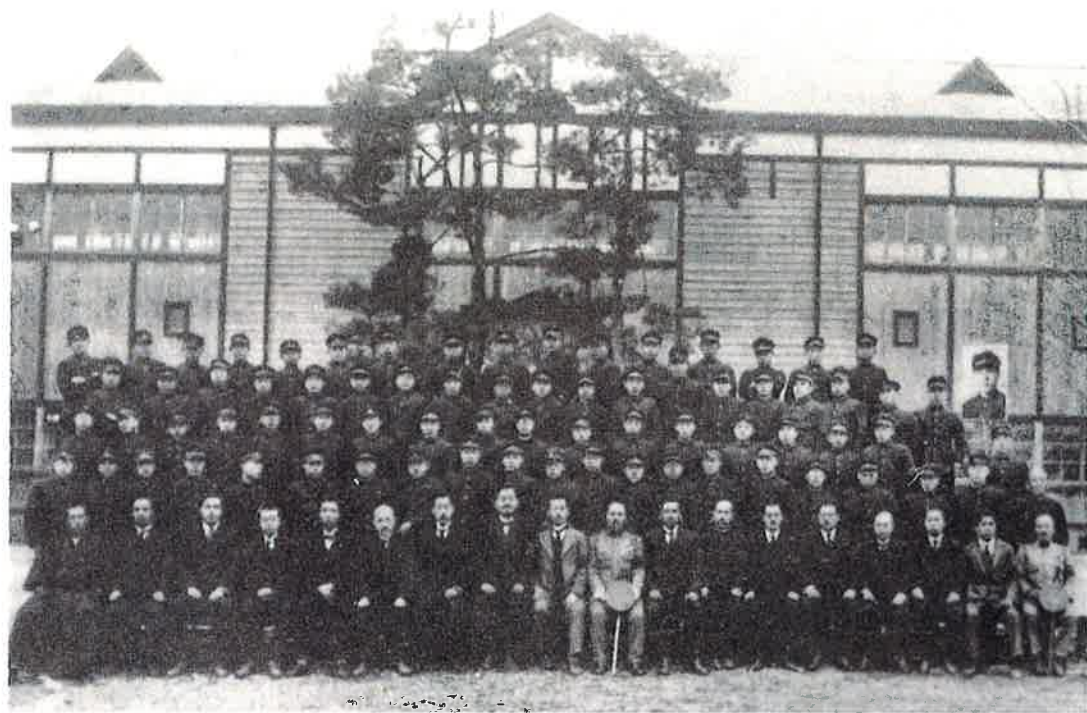




校友会誌創刊号（昭和2年12月）



校庭で飛行機の見学と説明会（昭和2年11月21日）



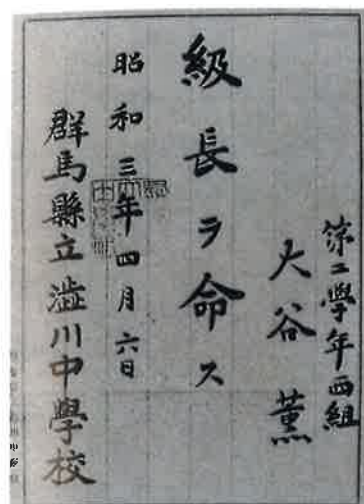
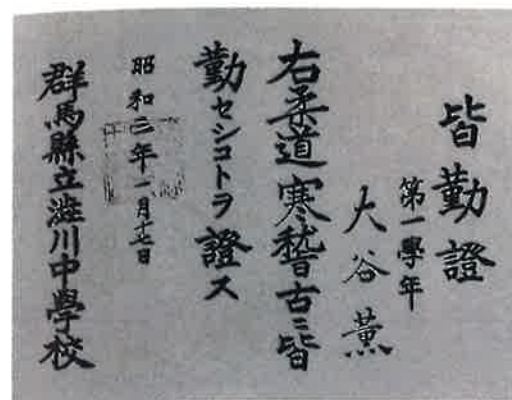
第3回卒業生（昭和2年3月）



卒業記念（昭和初期）



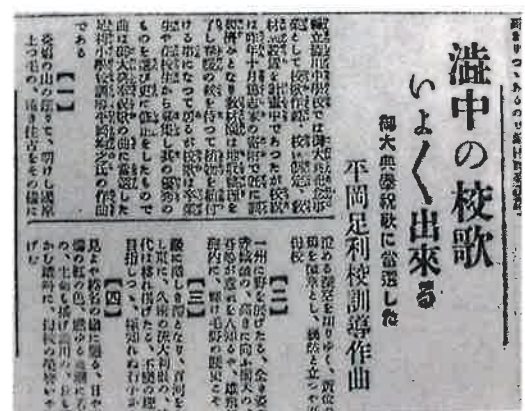
校友会功労賞（昭和初期）



御大礼記念品（昭和3年）



浸中陸上優勝（昭和3年）



校歌（昭和4年）





生徒心得



昭和四年年度全国大会優勝記念

（昭和4年5月）に優勝した中学校庭球大会



（昭和4年5月）に優勝した近県大会庭球



（昭和4年10月）に優勝した第2回県下中学校連合競技大会



波川中学校功労賞



（昭和5年11月）の右翼の台頭



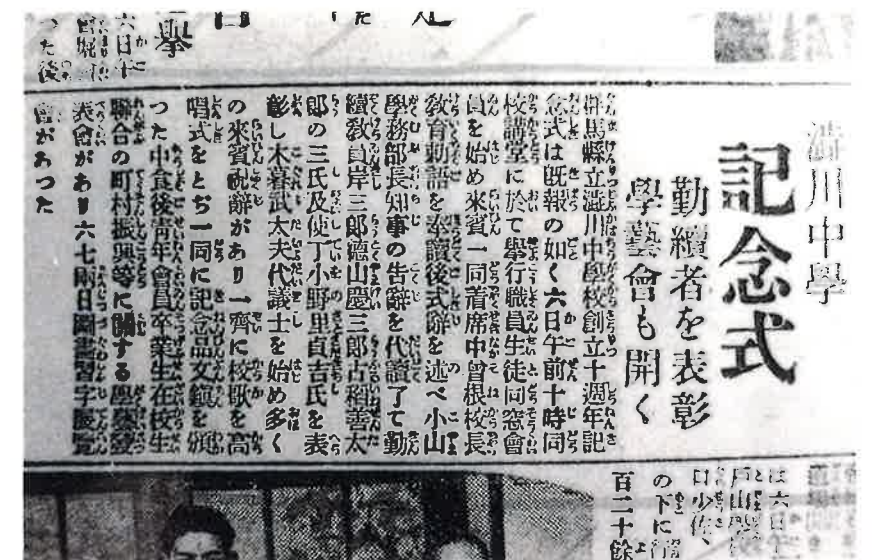
波川郵便局



（現市営モータープール）旧波川町役場



（昭和5年）の文鎮



（昭和5年4月）の創立10周年記念式典の新聞記事





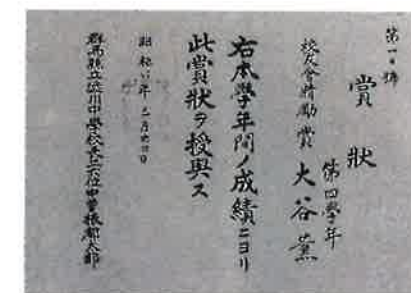
優勝旗（昭和5年）



第3回県下中学校競技大会に優勝（昭和5年10月）



第12回県下中学校武道大会優勝（昭和6年）



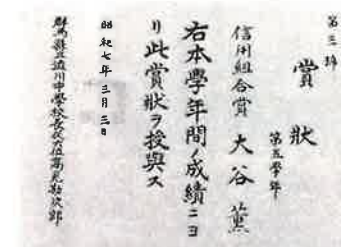
校友会精励賞



寄宿生帰宅証明



（昭和6年11月）



雄飛会（昭和7年3月）



教科書



教科書



滿州事変勃発（昭和6年）



第7回明治神宮体育大会庭球優勝（昭和8年10月）



上草履問題（昭和8年）



5.15事件（昭和7年）

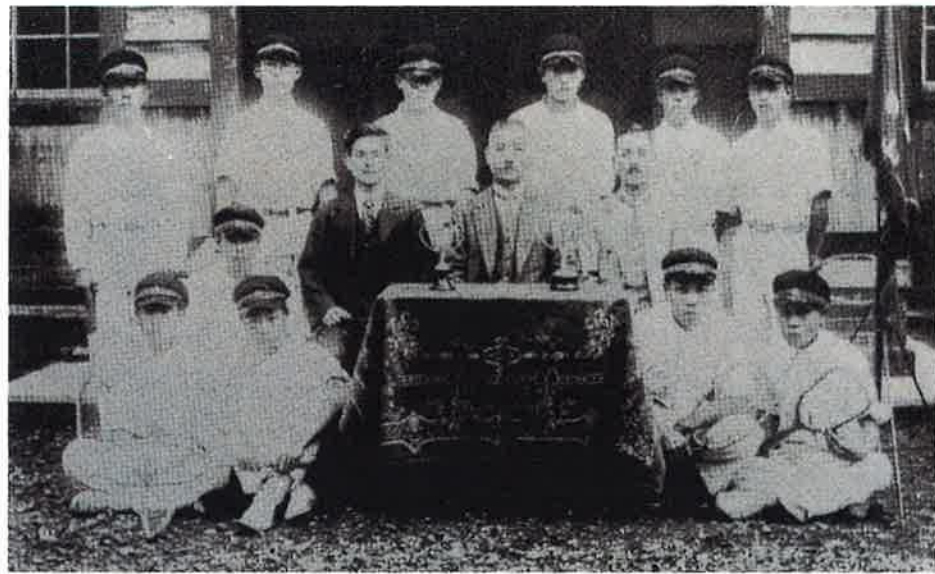




柔道部（昭和8年）



水戸高校主催全国中学校剣道大会優勝（昭和8年10月）



浦和高校主催第10回全関東中学校庭球大会優勝（昭和7年）



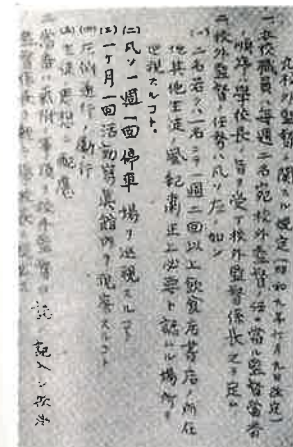
佐藤次郎選手  
世界庭球界に活躍



佐藤選手の自筆



陸軍大演習（昭和9年、相馬ヶ原）



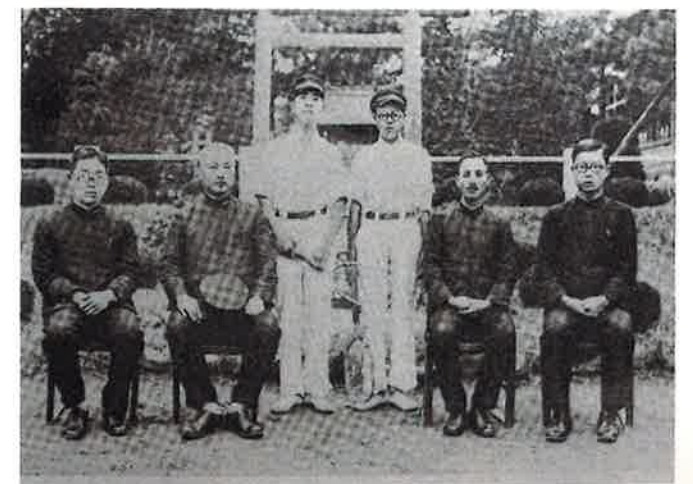
成績考查内規（昭和9年）



修学旅行（二見ヶ浦）



第7回県下中等学校陸上競技大会優勝（昭和9年8月）



第9回明治神宮体育大会庭球競技会出場記念





県下師範学校中学校武道大会に優勝（昭和9年8月）



近県陸上競技大会に優勝（昭和9年5月）



武道天覧拝受記念（昭和9年11月）



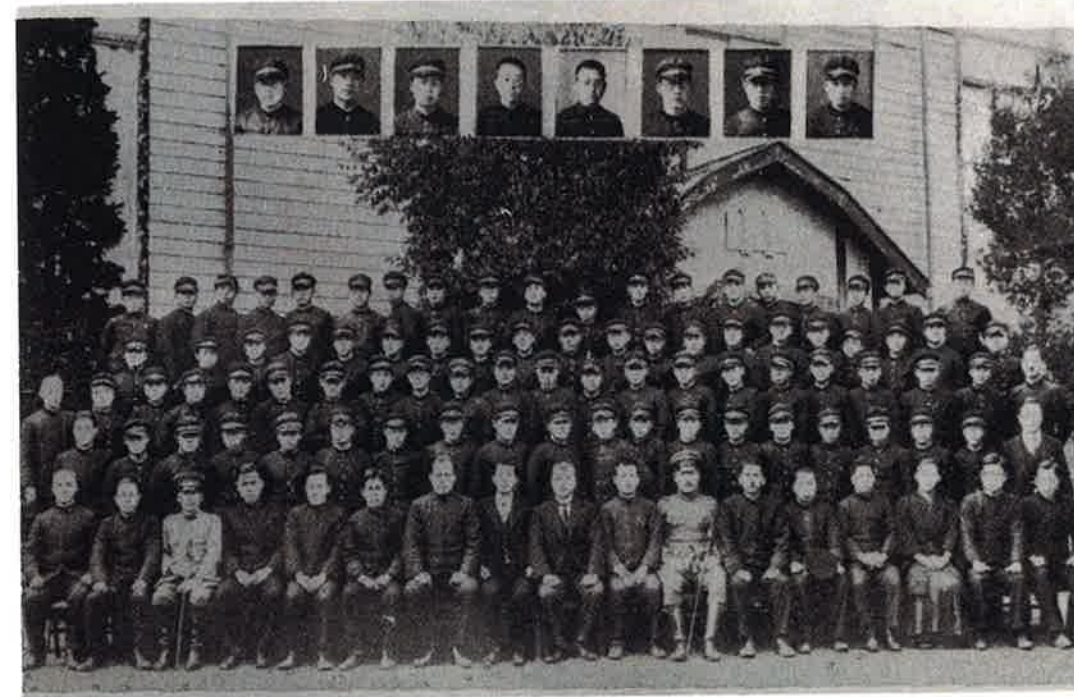
第15回県下師範学校中学校武道大会優勝



明治神宮庭球大会予選優勝



校内に皇大神宮建立（昭和9年）

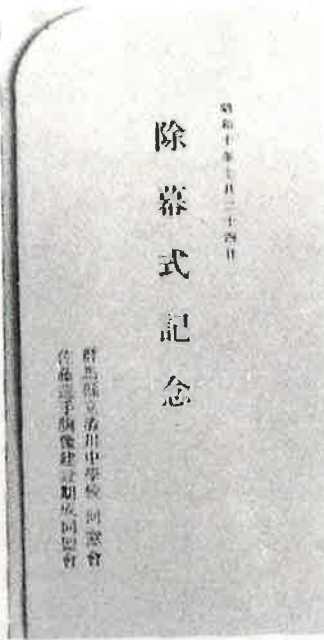


昭和9年の卒業写真

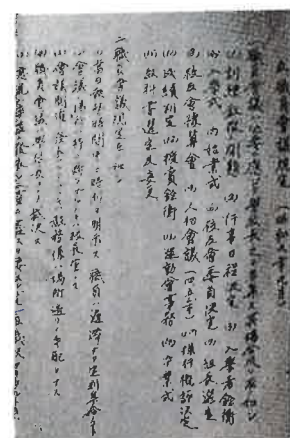


佐藤次郎選手胸像除幕式

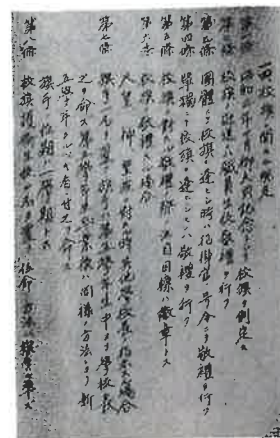
（昭和10年）



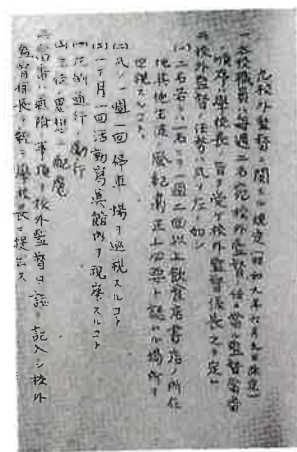
除幕式記念



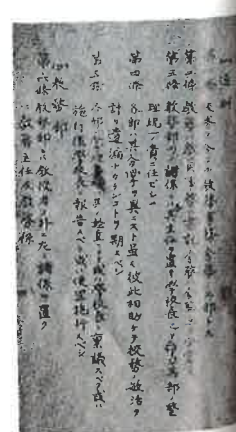
職員会議規定（昭和9年）



校旗二関スル規定



校外監督規定



校務分掌規定



母校滋中の校庭に  
球豪の魂は蘇る

佐藤次郎選手の胸像近く完成  
一周忌を迎えて建設





風雲急（昭和10年）



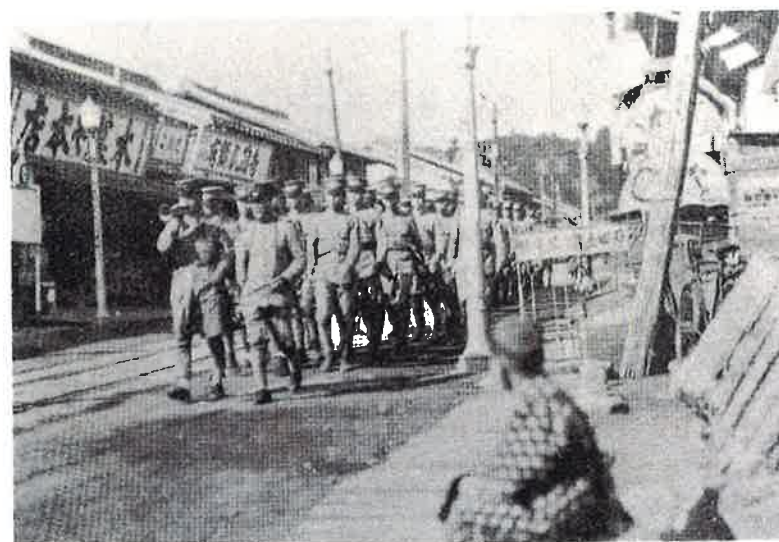
町内風景



全日本中等学校剣道大会優勝旗



武道大会優勝（昭和11年）



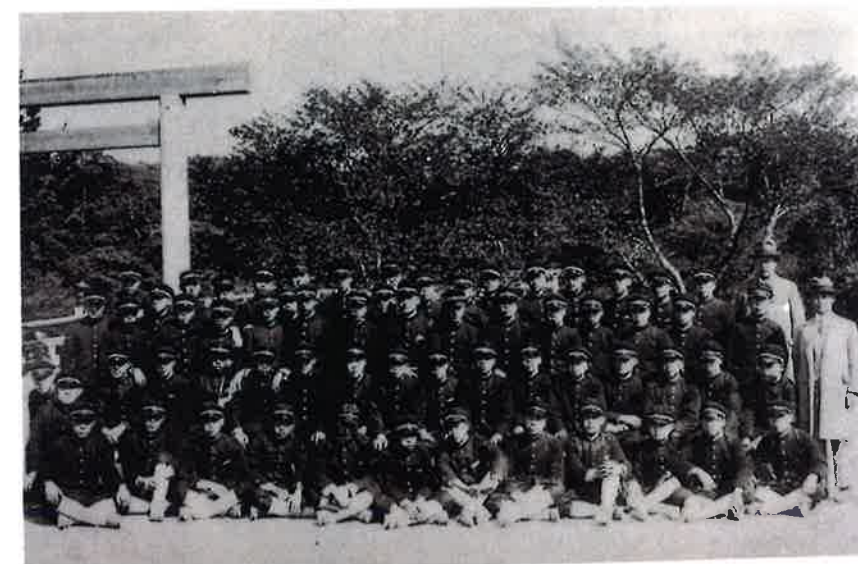
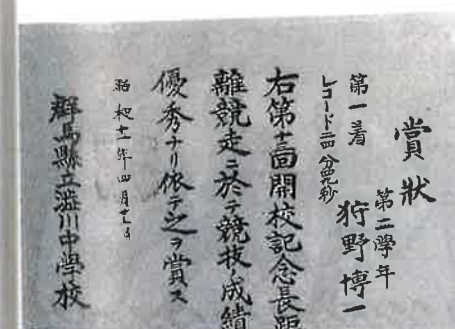
町内風景



寄宿生の記念写真

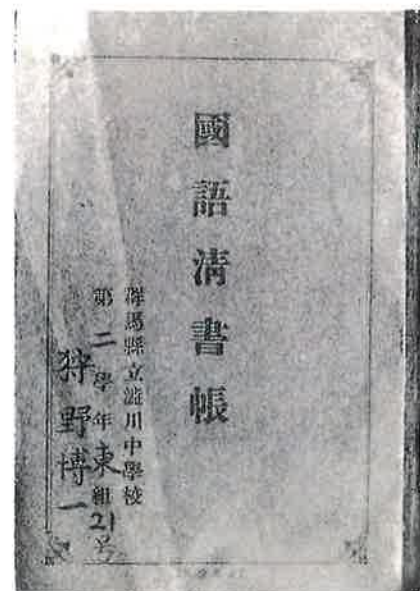


町の祭り



修学旅行（伊勢内宮）





国語清書帳



国體の本義（昭和12年文部省）



第2回県下スケート大会優勝（昭和12年）



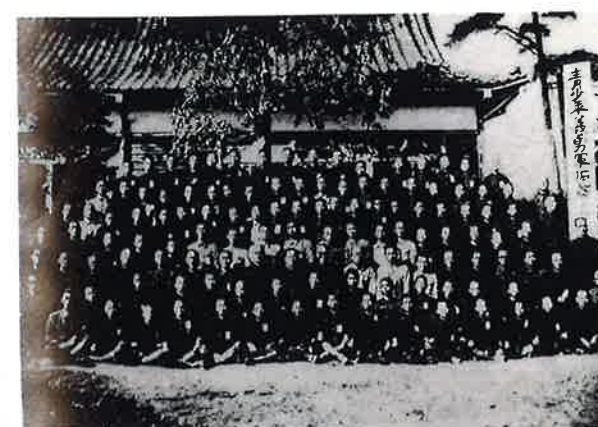
国民精神総動員（昭和12年）



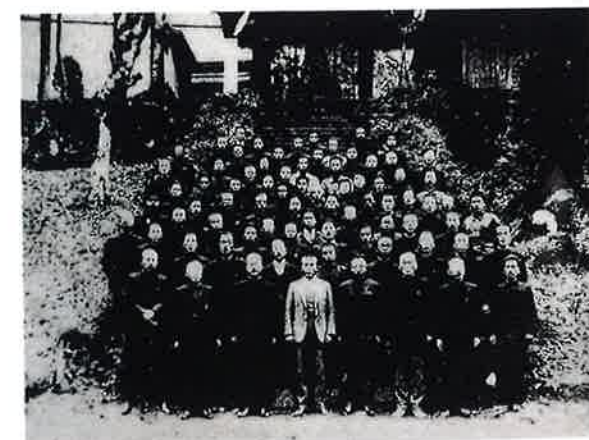
日華事変勃発（昭和12年）



社神國護縣馬群



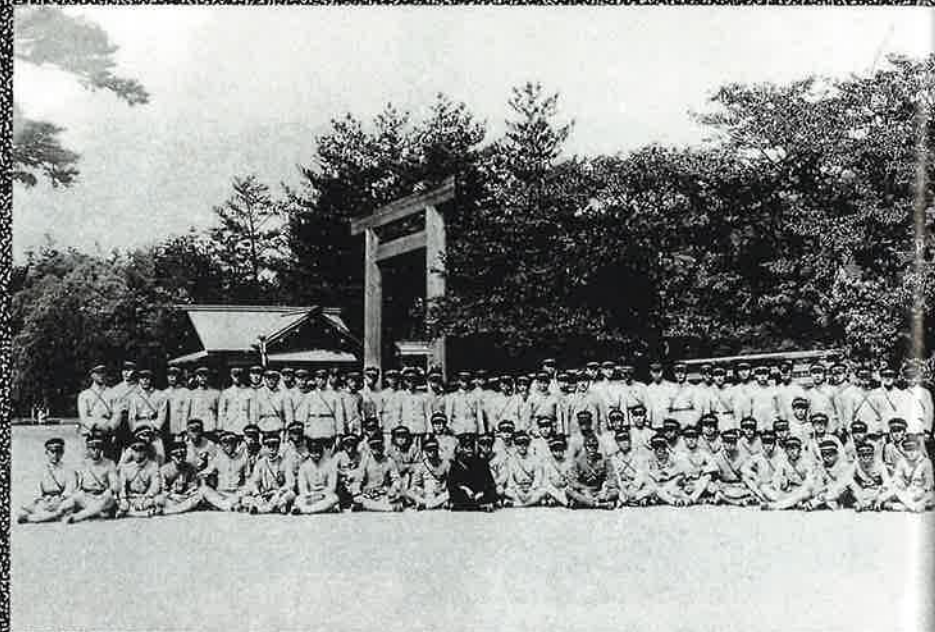
青少年拓務講習



思想対策教員講習会（榛名山）

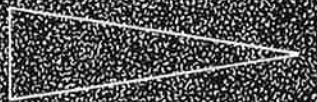


70年のあゆみ



3. 昭和二期

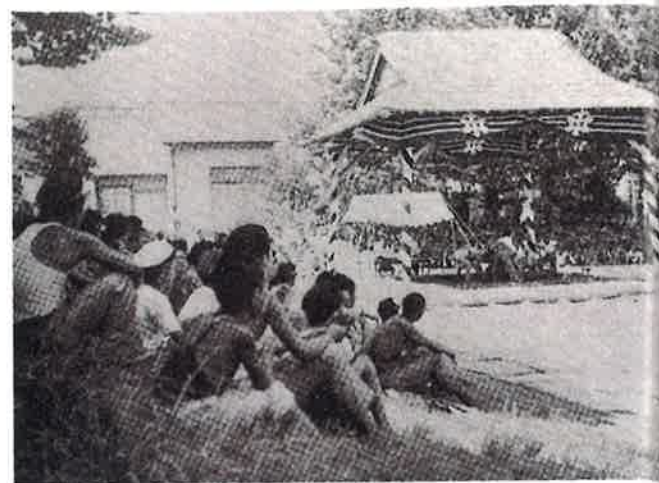
昭和13年～昭和20年



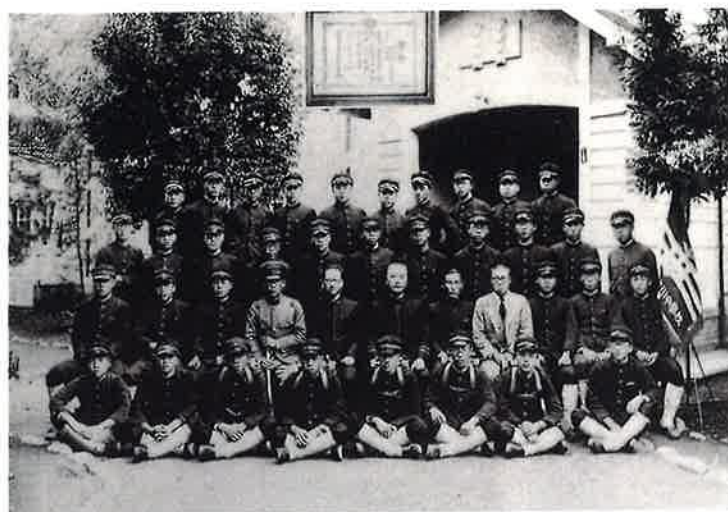




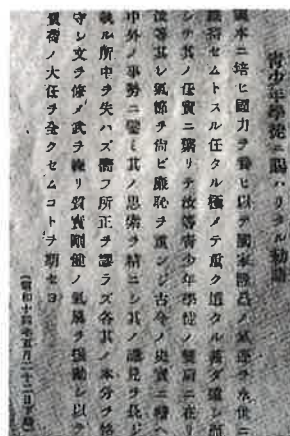
土俵の新設（昭和13年4月）



相撲大会



県下愛国体育大会、早駈継走優勝（昭和13年10月）



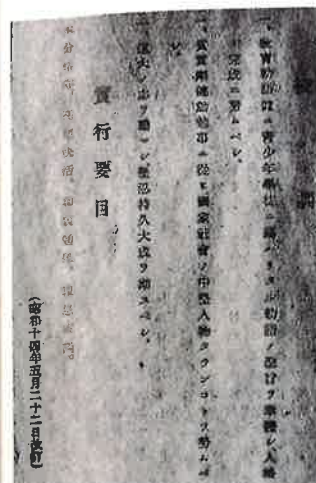
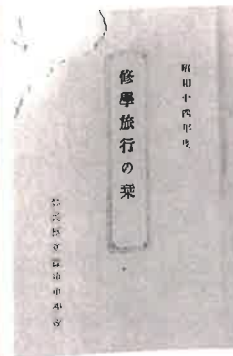
青少年学徒ニ賜ハリタル勅語（昭和14年）



軍隊手帳



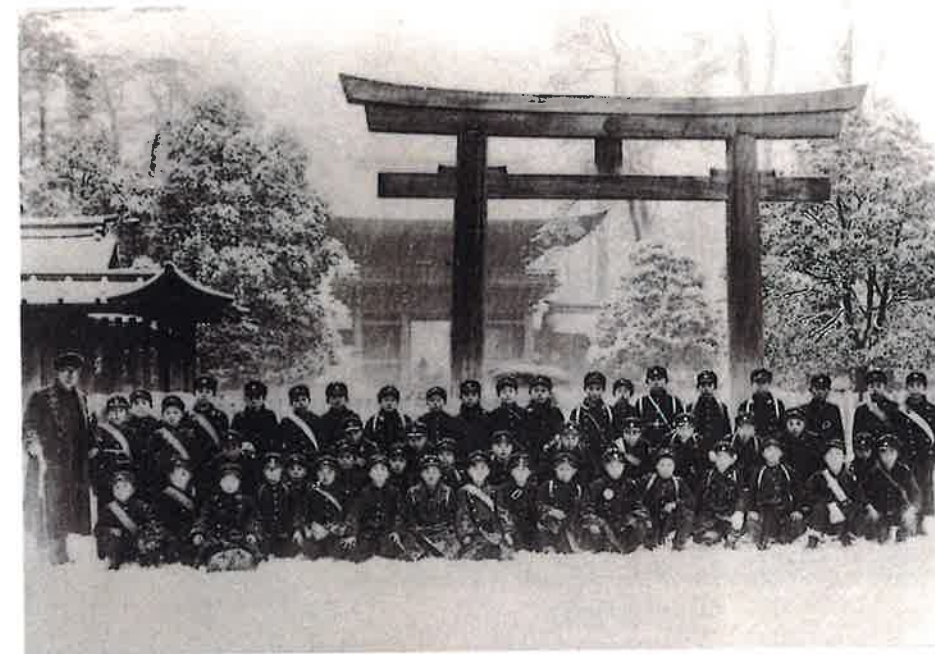
軍人勅諭



体力手帳



校訓（昭和14年）



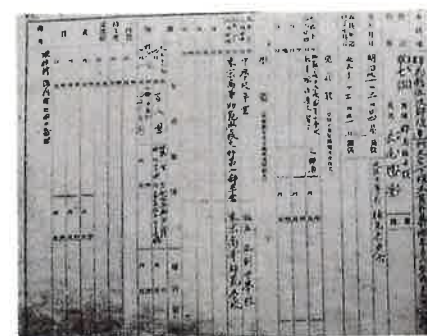
修学旅行（昭和14年）



修学旅行（昭和14年）



戦時下の中学生スタイル



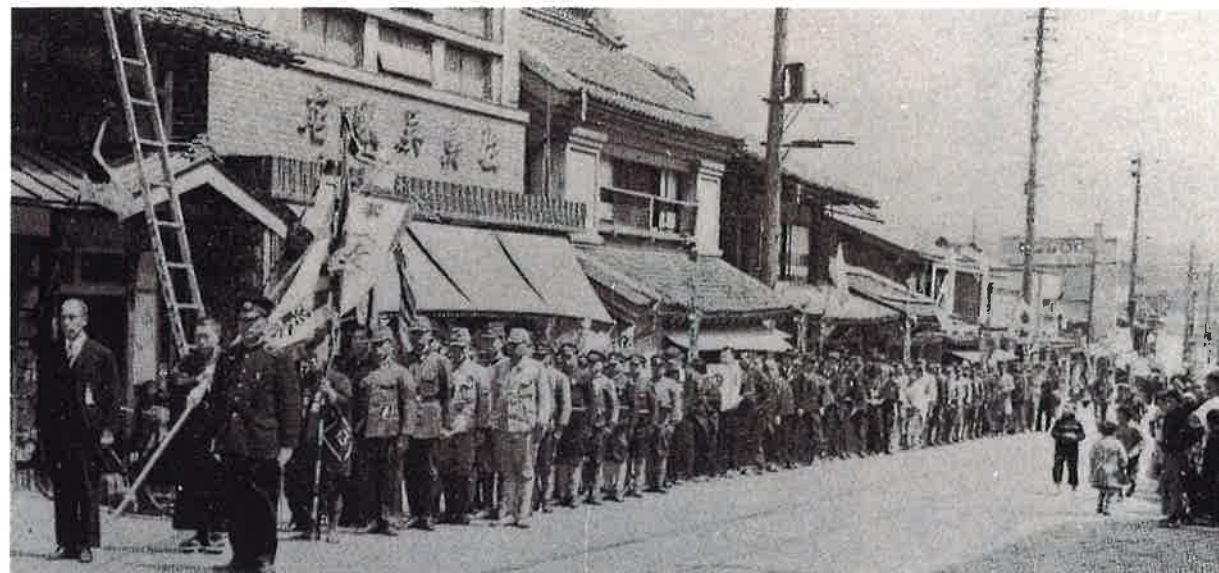




校門付近の桜



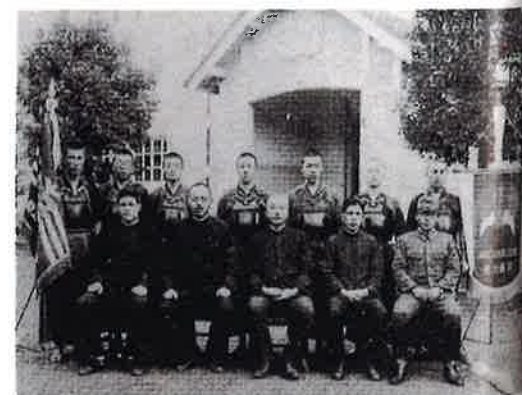
校庭の観桜（職員）



戦死者の英霊、故郷に帰る



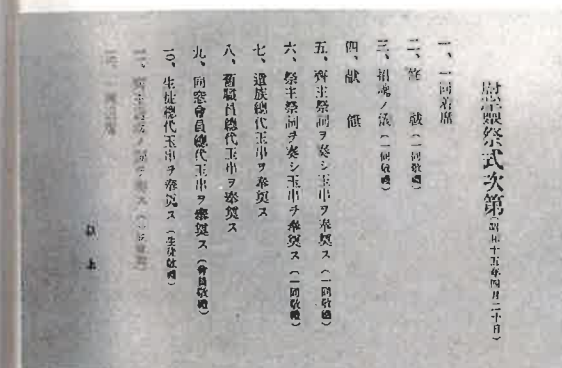
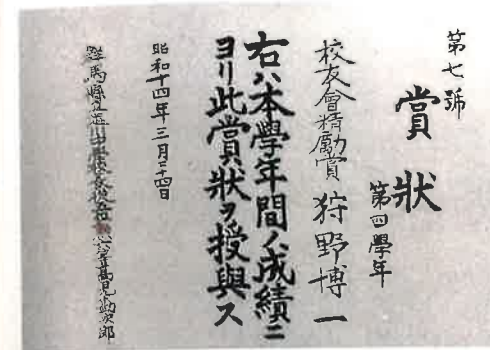
第3回県下中等学校スケート大会優勝（昭和14年）



剣道部優勝



戦時下最後の「嶺 榛」



慰霊祭（昭和15年）



剣道優勝



東校舎増築地鎮祭（昭和15年9月）



第4回スケート大会優勝



軍政15周年御親閲拝受記念



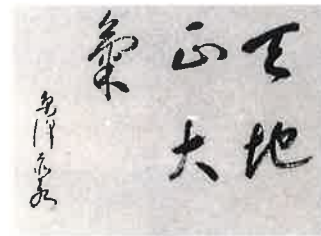
昭和15年  
当時職員の  
寄せ書き



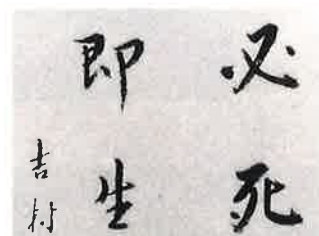
高見 勘二郎



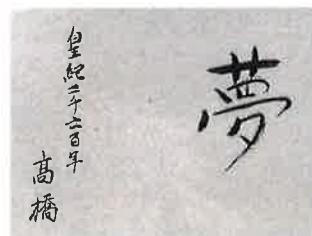
中里 仁秉



原沢 亨



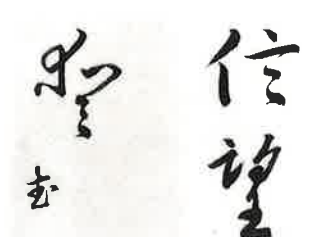
吉村 哲夫



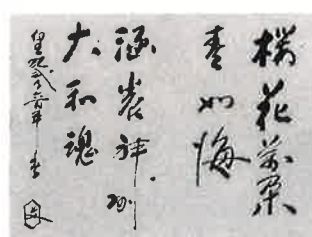
高橋 渉



北野 文雄



武内 三郎



宮下 文二郎



長野 大原



岸 三郎



長野 大原



太平洋戦争勃発 (昭和16年12月)



柔剣道部 (昭和16年)



工作室にて (昭和16年)



敵機にそなえる (防空訓練)



消火訓練



臣民の道 (昭和16年 文部省)



高橋 賞 (昭和17年)



笹の実とり (昭和16年)

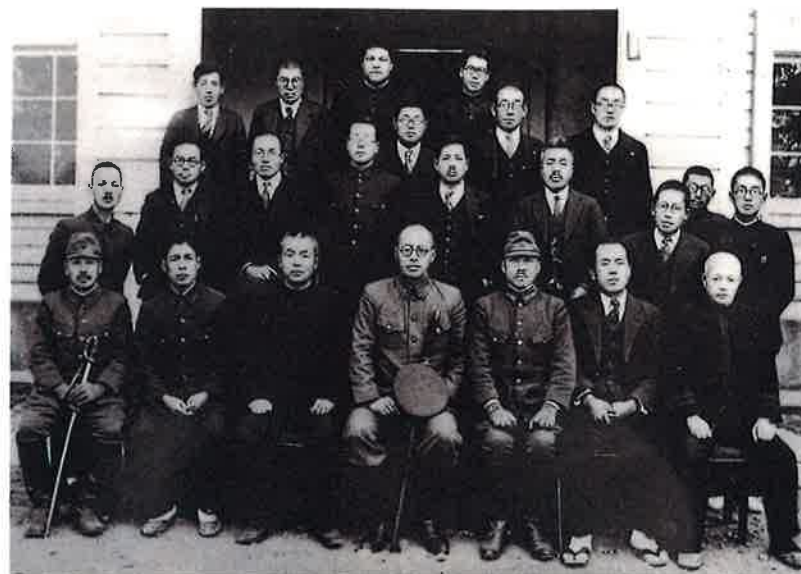


校内の皇大神宮前 (昭和16年)

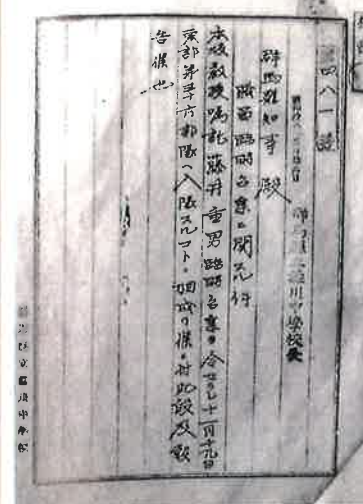


年別	志願者数
昭和17年	1,234
昭和18年	1,567
昭和19年	1,890
昭和20年	2,123
昭和21年	2,456
昭和22年	2,789
昭和23年	3,012
昭和24年	3,345
昭和25年	3,678
昭和26年	4,011
昭和27年	4,344
昭和28年	4,677
昭和29年	5,010
昭和30年	5,343
昭和31年	5,676
昭和32年	6,009
昭和33年	6,342
昭和34年	6,675
昭和35年	7,008
昭和36年	7,341
昭和37年	7,674
昭和38年	8,007
昭和39年	8,340
昭和40年	8,673
昭和41年	9,006
昭和42年	9,339
昭和43年	9,672
昭和44年	10,005
昭和45年	10,338
昭和46年	10,671
昭和47年	11,004
昭和48年	11,337
昭和49年	11,670
昭和50年	12,003
昭和51年	12,336
昭和52年	12,669
昭和53年	13,002
昭和54年	13,335
昭和55年	13,668
昭和56年	14,001
昭和57年	14,334
昭和58年	14,667
昭和59年	15,000
昭和60年	15,333
昭和61年	15,666
昭和62年	16,000
昭和63年	16,333
昭和64年	16,666
昭和65年	17,000
昭和66年	17,333
昭和67年	17,666
昭和68年	18,000
昭和69年	18,333
昭和70年	18,666
昭和71年	19,000
昭和72年	19,333
昭和73年	19,666
昭和74年	20,000
昭和75年	20,333
昭和76年	20,666
昭和77年	21,000
昭和78年	21,333
昭和79年	21,666
昭和80年	22,000
昭和81年	22,333
昭和82年	22,666
昭和83年	23,000
昭和84年	23,333
昭和85年	23,666
昭和86年	24,000
昭和87年	24,333
昭和88年	24,666
昭和89年	25,000
昭和90年	25,333
昭和91年	25,666
昭和92年	26,000
昭和93年	26,333
昭和94年	26,666
昭和95年	27,000
昭和96年	27,333
昭和97年	27,666
昭和98年	28,000
昭和99年	28,333
昭和100年	28,666

軍関係諸学校志願者数 (昭和18年)



職員の応召 (昭和17年)



職員臨時召集ニ関スル報告 (昭和18年)



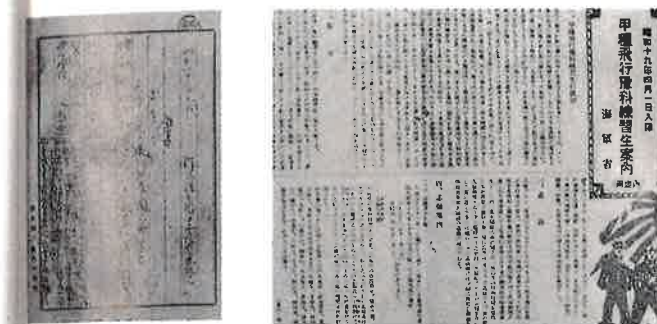
相馬ヶ原での演習 (昭和18年)



戦争初期 (昭和17年2月16日)



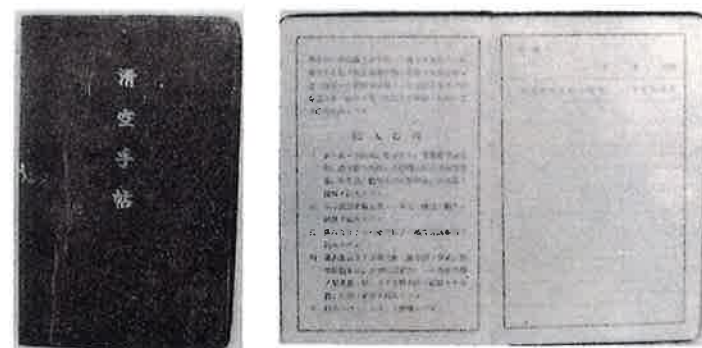
勤労奉仕 (昭和17年)



兵員収容力調査報告 予科練募集案内 (昭和19年4月)



相馬ヶ原での演習 (昭和18年)



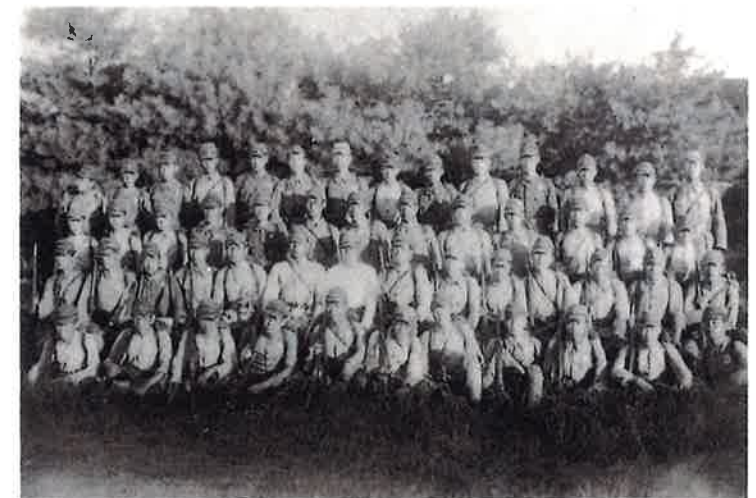
滑空手帳 (昭和18年)



航空日誌



相馬ヶ原演習 (昭和18年)



渋川駅頭に聖恩旗を迎える (昭和18年1月)



第13回明治神宮国民練成大会会場の榛名湖で整備作業をする (昭和18年1月)



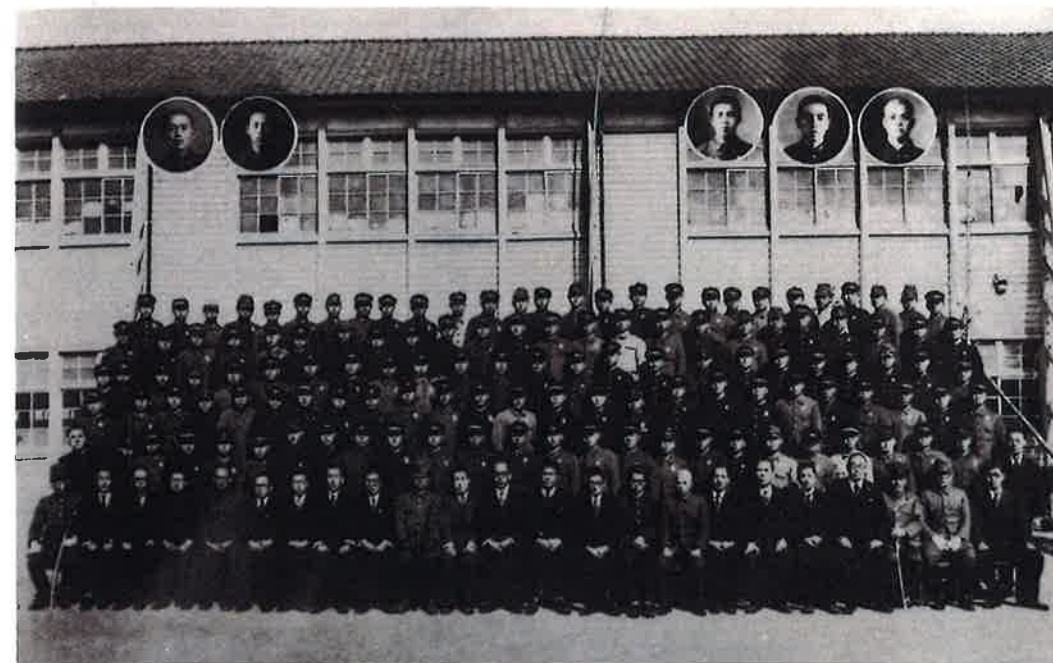
第3回明治神宮国民練成大会開会式







卒業記念写真(昭和19年3月)



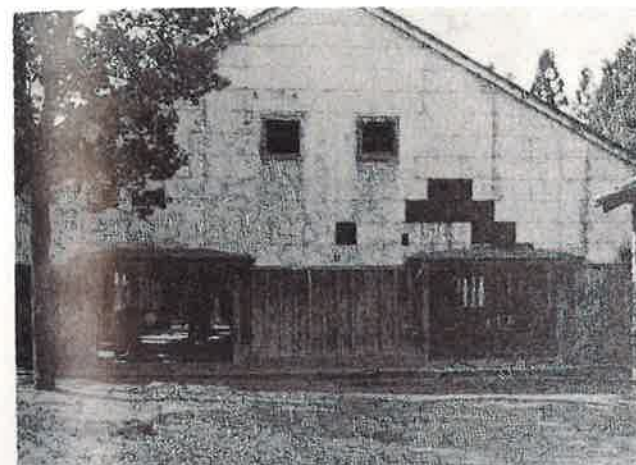
卒業記念写真(昭和20年3月)



昭和19年頃の中学生



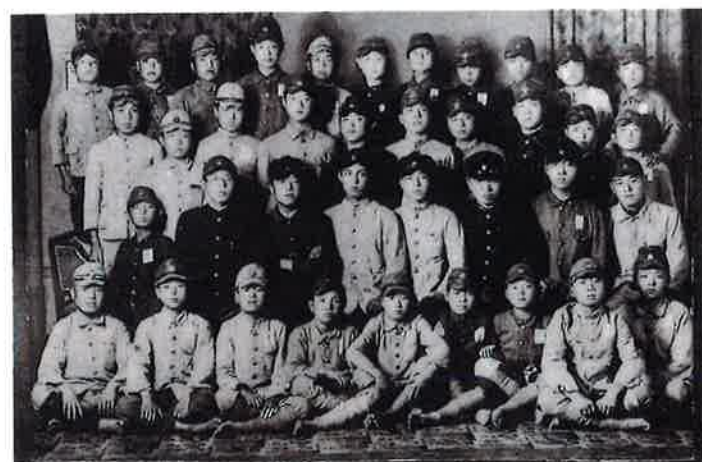
勤労学徒動員の配置転換調査書  
(昭和19年)



老朽化した生徒控室



校庭西側の杉並木



同村の生徒(昭和20年)



勤労働員配置換報告  
(昭和20年)



学校報国隊出動令書  
(昭和20年)



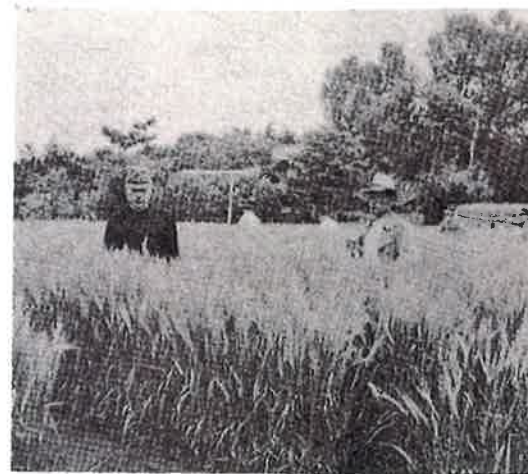
学校開墾地の報告



戦時下の女学生



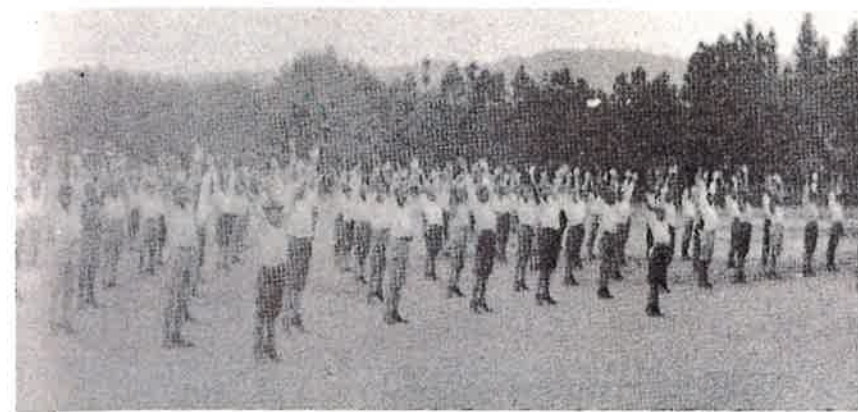
学 校 農 場



第三農場



金井の山林開墾



朝の体操



1年生の教練



第三農場全景

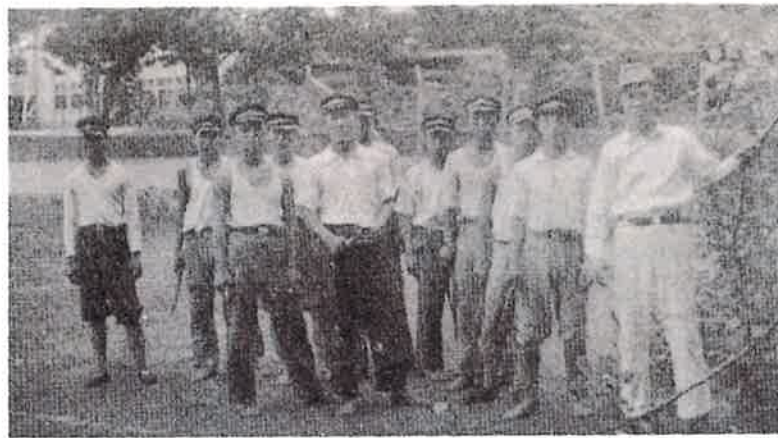


学徒報国隊出勤先（昭和20年5月）

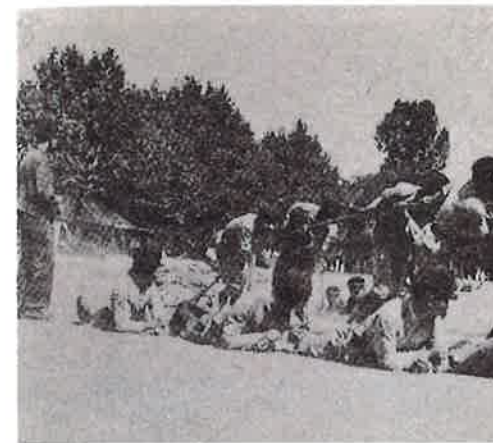
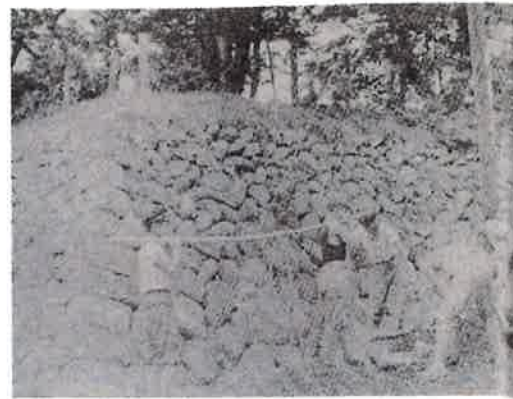


就職適格者調査（昭和19年度）

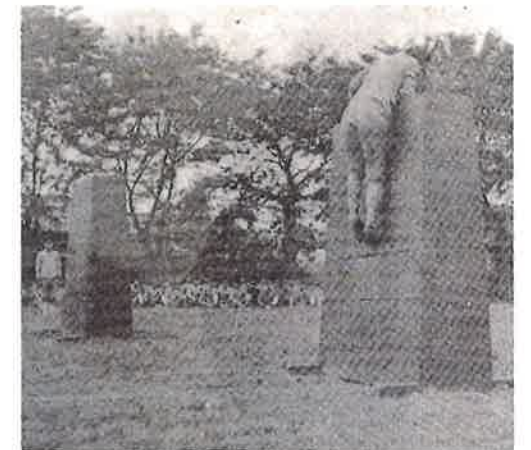




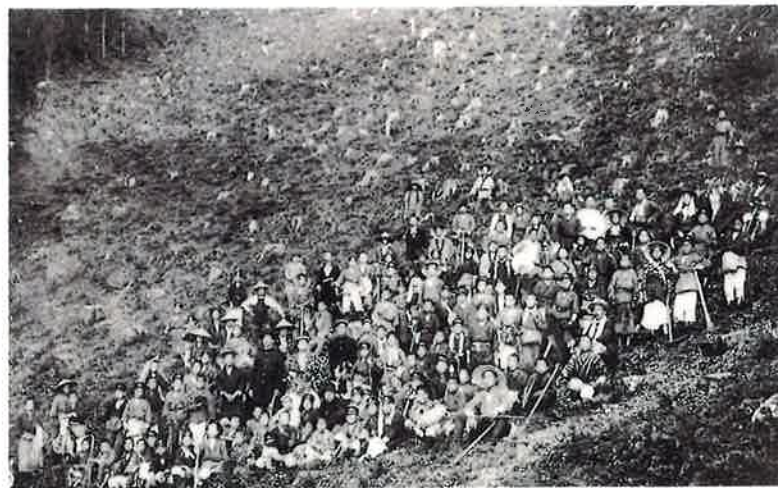
作業風景



教 練（土袋を引く）



教 練（城壁のほり）



軍事訓練



開墾勤労作業隊（赤城山麓）



運動会



行 軍（烏川を渡る）



合同大演習（高崎乗附練兵場）



第13回神宮国民練成大会（榛名湖）（昭和18年）

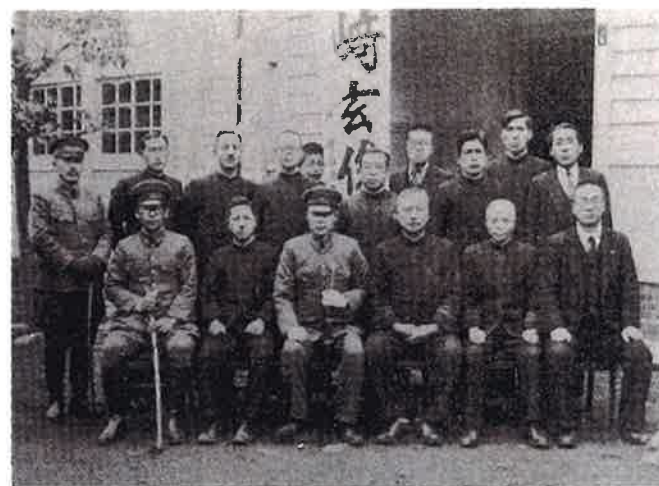


閲兵分列（乗附練兵場）



グライダー訓練のひととき（大正橋下）





岩崎先生 出征（昭和11年）



平瀬先生 出征（昭和13年）



横手先生 出征（昭和18年）



職員一同

職員スナップ





70年のあゆみ



4. 戦 後 期

昭和21年～昭和25年







ソ連引揚船帰る



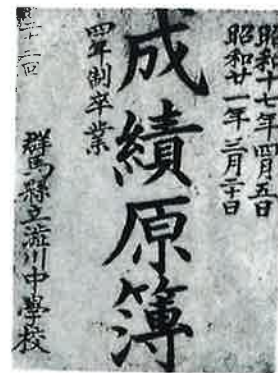
敗戦と引揚



国破れて山河あり



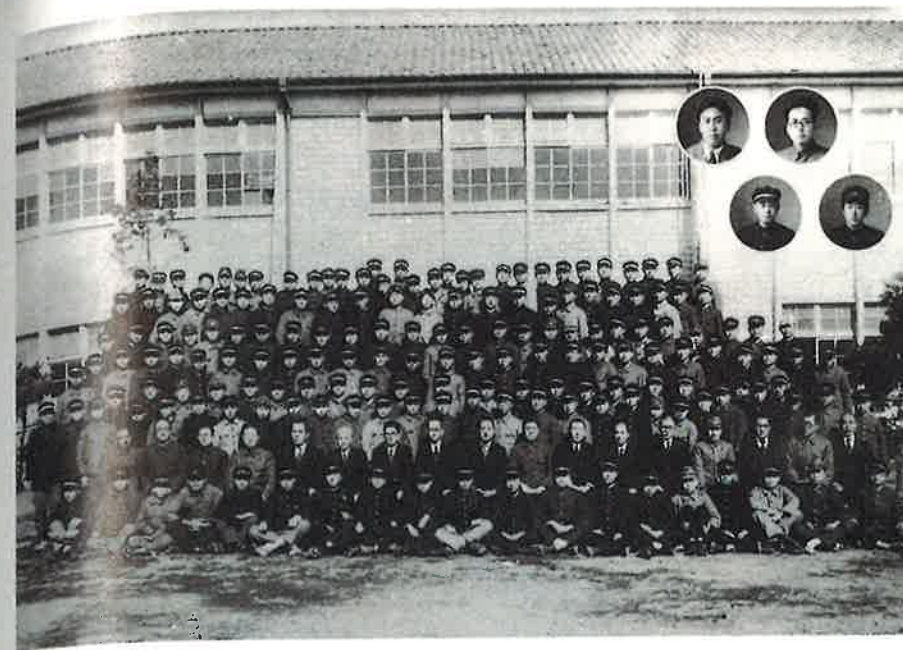
占領下の日本



3Aのクラス文集(昭和23年)



高原体育学校(昭和23年)



卒業記念写真(昭和22年)



新制高等学校発足(昭和23年)



ノートを利用しての学級新聞(昭和21年)



榛嶺再刊(昭和23年)



高原体育学校(昭和23年)





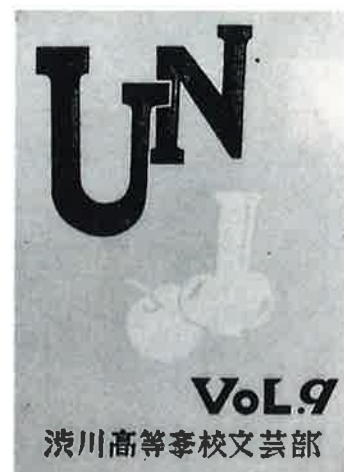
澁川遠望



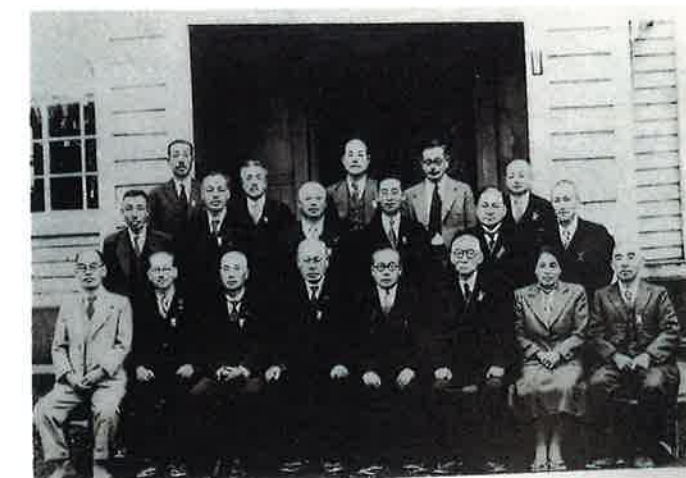
澁川遠望



卒業記念

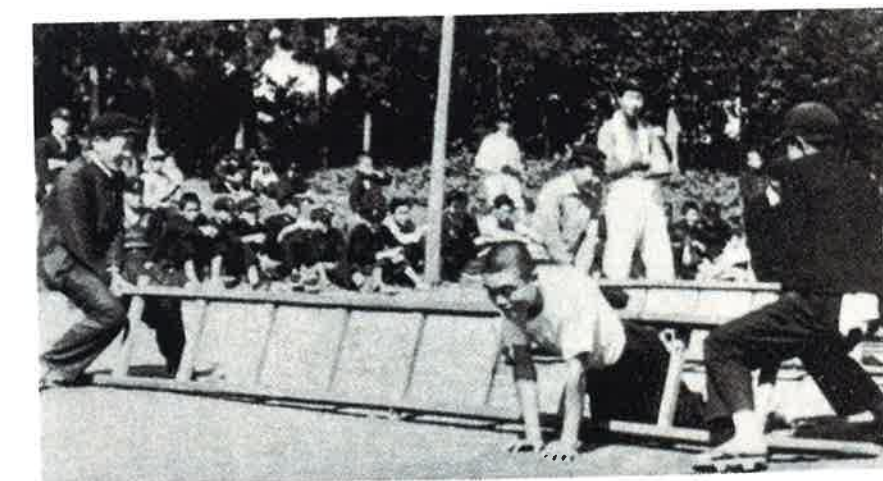
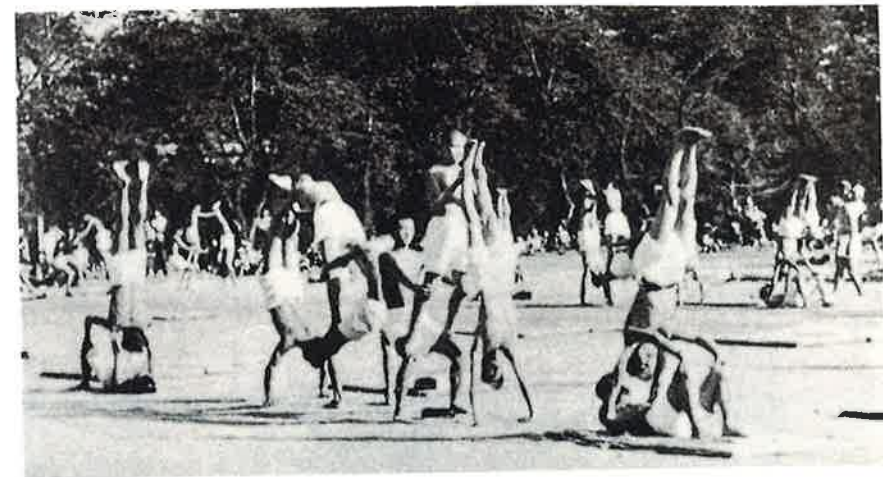
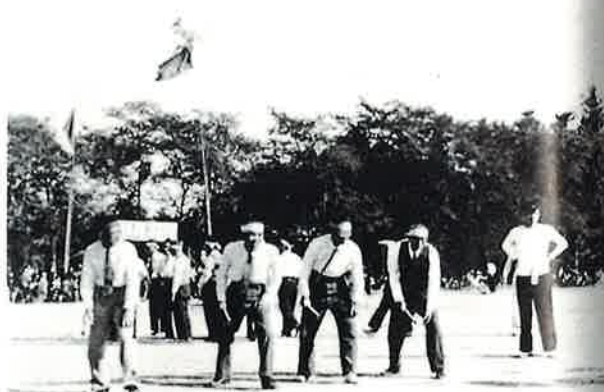


創立30周年  
記念式典  
(昭和25年)





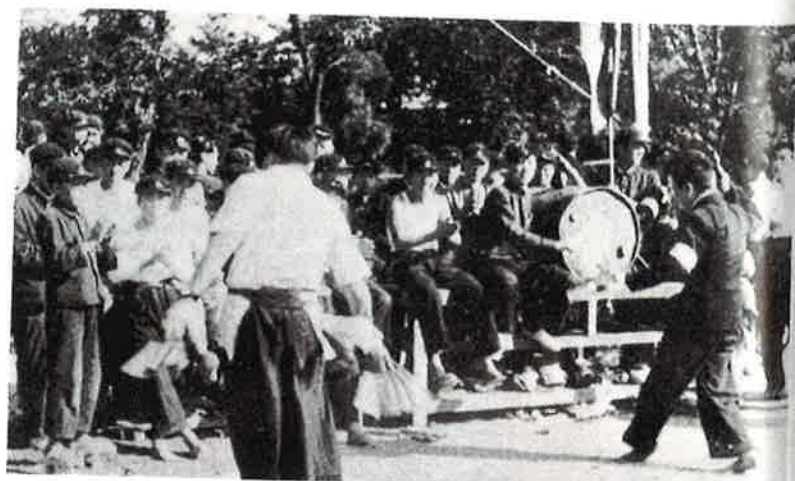
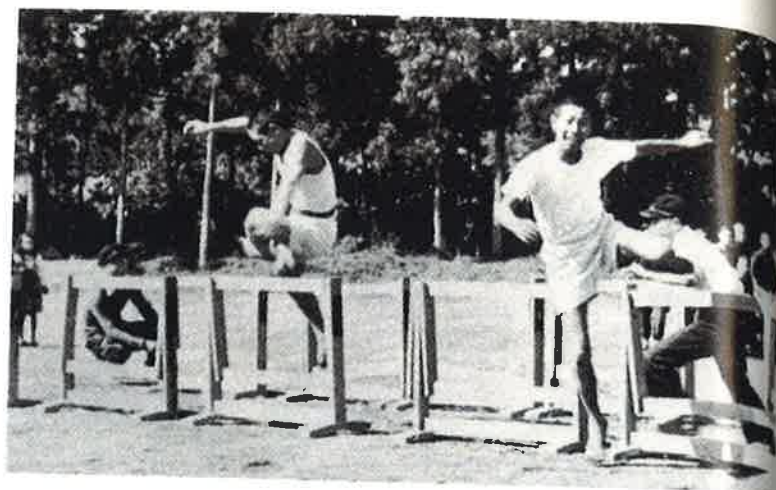
創立30周年記念運動会







仮装風景



応援合戦



駅前停留所



伊香保渋川間の電車



渋川の郵便局

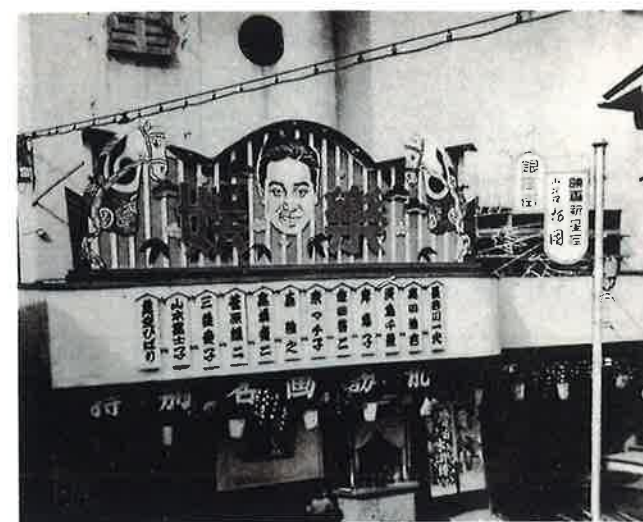


新町電車々庫



四ツ角付近

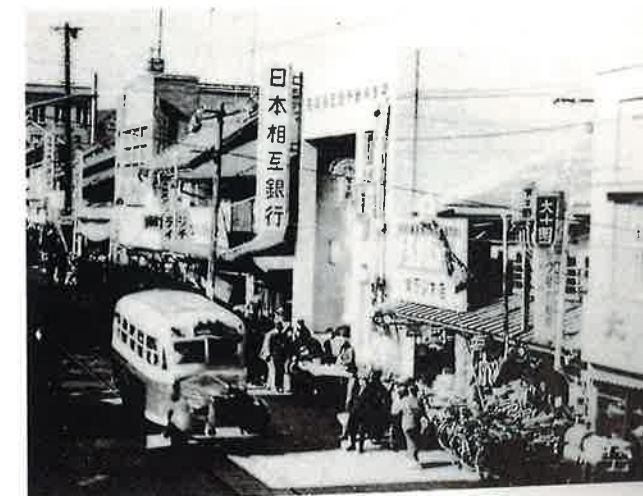
旧町内風景（昭和20年～30年代）



映画館



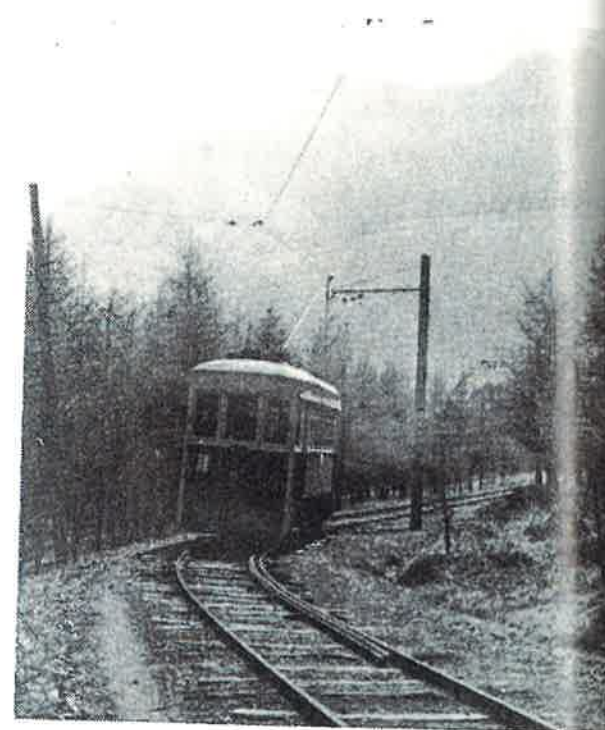
中之町付近



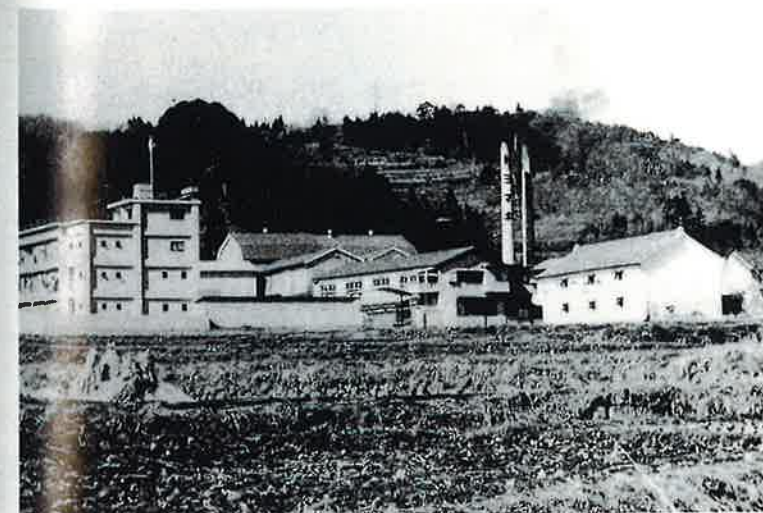
四ツ角付近



旧波川町内風景



チンチン電車



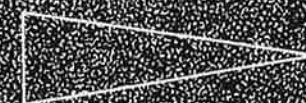


70年のあゆみ



5. 発展一期

昭和26年～昭和40年







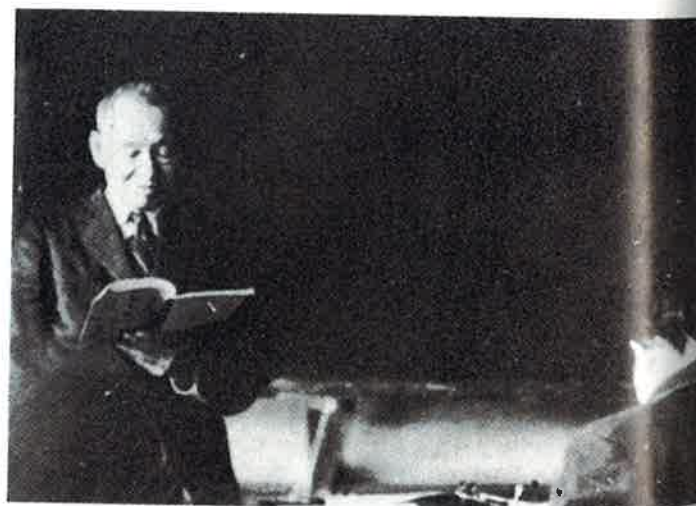
職員写真（昭和26年）



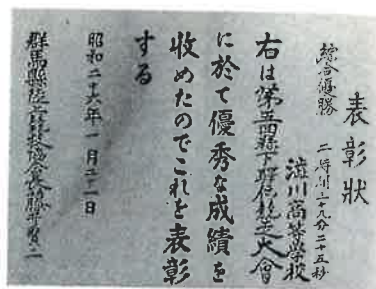
全日第3回卒業生



県下駅伝競争で総合優勝（昭和26年）



市川先生（昭和26年）



表彰状



開校記念マラソンゴール風景（昭和26年）



妙義団幹部リーダー（昭和26年）



定時制文芸誌 STB 創刊号（昭和26年）



北毛地区大会プログラム（昭和26年）



信用金庫屋上より女子高をのぞむ（昭和26年）



北毛学生新聞（昭和26年）



ピアノ購入披露演奏会プログラム



第31回大運動会の各団長・副団長（昭和26年）



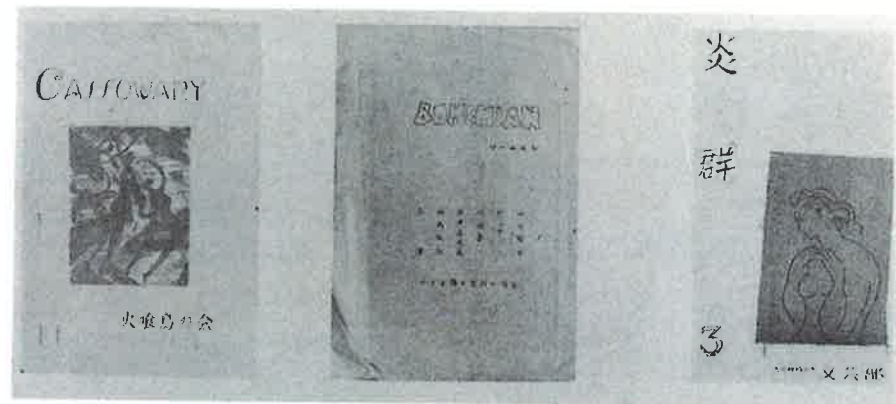
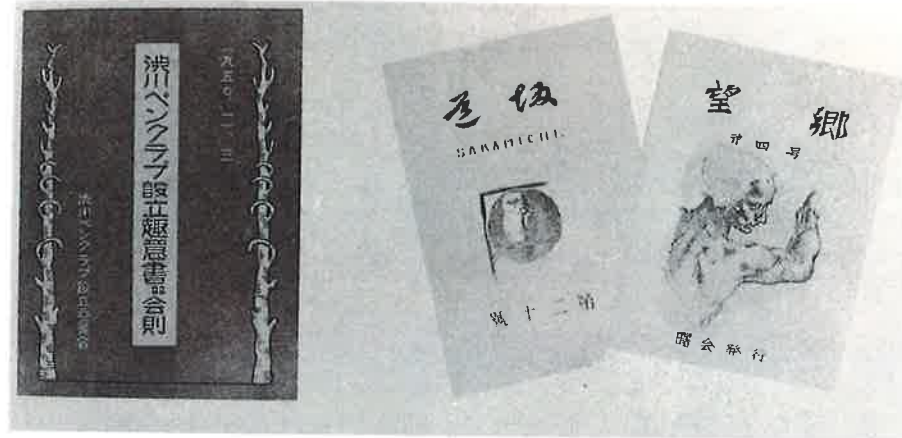
第1回県下高校弁論大会（昭和26年）



ピアノ購入披露演奏会出演者、伊藤京子  
田辺みどり両氏と記念写真（昭和26年）



在校生、卒業生らによる活発な文化運動  
(昭和24年～昭和27年同人雑誌を集録)



講和条約調印さる (昭和26年)



文芸部員 (昭和26年)



(昭和27年)

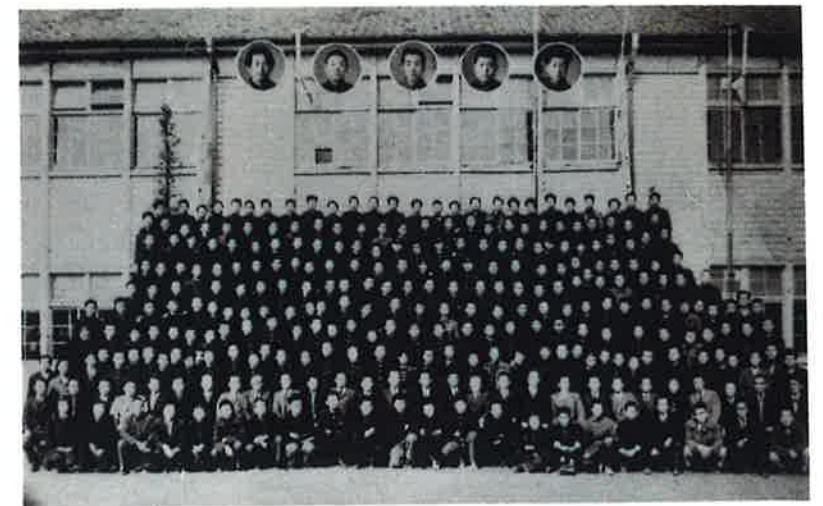


宮本 篤先生 (昭和27年)

オリンピック出場の堀越 保氏 (旧姓 木暮)



校歌制定記念演奏会プログラム (昭和27年)



全日制第4回卒業生



柴田睦陸、小林福子両氏による校歌記念演奏会 (昭和27年)



定時制第1回生 (於図書館昭和27年)



定時制第1回生予餞選会練習風景 (於講堂昭和27年)

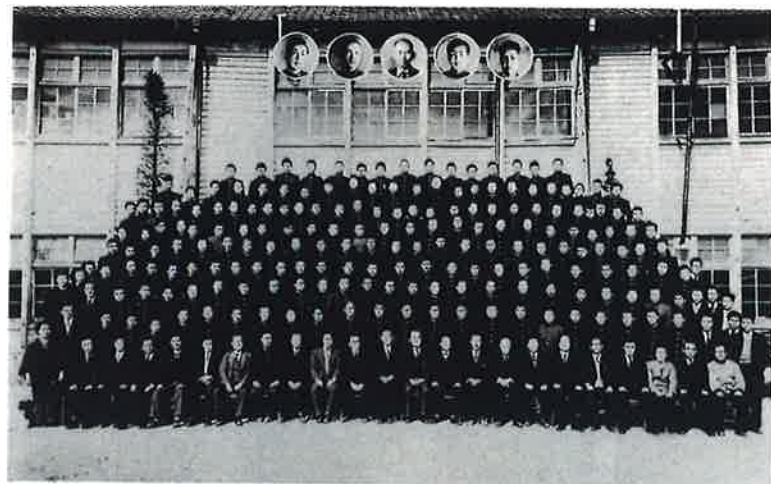


メーデー事件 (昭和27年)



真光寺の森をのぞむ (昭和27年)





全日制第5回卒業生



自転車旅行隊  
金精峠をこえる  
(昭和28年)



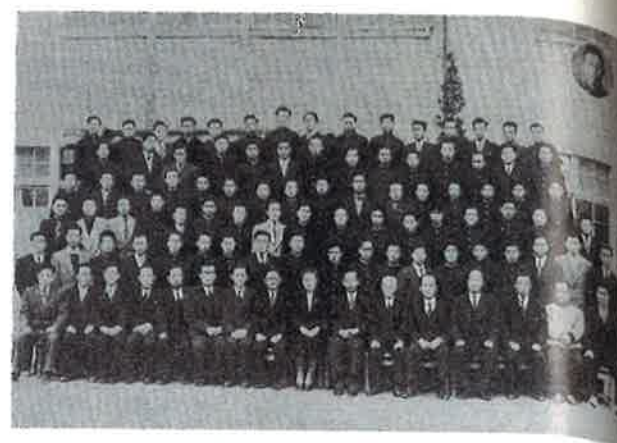
はじめての生徒手帳(昭和29年) スクールカード(昭和29年)



スクールカード(昭和29年)



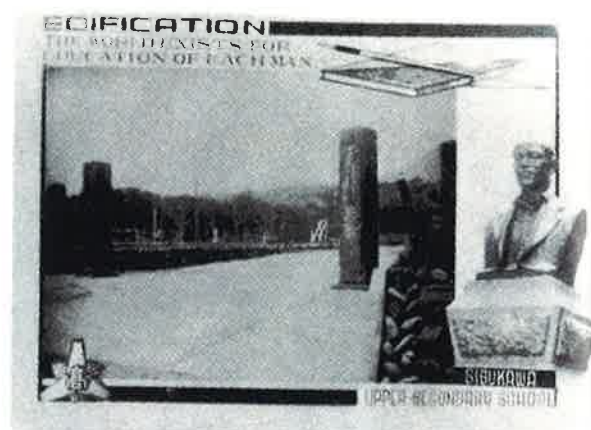
スクールカード(昭和29年)



定時制第2回卒業生



定時制生徒三峯参拝自転車旅行(昭和29年)



スクールカード(昭和29年)



水沢登山(昭和29年)



運動会応援風景(昭和29年)



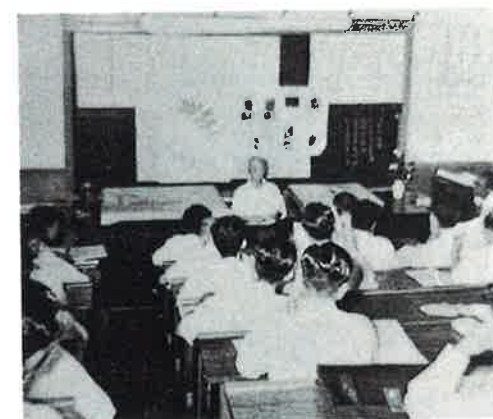
中庭造園工事(昭和29年)



全日制第6回卒業生



新装なった理科室での勉強(昭和29年)



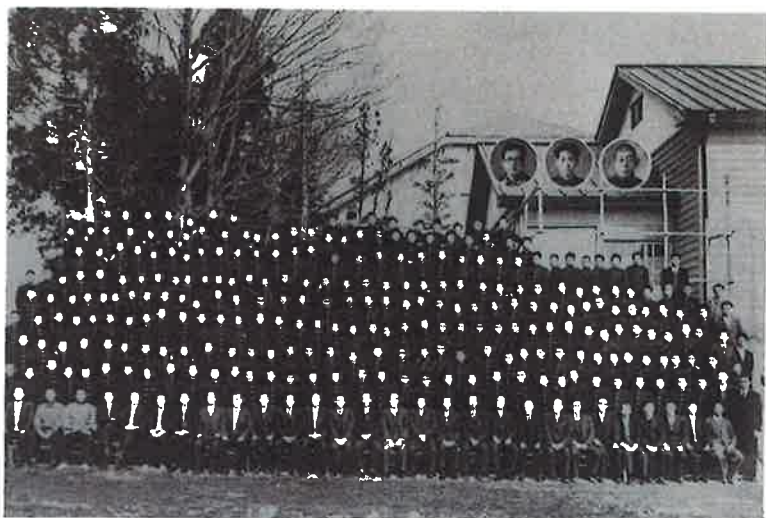
岸先生の研究発表(昭和29年) 東日本理科教育研究会



大正橋付近の水あそび



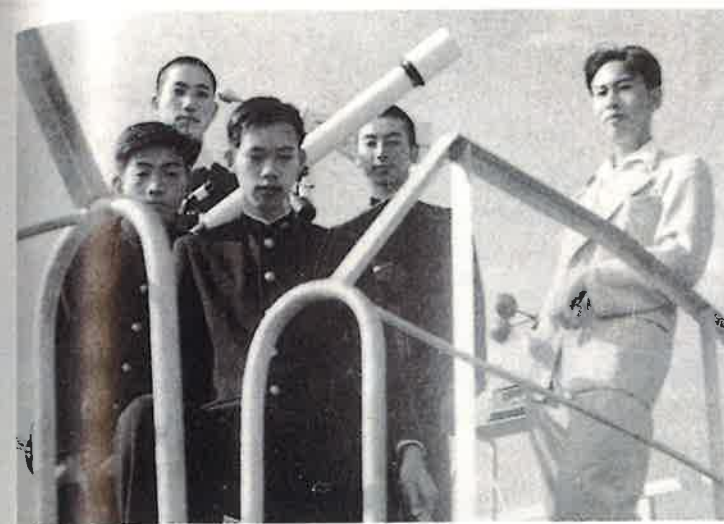




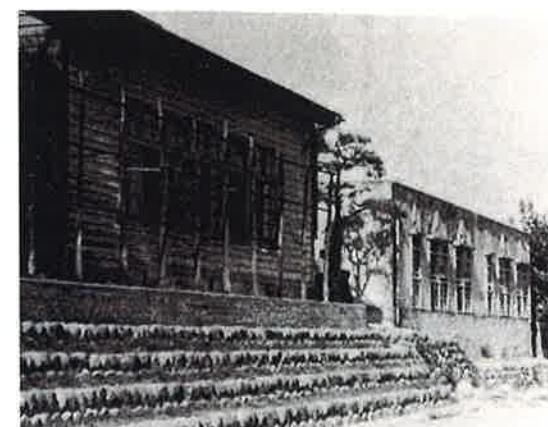
全日制第7回卒業式



スケート部（昭和30年）



地学部



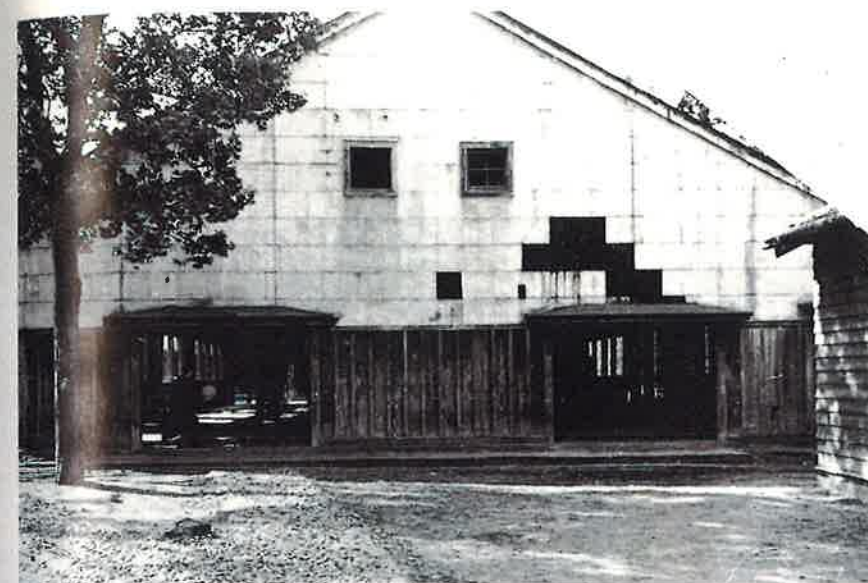
昭和30年代の波高



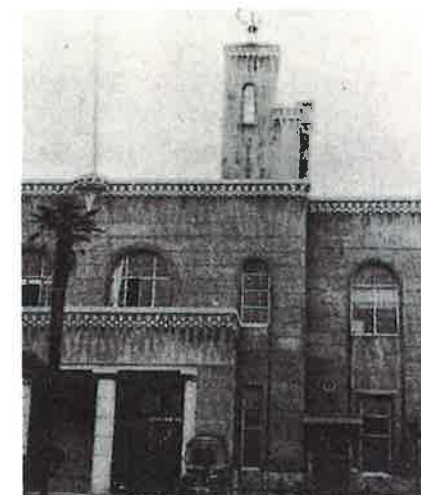
旧五市一周自転車旅行  
（昭和30年）  
高崎高校到着



太田香龍様で記念写真



昭和30年代の体育館



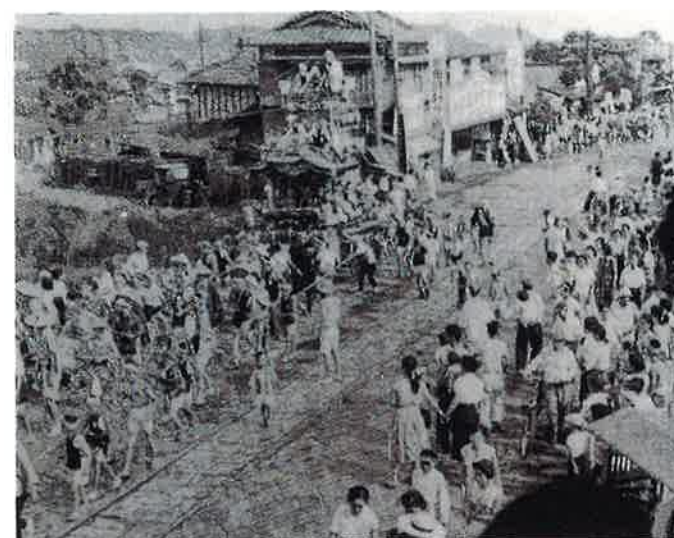
波川警察署



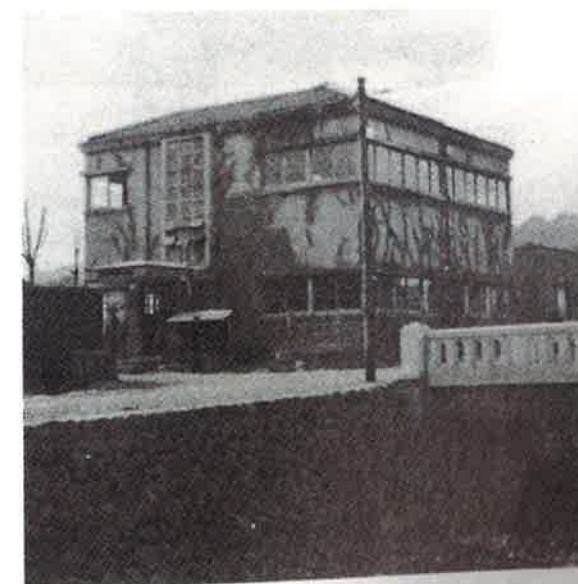
バレー部員（昭和30年）



全日制柔道部（昭和30年）

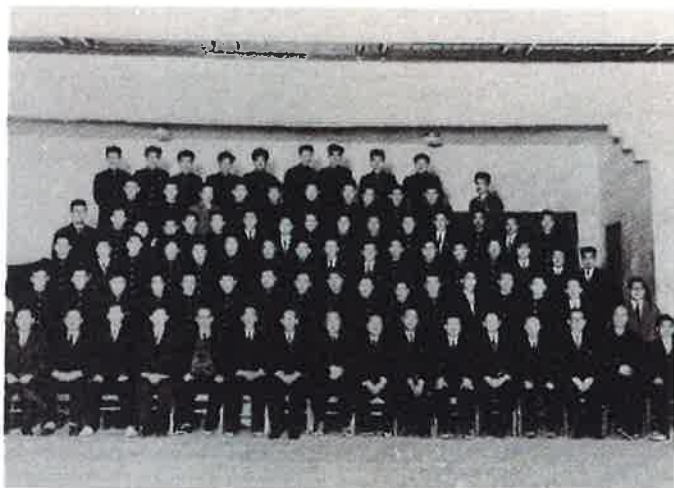


波川町の夏祭り

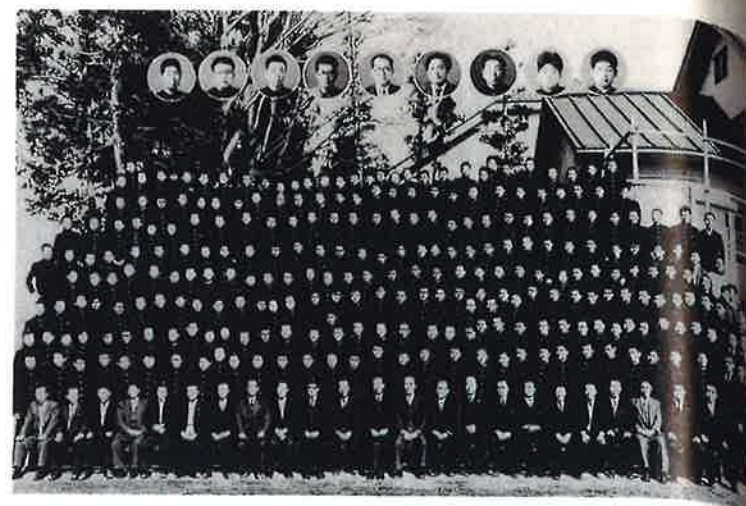


浅野記念図書館

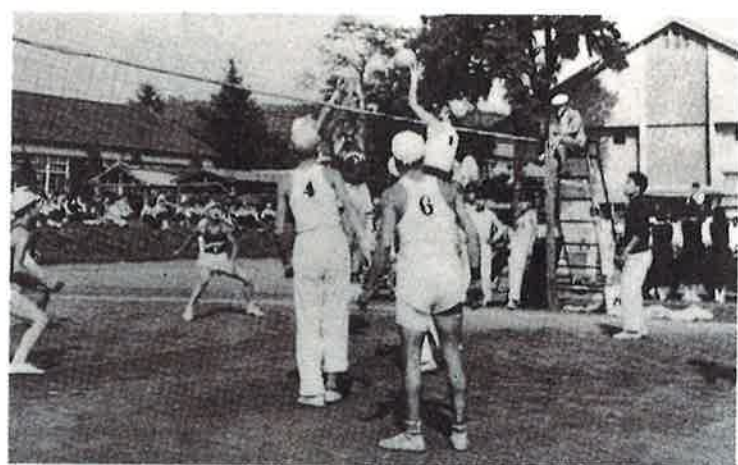




定時制第5回卒業生



全日制第8回卒業生



北毛地区大会（於中之条高校 昭和31年）



（昭和31年）

北毛地区大会プログラム



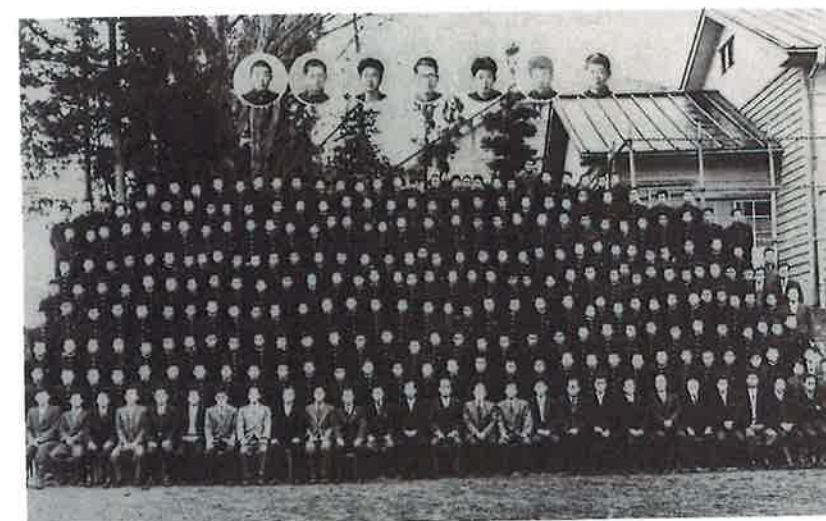
英語部誌アロー創刊号（昭和31年）



大正橋サイフォン付近（昭和31年）



昭和32年元旦水沢登山



全日制第9回卒業生



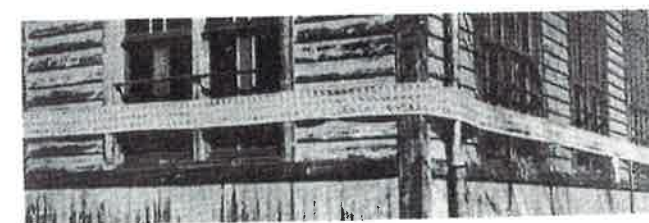
波高音楽部（昭和31年）



北毛地区高校訪問自転車旅行  
（高山村付近走行中昭和31年）



定時制第6回卒業生



入試発表（昭和32年）



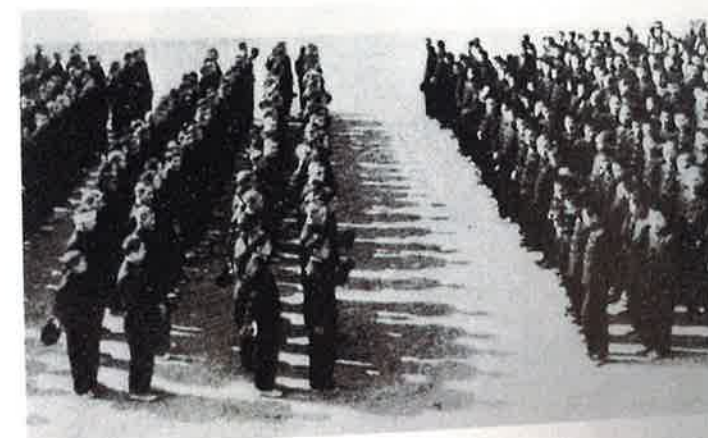
定時制生徒長瀬自転車旅行（昭和31年）



県下高校柔道大会で優勝（昭和31年）



中庭（昭和32年）



校庭で対面式（昭和32年）





文芸部誌アン（昭和32年）



人工衛星打揚げを報ずる新聞（昭和32年）



柔道部関東大会出場（昭和32年）



吾妻街道を行く自転車隊



吾高体育館で朝食

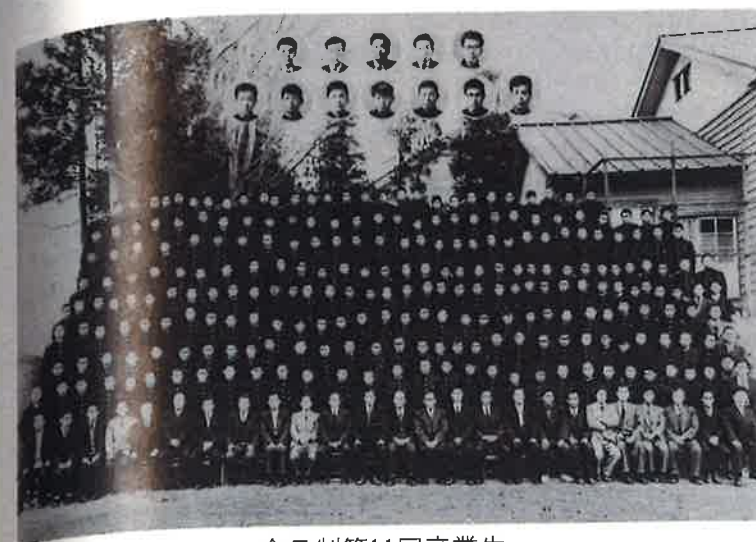


水沢登山（昭和33年）

榛名山麓一周自転車旅行



定時制第7回卒業生



全日制第11回卒業生



野球部練習風景（昭和34年）

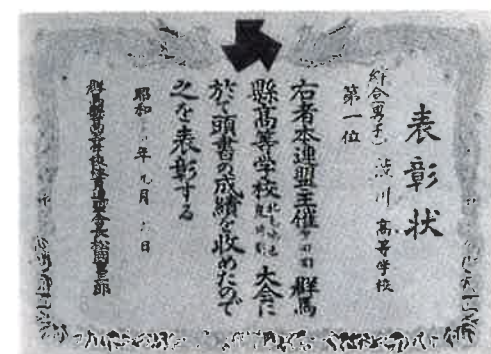


若鮎創刊号  
定時制文芸部誌

（昭和34年）



昭和34年頃の渋高



定時制地区大会で圧勝



職員写真（昭和34年）



大穴スキー教室（昭和34年）



物理実験授業（昭和34年）





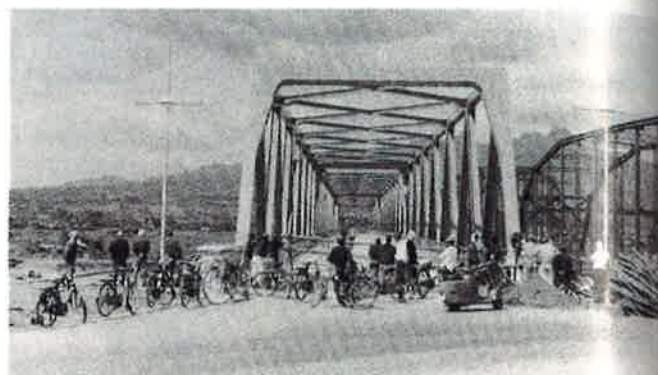
法高11月祭（昭和34年）



修学旅行



定時制第9回卒業生



阪東橋完成（昭和34年）



浅沼委員長暗殺される（昭和35年）



校内体育大会（昭和35年）



県下定時制柔道大会で優勝（昭和35年）



法高市七夕祭

（昭和35年）



大穴スキー教室（昭和35年）



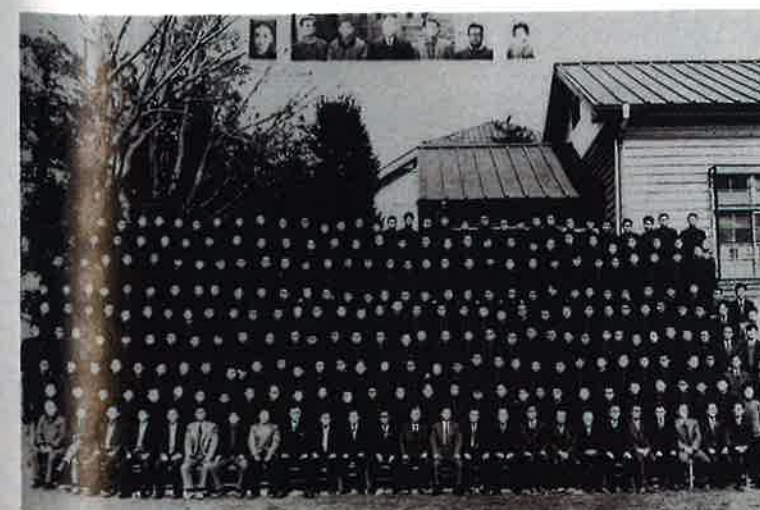
定時制第12回卒業生



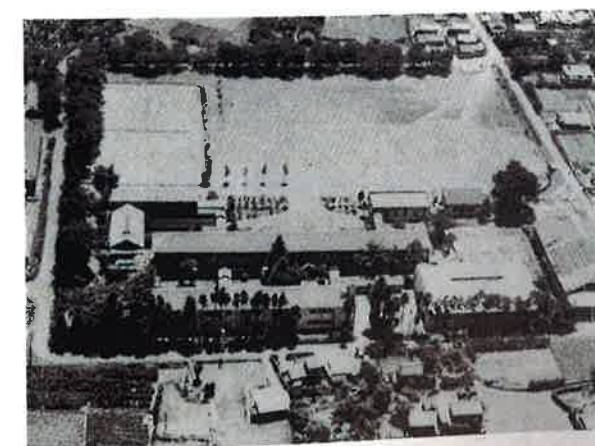
入学式（昭和35年）



校庭で対面式（昭和35年）



全日制第13回卒業生

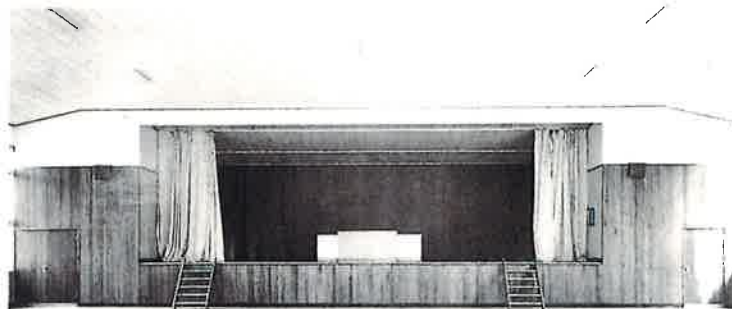


昭和36年頃の法高





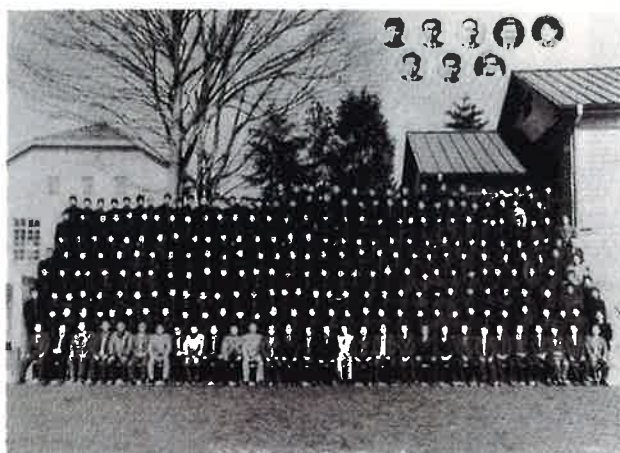
入学式（昭和36年）



講堂増改築なる（昭和36年）



鯉沢橋完成（昭和36年）



全日第14回卒業生



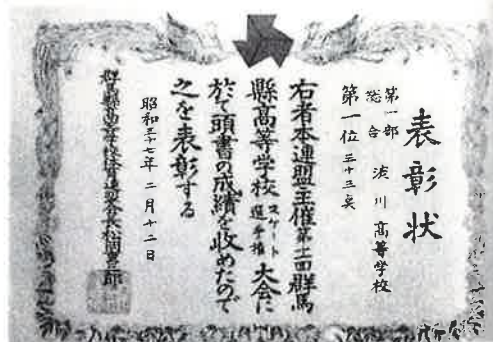
波高沿革史（昭和36年）



風雪にたえて  
（定時制第10回卒  
福田武君の生活  
記録を掲載  
昭和37年）



県下高校庭球大会に優勝（昭和37年）



県下高校庭球大会に優勝（昭和37年）



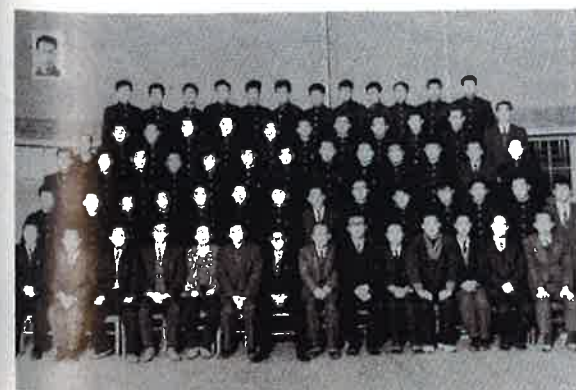
昭和38年頃の波高全景



昭和38年頃の講堂



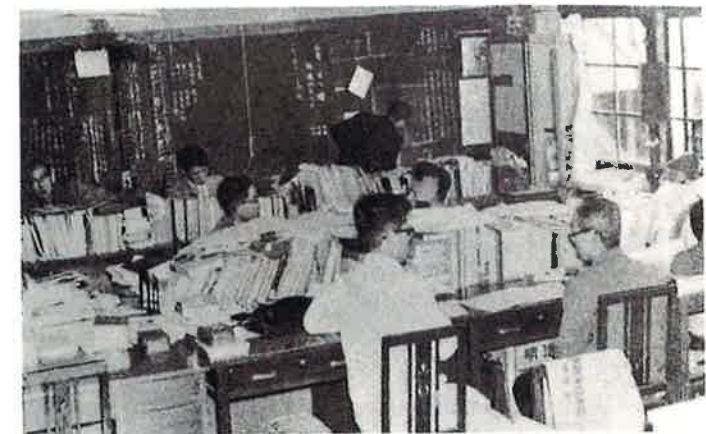
急増対策で6教室増築（昭和38年）



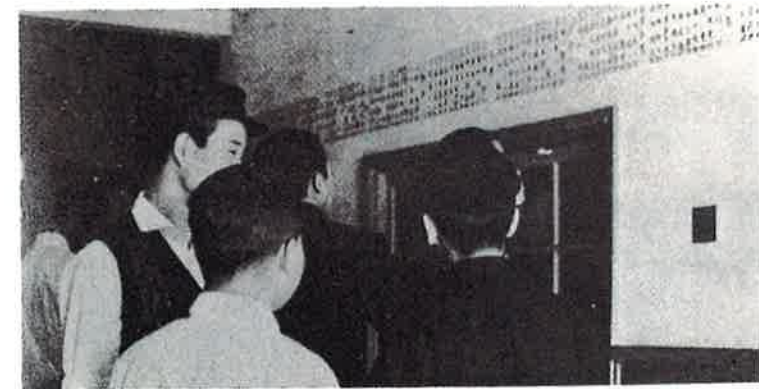
定時制第13回卒業生



長野大原先生（昭和38年）



職員室風景（昭和38年）



模擬試験発表風景（昭和37年）

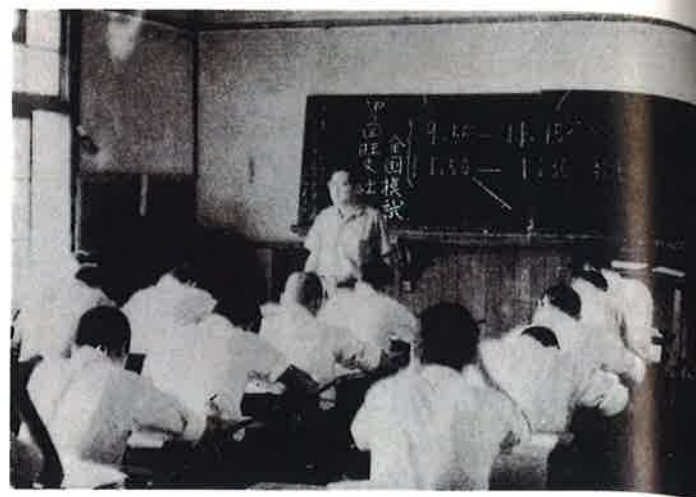


図書館風景





定時制運動会の仮装（昭和38年）



授業風景



定時制文芸・新聞部  
発行若鮎（昭和38年）



授業風景



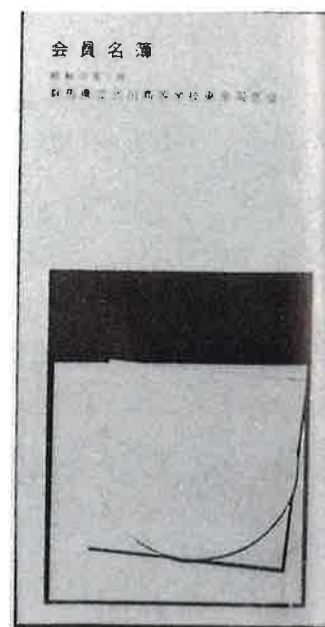
市内大崎付近の立体交差完成（昭和38年）



復興された英文タイトル



英文タイトル裏書と  
復興委員



東京同窓会会員名簿  
（昭和39年）



佐藤次郎氏胸像（昭和39年）



レスリング部創設される。上武洋次郎氏を迎えて模範演技（昭和39年）



オリンピック聖火渋谷を通過



佐藤次郎氏胸像よりのぞむ渋谷（昭和38年）



渋谷東門（昭和38年）







定時制第14回卒業生



職員写真（昭和40年）



開校記念マラソン大会（昭和40年）



同窓会より開校記念マラソン大会に寄贈されたカップとメダル（昭和40年）



新校舎第一期工事地鎮祭（昭和40年）



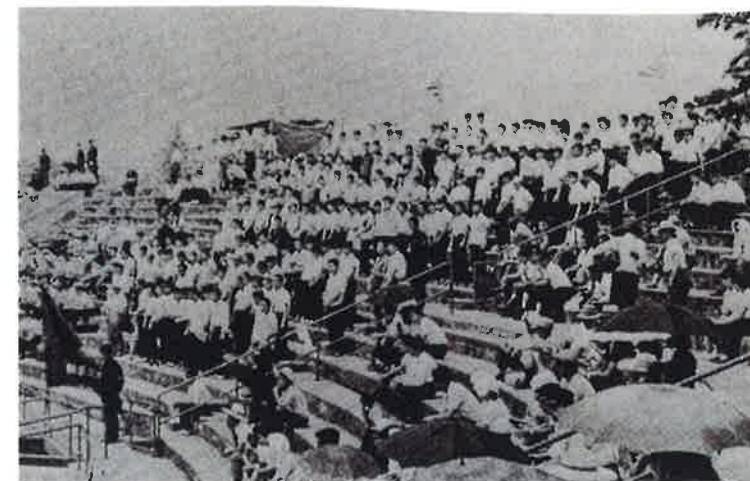
第1回渋川地区高校合同美術展プログラム（昭和40年）



第1回合同慰霊祭と物故者名簿（昭和40年）



渋高生のあゆみ（昭和40年）



渋高生の野球応援風景（昭和40年）



校長公舎（昭和40年）



文化祭プログラム（昭和40年）



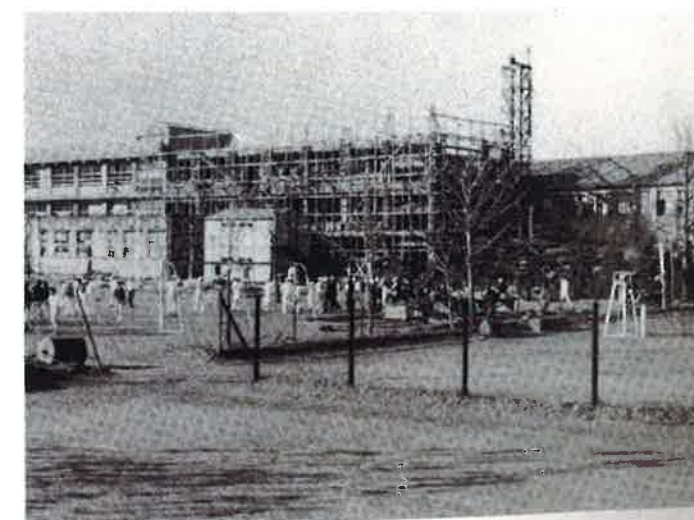
榛嶺生徒会機関誌となる



10月祭におけるフォークダンス（昭和40年）



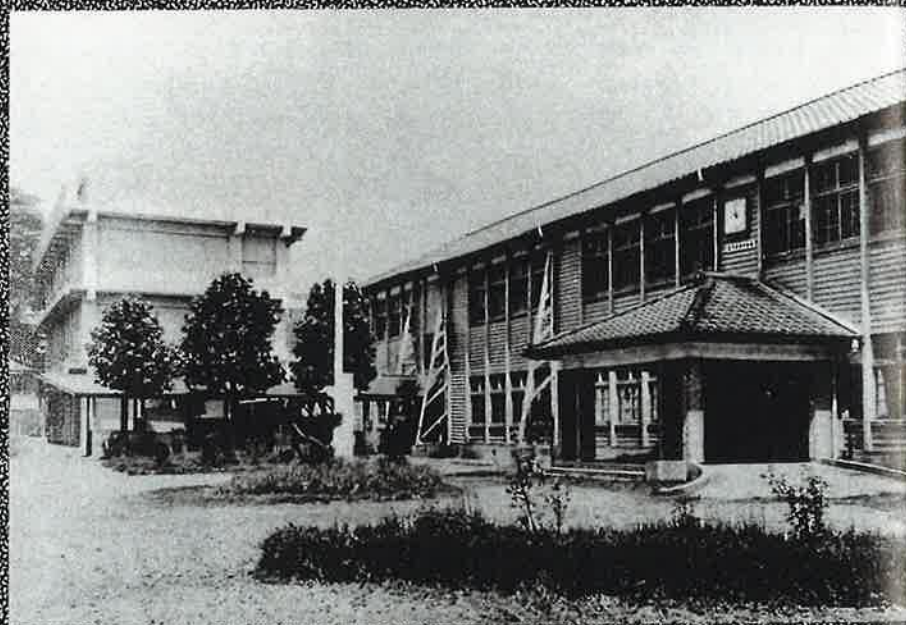
定時制第15回卒業生



校舎第一期工事（昭和40年）

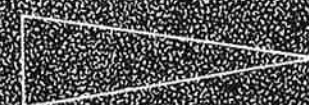


70年のあゆみ

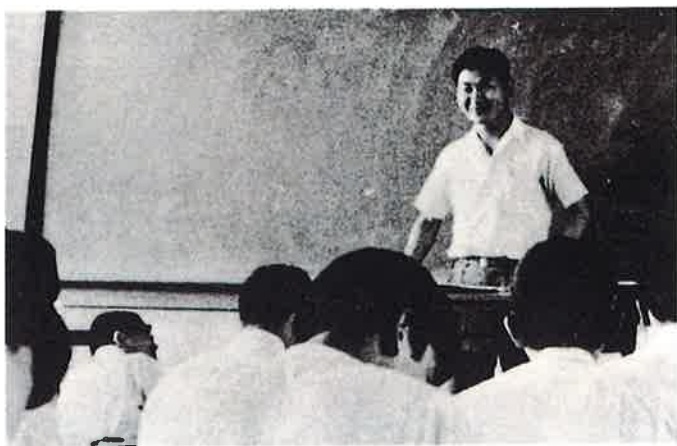


6. 発展二期

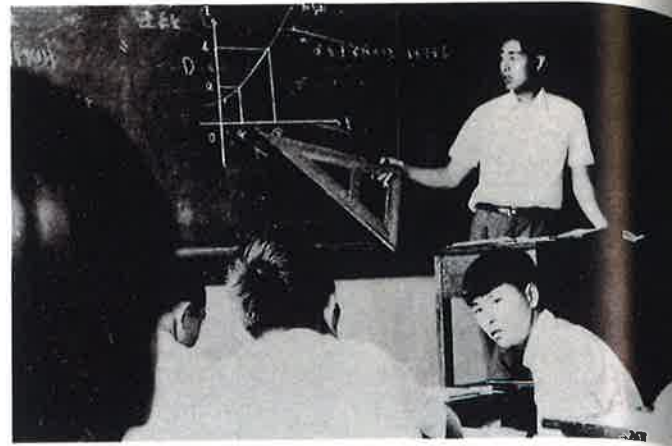
昭和41年～昭和54年







授業風景（昭和41年）



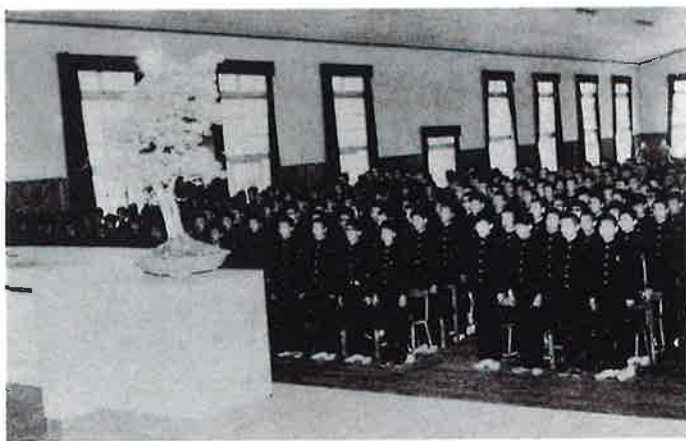
授業風景（昭和41年）



昭和41年頃の波高



波高合格発表（昭和41年）



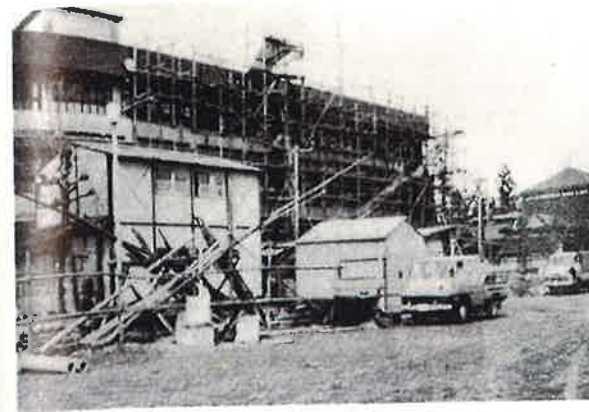
入学式（昭和41年）



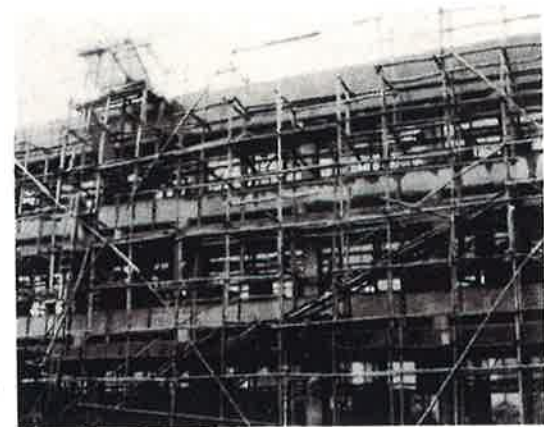
定時制第16回卒業生



校外サークルメザシ1号（昭和42年）



校舎改築第二期工事（昭和42年）



化学実験風景（昭和42年）



ブラスバンド定期演奏会



図書館小講演会の梅山先生（昭和42年）



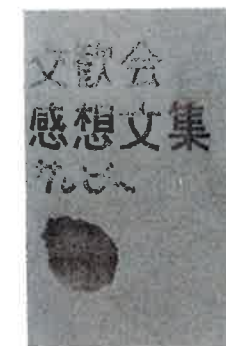
定時制三校合同文化祭プログラム



クラス新聞サービス（昭和42年）



授業風景（昭和42年）



交歓会感想文集（昭和42年）



進路要覧第1号（昭和42年）



学習の手引第1号（昭和42年）





職員写真（昭和42年）



修学旅行記念写真（昭和42年）



開校記念全校マラソン（昭和42年）



コンクリート校舎の取りこわし作業（昭和43年）



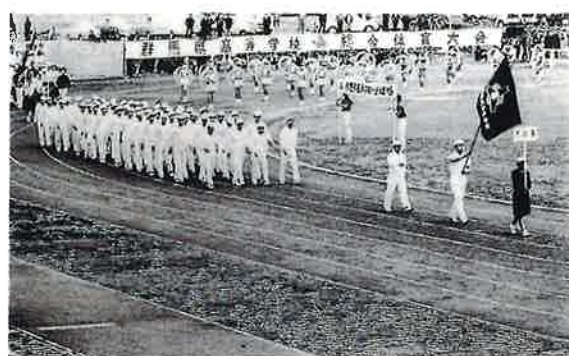
定時制第17回卒業生



スケート教室（昭和43年）



波女とのホーム・ルーム交流を訴えるビラ（昭和43年）



高校総体入場式（昭和43年）



クラス写真（昭和43年）



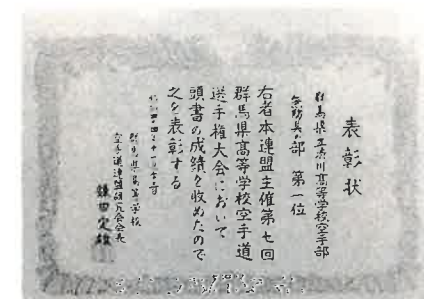
応援団（昭和43年）



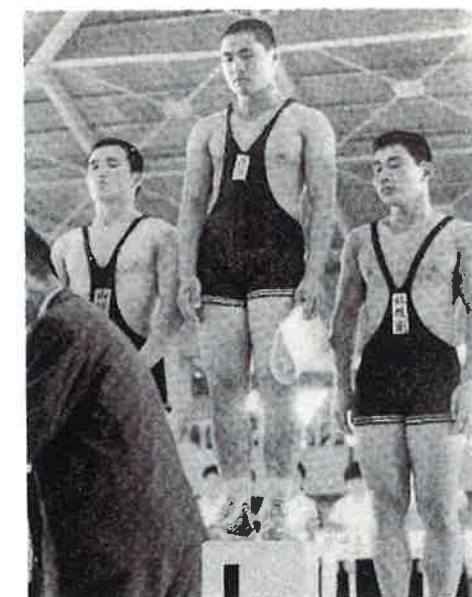
定時制第18回卒業生



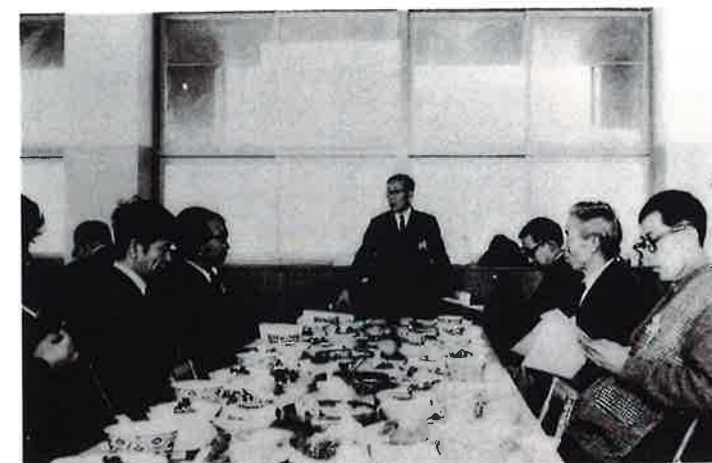
予餞会（昭和43年）



空手部県下高校空手道大会で優勝（昭和44年）



波高、飯野君レスリングで優勝（昭和44年）



波高OB会（昭和44年）

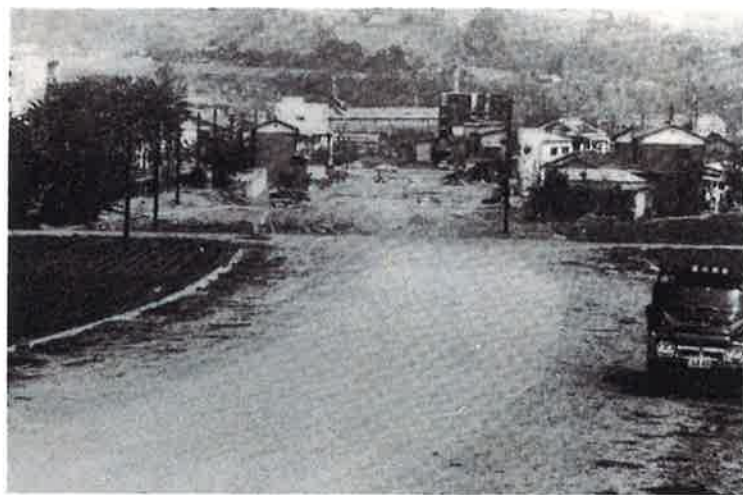




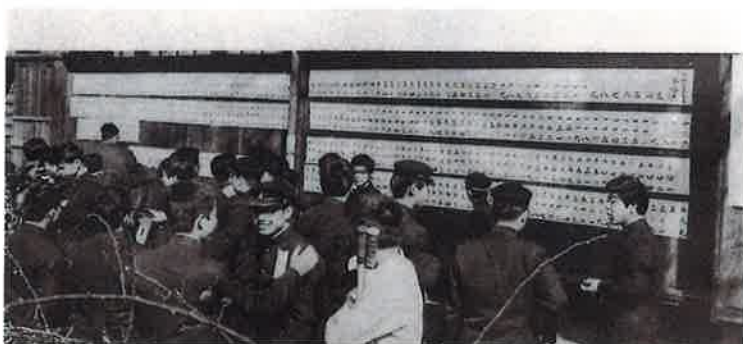
榛嶺 (昭和44年)



定時制生徒会機関誌民1号



渋川伊香保バイパス工事 (昭和44年)



合格発表



定時制第19回卒業生



美術部 (昭和44年)



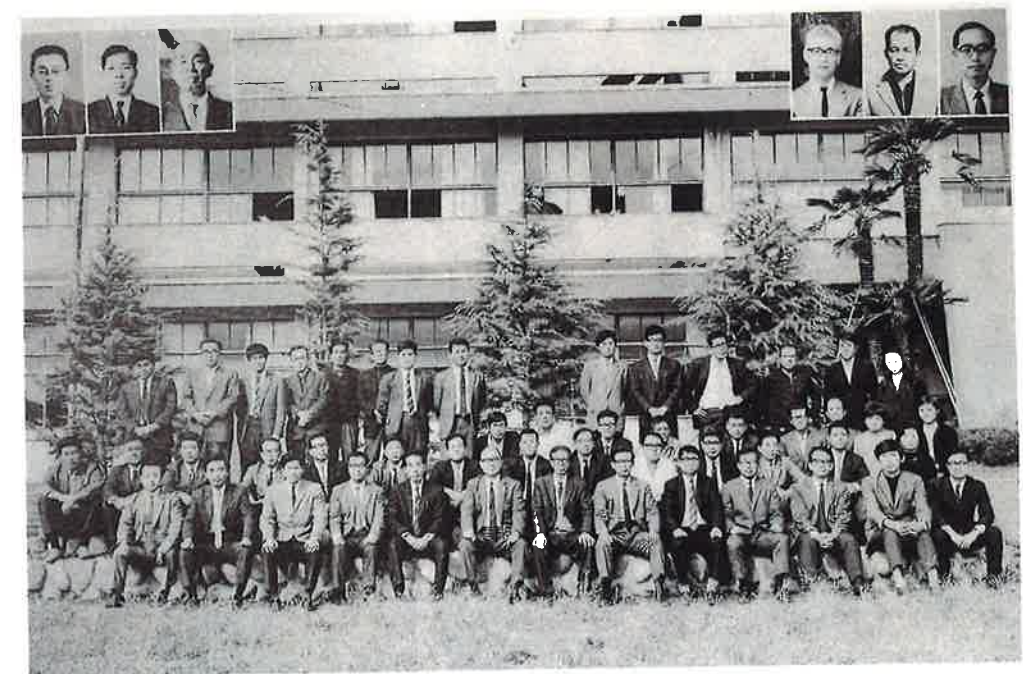
榛嶺祭



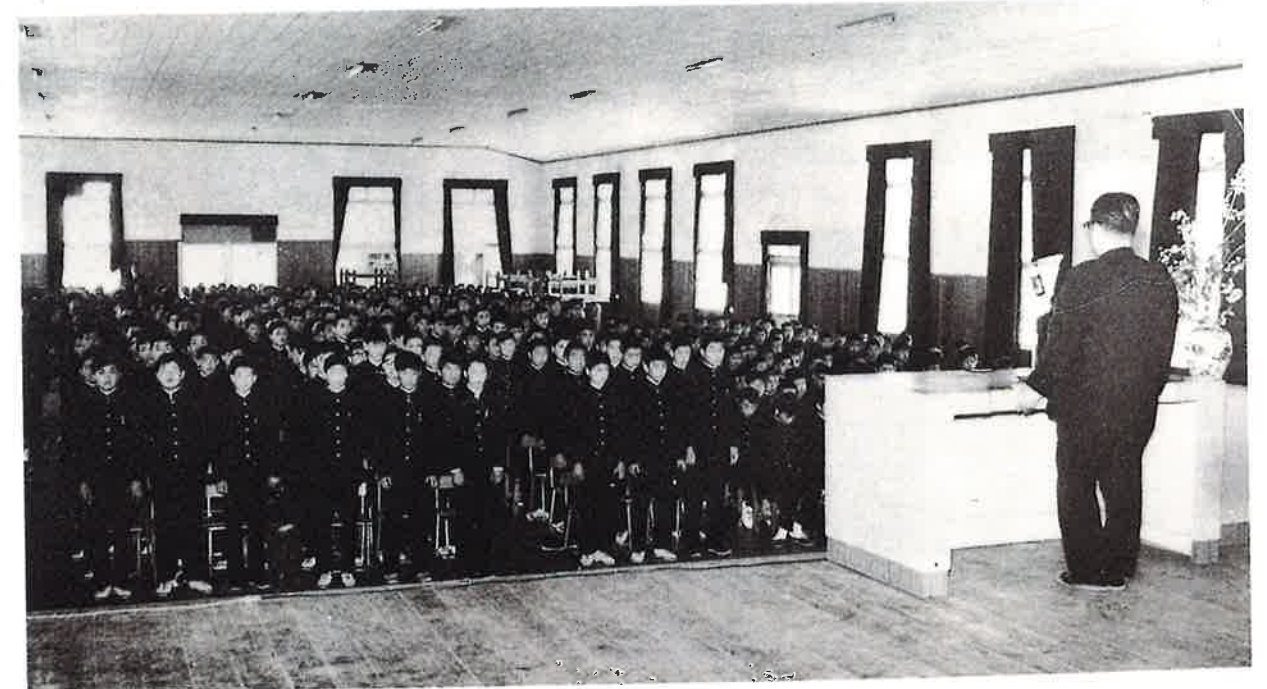
クラス写真 (昭和44年)



1年スキー教室 (大穴)



職員写真 (昭和45年)



入学式 (昭和45年)





演劇部（昭和45年）



山岳部（昭和45年）



50周年記念式典（昭和45年）



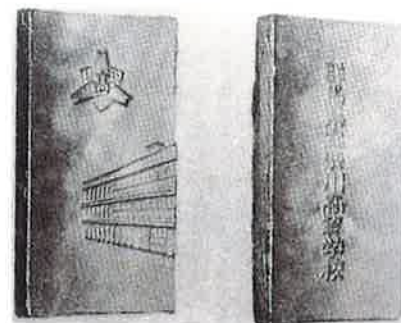
祝 賀 会



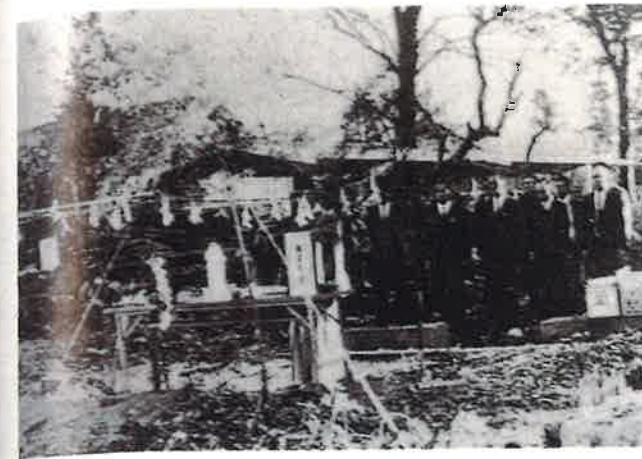
50周年記念会員名簿



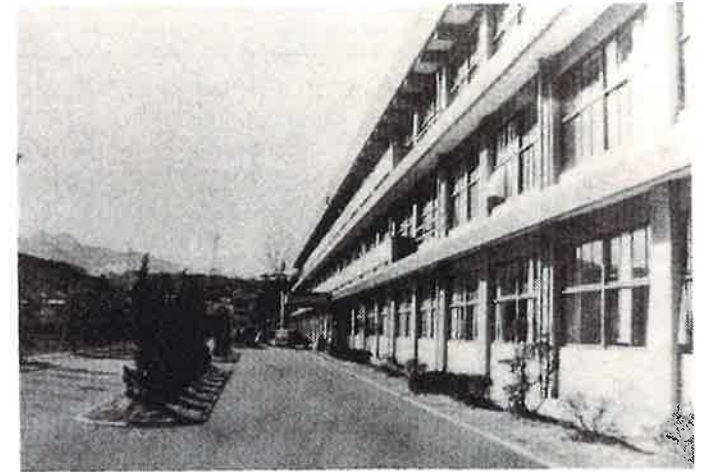
50周年記念渋高小史



50周年記念品ブックエンド



記念会館起工式（昭和45年）



前 庭（昭和45年）



第二グラウンド造成工事（昭和46年）



クラス写真（昭和46年）



定時制第21回卒業生







3 学年全員 (昭和47年)



クラス写真 (昭和47年)



3 年 3 組 総合 優勝 です



榛嶺祭スナッフ



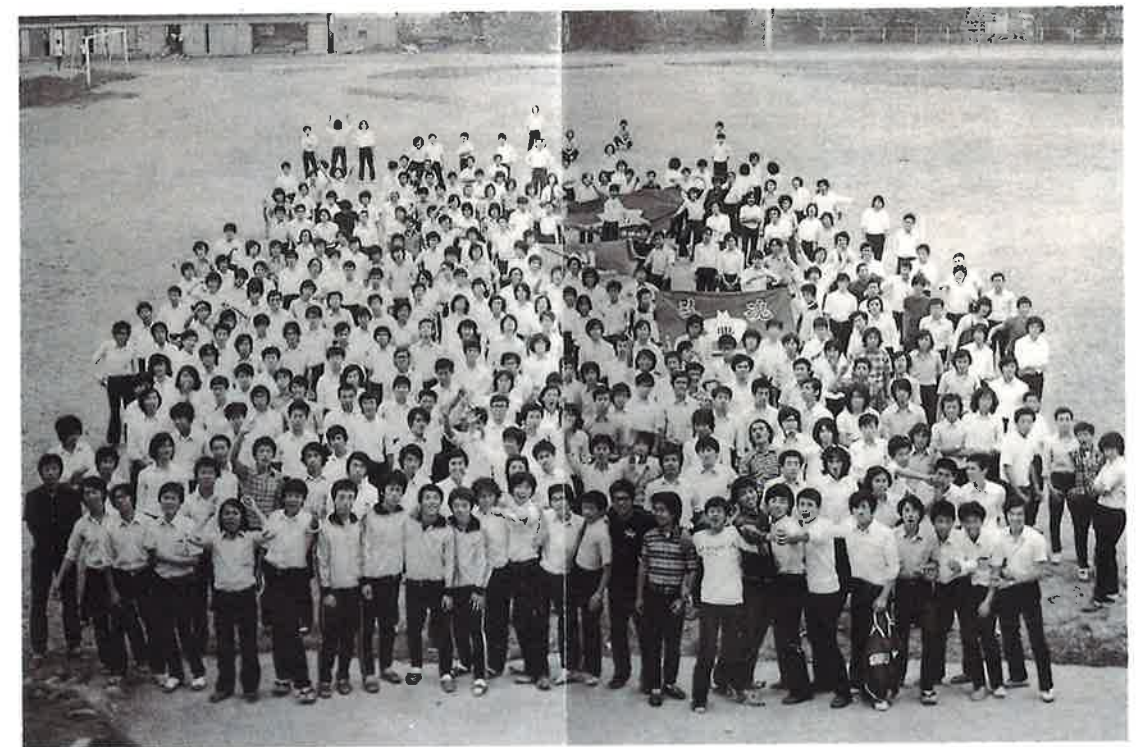
定時制修学旅行



定時制第22回卒業生



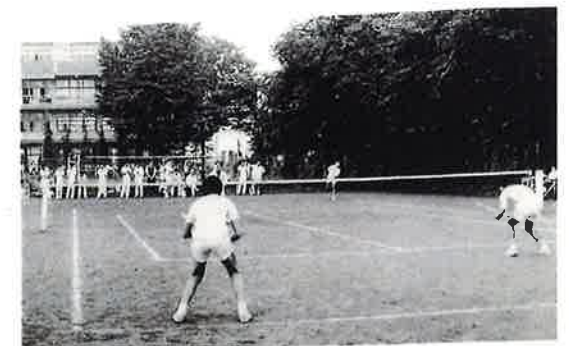
定時制第23回卒業生



3 学年全体 (昭和49年)



空手道部 (昭和49年)



対沼高定期戦 (昭和49年)





おもかげを伝える門柱



当時の第二グラウンド



合格発表（昭和52年）



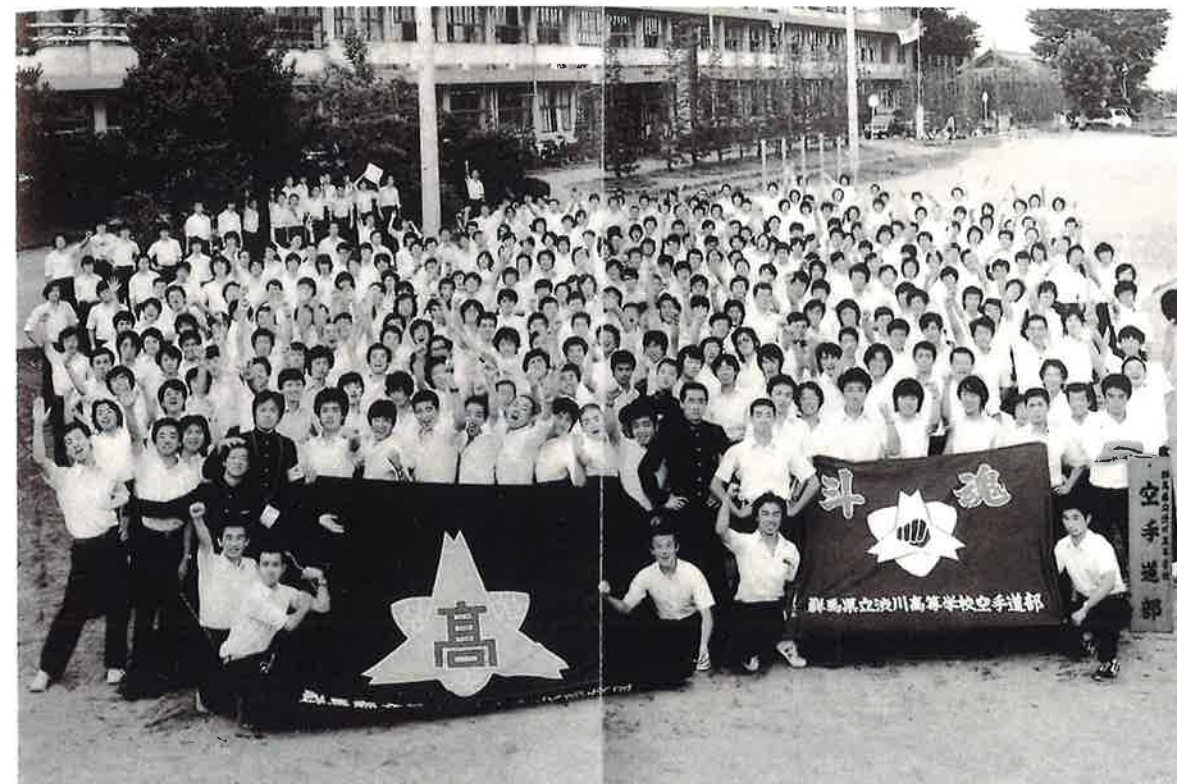
クラス写真（昭和52年）



修学旅行（昭和53年）



体育授業（昭和53年）



3 学年全体（昭和53年）



柔道部（昭和53年）



教室での1コマ（昭和53年）



クラス写真（昭和54年）





授業風景（昭和54年）



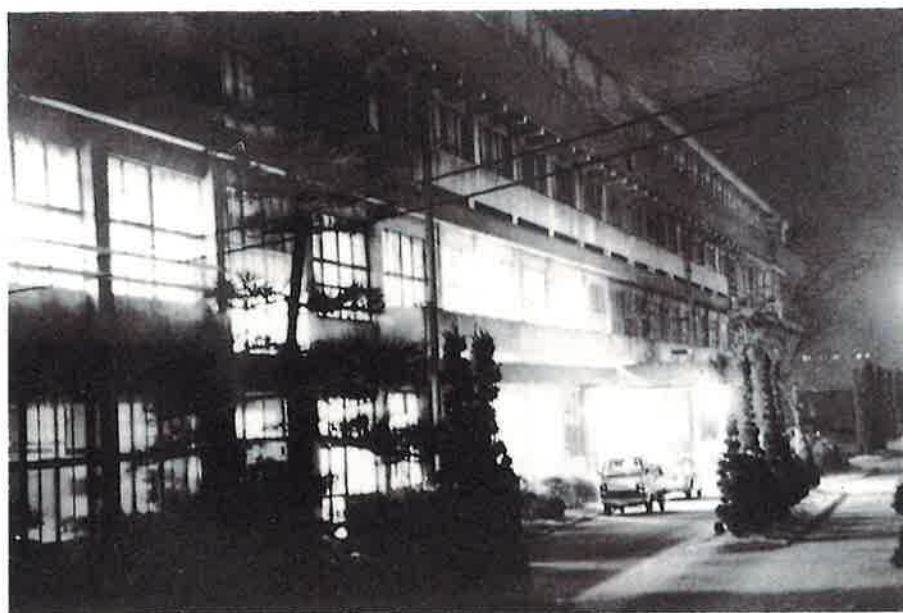
教室での1コマ



榛嶺祭



修学旅行



夜の校舎（昭和54年）



授業始まり（定時制）



修学旅行（定時制）



定時制第29回卒業生



定時制マラソン大会



授業風景（児島先生）



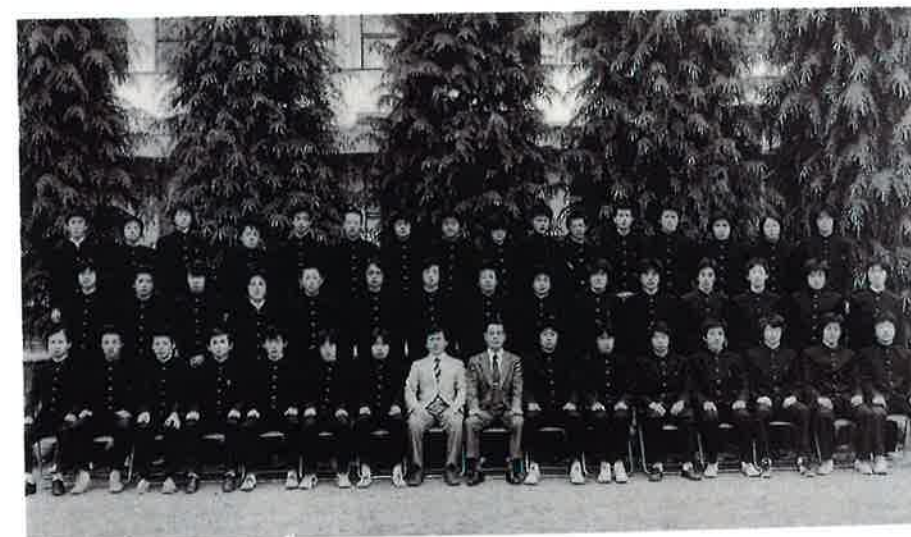
マラソン大会（昭和55年）



定時制合格発表（昭和54年）



定時制入学式（昭和54年）



クラス写真



夏の大会  
入場式

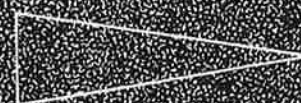


70年のあゆみ



7. 発展三期

昭和55年～昭和63年







3 学年職員 (昭和55年)



榛嶺祭



体 育 祭



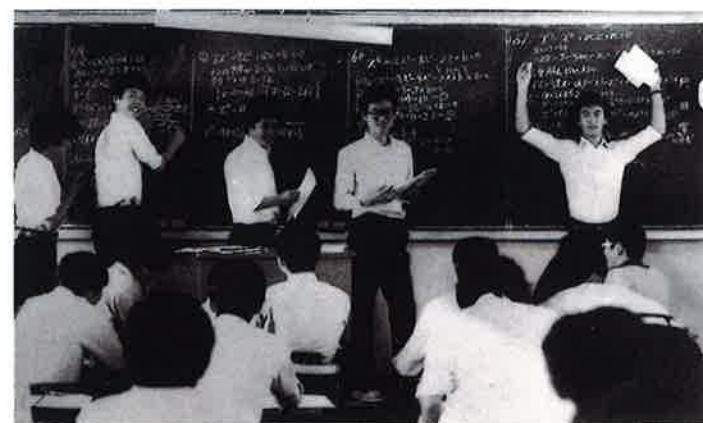
山岳部 (昭和55年)



J R C (昭和55年)



休み時間の思い出



授業風景 (昭和56年)



野球応援風景 (昭和56年)



体 育 祭 (サッカー)



入 学 式 (昭和57年)



仮装行列

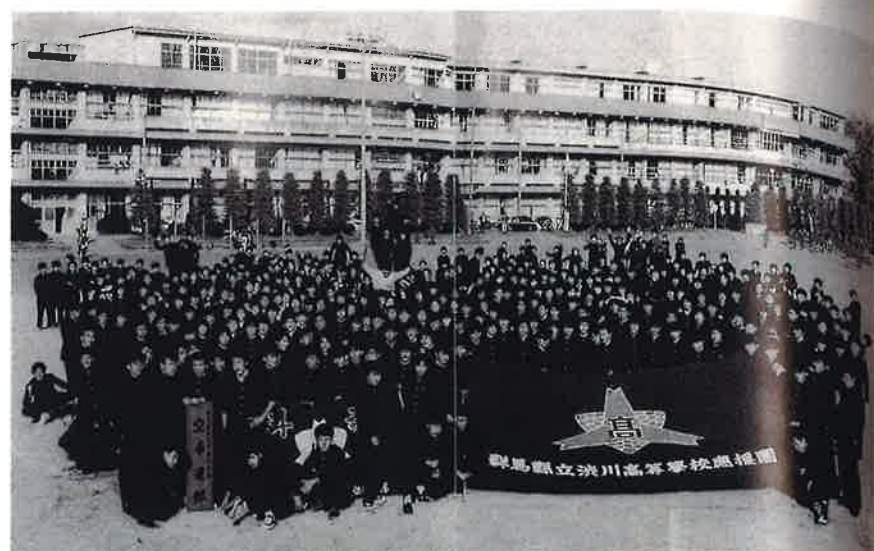


クラス写真 (昭和57年)

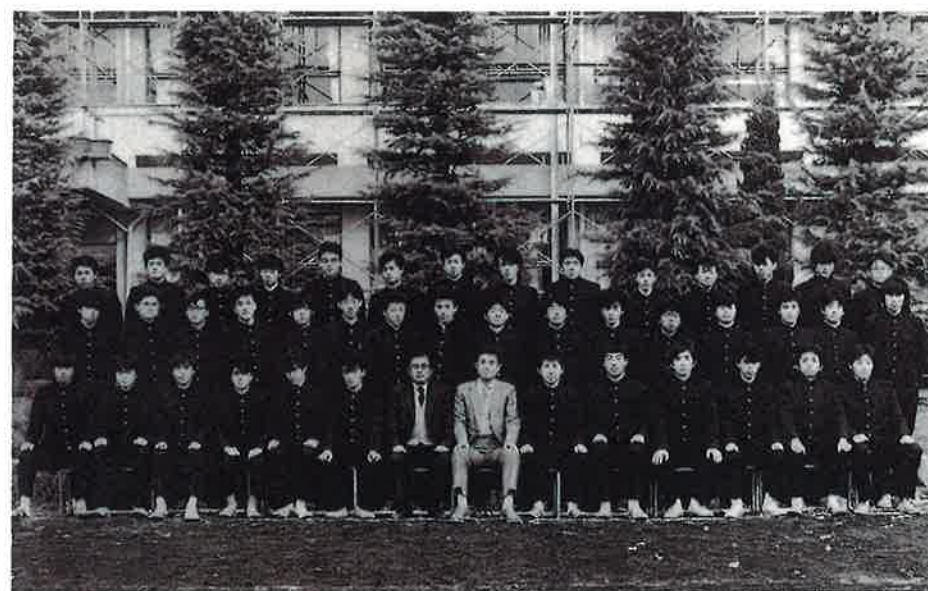




入学式（昭和58年）



3 学年全体（昭和58年）



クラス写真（昭和59年）



授業風景



体育授業



榛嶺祭



合格発表（昭和60年）



マラソン大会表彰式



入学式（昭和61年）



夏の野球大会勝ちゲーム



体育大会



授業風景



榛嶺祭（仮装行列）



修学旅行風景





3 学年職員（昭和60年）



事務職員（昭和60年）



定時制職員（昭和61年）



3 学年全体（昭和61年）



スキー教室（片品スキー場）

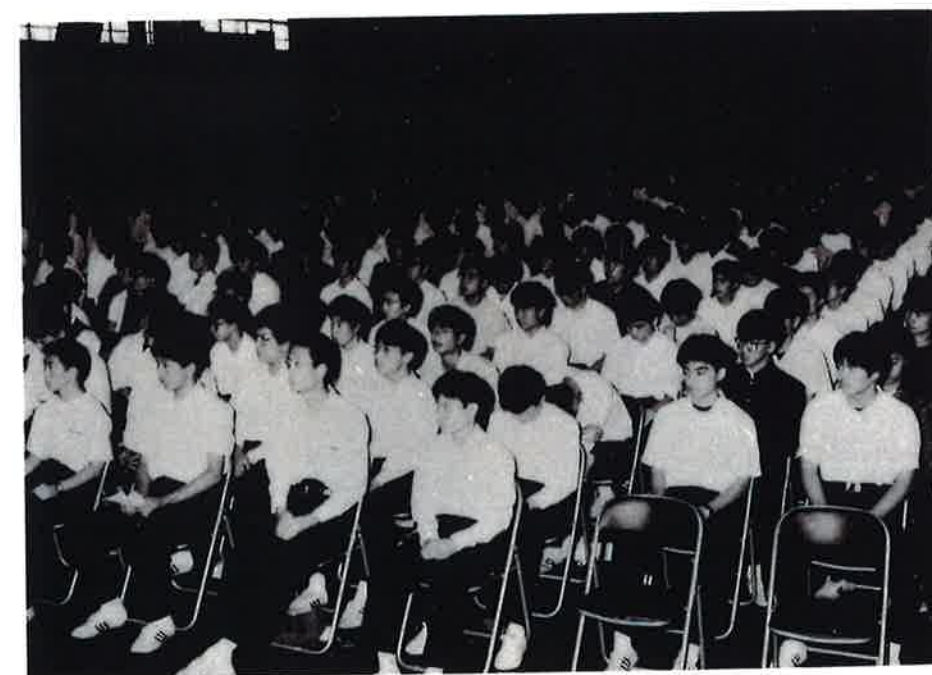


立会演説（昭和61年）



杉山 弘氏

杉 山 弘 通商産業事務次官講演（昭和62年）

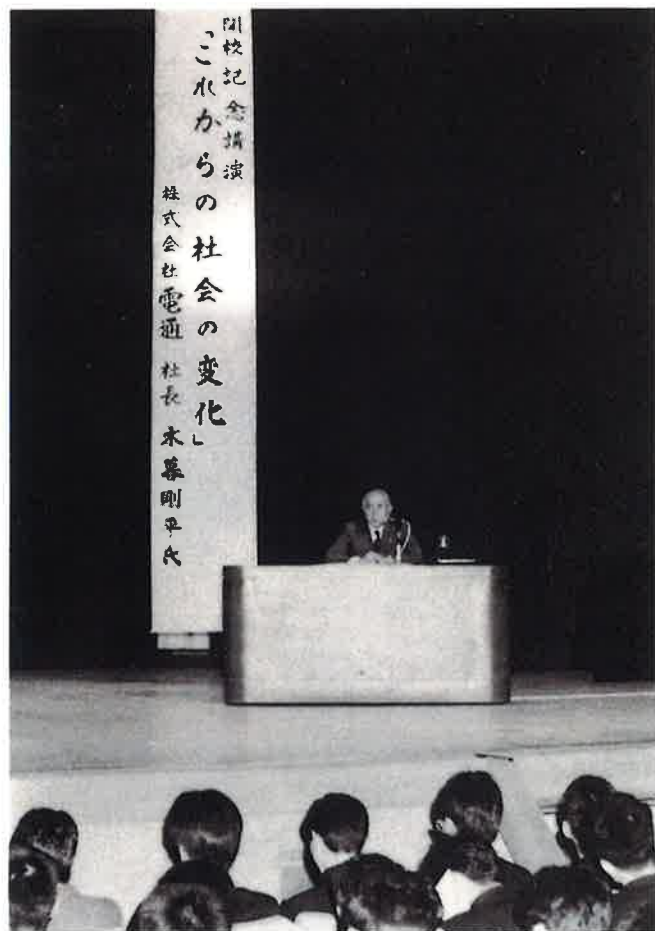


杉山氏を囲んで



祝 賀 会





昭和63年 開校記念講演 木暮剛平氏



授業風景



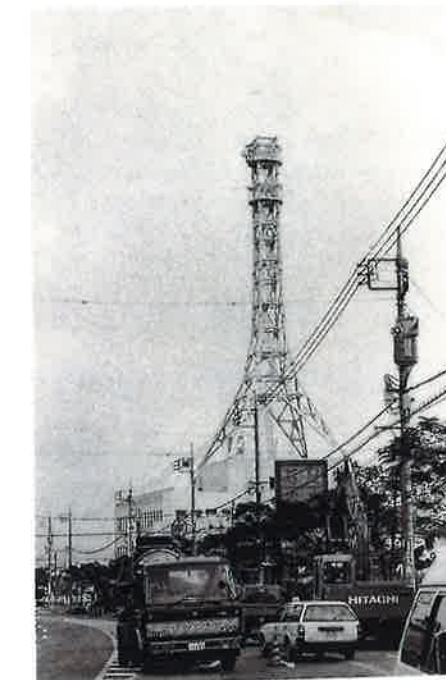
63年 3 年生



アルバム委員

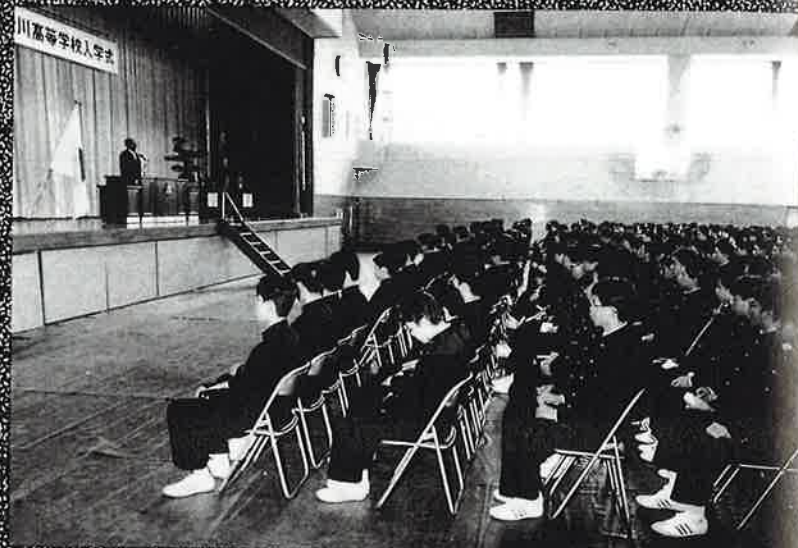


茨川市内





## 70年のあゆみ



## 8. 平成の表情 平成元年～平成2年





平成元年 開校記念講演 永井 恒司氏



恒司先生



合格発表 (平成2年)



体育祭



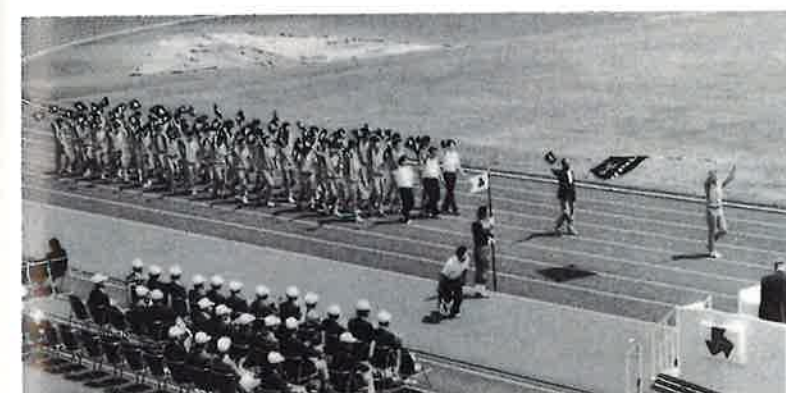
入学式 担任紹介



授業風景



3学年全員 (元年)



高校総体入場行進



授業風景



授業風景



平成2年 開校記念講演 馬場宏二氏







全日制全職員・生徒



定時制職員（平成二年）



全日制職員（平成二年）



## 70年のあゆみ



## 9. 年表・資料

年表	118
創立70周年記念事業実行委員会役員名簿	147
職員の経歴	148
歴代校長・歴代PTA会長・歴代同窓会長	150
卒業生数・指導方針	152
施設の状況	154
生徒の状況	156
行事予定（全日制・定時制）	157



# 群馬県立渋川高等学校略年表

1920年～1990年  
大正9年～平成2年

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
大正9年 (1920年)	3. 5	群馬県告示第54号をもって群馬県立渋川中学校設立を公布	4	前商、渋女、吾女開校
	3. 11	初代 杉原九郎校長赴任		
	4. 14	入学試験「国語、地理、理科」		
	4. 15	「算術、作文、歴史」		
	4. 16	午前体格検査、午後口頭試験、即日合格発表		
	4. 20	群馬県渋川町立渋川小学校仮校舎において入学式		
	4. 26	授業開始（合格者50名、聴講生2名計52名）		
	4. 27	本校舎生徒控室（雨天体操場）付属建物竣工移転		
	5. 6	テニスコートの設置行う		
	6. 1	本日より洋服着用の者あり		
	6. 3	帽子に白線をつけることを命ず		
	6. 4	帽子徽章到着、生徒の貸与に当たり学校長訓示		
	6. 8	榛名山遠足		
	9. 1	八幡宮参拝	5	上野公園で最初のメーデー 第14回衆議院選挙 最初の時の記念日
	10. 2	水沢山遠足		
	10. 29	妙義山修学旅行		
	10. 30	教育勅語発布記念式		
	10. 31	天長節拝賀式		
	11. 1	明治神宮遙拝式		
	11. 8	本校敷地で地鎮祭挙行		
	12. 1	渋川小学校運動会に参加		
大正10年 (1921年)	2. 4	午前中御蔭の松まで遠足	1	学則改正中学授業料2円80銭を3円に改定
	4. 2	始業式	4	官立大学・高等学校の入学期を9月から4月に改正
	4. 27	新校舎にて開校	7	中国共産党結成
	7. 28	修学旅行（2年生）浅間山登山	7	上越線開通式、渋川－高崎間片道36銭
	8. 28	修学旅行（1年生）赤城山登山	11	原敬首相暗殺される 高橋是清内閣成立、大渡橋開通式 ワシントン会議で日英米仏調印、日英同盟廃棄
	9. 11	電話入る 番号120番		
	10. 12	前橋へ修学旅行		
	12. 2	校長公舎落成（県下最初の校長公舎）	12	
大正11年 (1922年)	3. 4	父兄懇談会	3	全国水平社第1回大会（京都）
	3. 29	11年度から10学級定員500名となる	3	平和博覧会開催
	4. 2	始業式	4	治安警察法改正（婦人の政談集会を許可）
	5. 6	榛名湖修学旅行	6	加藤友三郎内閣成立
			6	対ロシア非干渉同盟成立
			6	政府10月までにシベリア撤兵を宣言
			7	帝国ホテル完成
			7	日本共産党非合法成立
	8. 1	富士登山（3年）、浅間登山（2年）、赤城登山（1年）	9	渋川実女、高等女学校に昇格
	8. 2	平和博覧会見学、明治神宮参拝、動物園見学	10	伊太利にムッソリーニ内閣成立
	10. 30	学制頒布50年式典挙行		

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	11. 15	寄宿舎落成 済美寮と命名	12	金井発電所完成
			12	ソヴィエト ソヴィエト社会主義連邦の樹立を宣言
大正12年 (1923年)	1. 25	校内武道大会 この年から開始	1	船頭小唄ヒットする
	2. 1	父兄会	4	渋川高女等6校県立移管
	3. 16	杉原校長退職		
	3. 19	入学試験 今年度から中学校は同一期日		
	4. 1	第2代 湯沢徳治校長赴任 寄宿舎開寮		
	4. 2	本校舎西側に平屋1教室増築並びに特別教室落成		
	4. 20	第3回創立記念式 マラソン競走（10キロ）		
	5. 12	全校榛名登山		
	5. 21	洋服を制服と定める		
	5. 30	奉安殿落成 全生徒八幡宮参拝		
	7. 17	教育勅語奉戴（校長県庁へ）		
	9. 3	震災につき校長訓話	6	中国各地の排日運動最高潮に達する 有島武郎情死 関東大震災 山本権兵衛内閣成立 戒厳令施行 朝鮮人問題起こる 甘粕大尉大杉栄らを殺害 内閣に普選準備調査委員会設置 戒厳令停止 山本内閣総辞職
	9. 4	震災被災者救援金1人最低15銭の伝達		
	10. 20	全生徒子持山登山		
	11. 12	午前6時20分集合 相馬ヶ原ヘカノン砲実弾射撃見学		
	12. 21	御真影奉戴式		
大正13年 (1924年)	1. 8	始業式 今日から鐘にて時刻合図	1	清浦内閣成立
	1. 10	県立中学校書道図画成績巡回展（体育館）		皇太子御成婚
	1. 26	皇太子御成婚祝賀式挙行	2	憲政擁護国民大会 イギリス、ソ連を承認
	4. 1	始業式 入学式	3	学則改正 授業料県内外同額へ
	4. 19	創立5周年記念式 生徒学芸発表会・運動会	4	県立榛名公園発足
	5. 4	5年生関西旅行 ～10日		沼田実女県立移管
	6. 30	4年生以下桐生へ遠足	5	高崎市立実践女学校開校
		庭球コート 野球場 粘土入れ工事終了		第15回衆議院選挙
	8. 21	第2回生徒召集日 校庭南側に芝張り	6	清浦内閣総辞職
	9. 20	全校子持山登山		加藤内閣成立
	10. 4	4・5年生相馬ヶ原の攻防演習を参観		築地小劇場開場
	10. 17	赤城登山 18日午後4時30分帰校	7	メートル法使用始まる 米国排日法実施
	11. 3	第1回体育デー（競技会）	10	上信電鉄開通
	12. 23	初雪30cm 雪中行軍並びに雪合戦実施		第1回明治神宮競技大会開催
大正14年 (1925年)	2. 21	4・5年生学年試験終了 予餞会	11	東京放送局設立
	3. 2	第1回卒業式 式後謝恩会	12	内務司法省 治安維持法案発表
	4. 1	始業式 入学式	1	ムッソリーニ、ファシスト党独裁宣言
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		群馬水平社創立
	4. 26	5年生関西旅行（～5. 2）	3	東京放送試験放送開始
	5. 5	配属将校就任		東京電力株式会社設立
			4	治安維持法衆議院通過
				東京－大阪 大阪－福岡間飛行郵便成功
			5	普選法公布







年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	10. 28	県下武道大会		(内申書、口頭試問、身体検査とする)
昭和15年 (1940年)	1. 28 3. 2 3. 23 3. 31 4. 5 4. 8 4. 20 5. 1  6. 1 6. 2 6. 8  9. 13  10. 21  11. 10 11. 18 12. 26	県下スケート競技大会継走第1位 卒業式 終業式 告示160号により15学級750人となる 始業式 入学式 自転車置場整理 開校記念日 午後慰霊祭 同窓会総会 鯉幟掲揚  5年生修学旅行(～8) 2600年奉祝武道大会において優勝(桐生) 4年生以下遠足  校舎増築地鎮祭  校舎増築上棟式  紀元2600年記念式 精神作興詔書記念日 県下中等学校鍛錬行軍 本館東側2階建4教室、西側1教室増築落成、祝賀会	11 11 12  3 3 4 4 5 5 6 6 7 9 9 10 10 11 11	徴兵合格に第3乙種設定 農林省、米の7分搗き以上禁止 石油、木炭配給制となる  初のアルミ質10銭鑄造決まる 義務教育費国庫負担法公布  2600年奉祝武道大会(県) 米・みそ・マッチなど切符制となる  東京市、外米6割混合米配給 前橋で米キップ制はじまる 大都市で砂糖・マッチ配給制となる 文部省ドレミ階名唱法をハニホヘトにかえる 第2次近衛内閣成立 日本軍北部仏印進駐 日独伊3国軍事同盟成立 県内新聞を上毛新聞に合併1県1紙となる 大政翼賛会発会 大日本帝国国民服令公布即日実施 紀元2600年式典皇居前で挙行
昭和16年 (1941年)	3. 3  4. 6 4. 10 4. 19  7. 15 7. 30  9. 1  11. 16  12. 22 12. 27	卒業式  入学式 第6代 長岡禎利校長着任 開校記念日、校内狭窄射撃会  学校報国農場鋤入式 繊維植物採集事業に協力  興亜記念日 校庭西南に炭焼きがまを作り製炭開始  連合演習(～17)  戦勝祈願をかね、護国神社往復 非常召集訓練	3 3 4 4 4 5 6 6 7 7 7 10 11 11 12 12	国民学校令公布(小学校を改組) 国家総動員法改正公布(政府権限の大幅拡張) 国民学校発足 第5期国定教科書使用開始 日ソ中立条約成立 東京で煙草1人1箱売り厳守 米の配給2合1勺となる(県) 独ソ戦争起こる 中学校の制服を国防色に統一(県) 県外の遠征試合禁止(県) 米英、日本在外資産の凍結令布告  東条内閣成立 大学・専門学校修業年限6か月短縮 学生の勤労働員始まる 太平洋戦争勃発 決戦下除夜の鐘廃止(県)
昭和17年 (1942年)	3. 12 4. 18 4. 24 5. 18 5. 22  7. 1 8. 21  9. 18	卒業式(卒業記念品は今回より中止) 昼夜とも空襲警報発令 夜は舎生交替で警備に当たる 開校記念日 マラソン大会 増産のため、校庭斜面に大豆等をまく 学徒記念日行軍  靴の配給 炭焼ガマ小屋の構築作業開始  グライダー浜中1号を購入	2 3 4 4 5 6  8 8 9	衣料に点数切符制実施 東京に初の空襲警報発令 米空軍本土初空襲 第21回総選挙(翼賛選挙) 金属回収令により、寺院の仏具梵鐘等強制供出を命ぜられる ミッドウェー海戦  内務省、1戸1か所の簡易避難所を作るよう奨励 閣議で中学の学年は4年に短縮を決定 大学・高専の卒業期を9月に繰上げ

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	10. 14	冬服特別配給、靴の配給20足ある予定	10	朝鮮総督府、朝鮮青年特別錬成令制定
	12. 8	大東亜戦第1周年記念式 加重20軒行軍	12	関門トンネル開通 日本文学報国会「愛国百人一首」の選定発表 ニューギニアのバザブアの日本軍玉砕 この年「欲しがりません勝つまでは」の標語流行
昭和18年 (1943年)	3. 1  4. 1 4. 7 5. 8 6. 23  7. 29 9. 13 10. 7  12. 8	卒業式  渋川中学校後援会会則なる 第7代 小林熊光校長赴任 大詔奉戴日 全校行軍 全校勤労奉仕作業(～29)  3年生・5年生防空壕掘り 佐藤次郎胸像戦時物資として供出 干草を供出  全校重荷行軍	3 4 5 6  7 9 10  12	師範学校を官立とし、専門学校と同程度に昇格、教科書を国定化 山本五十六戦死  アッツ島日本軍守備隊玉砕 閣議、学徒戦時動員体制確立要綱を決定 朝永振一郎、超多時間理論を発表 女子学徒動員決定(14歳～25歳) イタリア無条件降伏 東条内閣改造 国民兵役45歳まで延長 マキンタワラ両島の日本軍守備隊玉砕 文部省、学童の縁故疎開促進を発表 ○この年野球用語、バス用語は日本語に。「ストライク」は「よし一本」「アウト」は「ひけ」、「バック」は「背背」となる
昭和19年 (1944年)	3. 20 3. 24 3. 28 4. 5 4. 18 4. 20  7. 16  8. 11  9. 1 9. 22  10. 20  11. 1 12. 25 12. 26	入学考査～23日 第1日(運動機能、体格体質検査) 第2日～4日(口頭試問) 同上合格者発表 卒業式 5年96名 4年134名 入学式(168名) 戦時非常措置、教科書配給不足につき校長注意 開校記念日 マラソン大会 勤労奉仕出勤のため中止  ノート配給  家庭勤労期間(～18)  草刈作業並びに堆肥作成作業(全校) 荷重行軍検定実施(学校一平田一野良犬一陣場一有馬一学校) 農繁期勤労奉仕作業開始(25日間)  黄銅製品等不急品供出 生徒に防空頭巾を携帯するよう伝達 行軍(1・2年生子持村)	1  6 7 7 7 8 9	学徒勤労働員は年間4か月継続して行うことに決定 東京・名古屋、強制疎開実施 ○軍事費国家財政の85%に達する  中国基地の米軍B29爆撃機初めて北九州を空襲 サイパン島守備隊玉砕 大都市からの学童集団疎開開始まる 東条内閣総辞職・小磯内閣成立 閣議1億総武装決定(竹槍訓練など始まる) 大日本戦時宗教報国会結成  米機動部隊沖縄総攻撃 満17歳以上を兵役に編入 神風特別攻撃隊編成 B29東京初空襲 ○この年「硫黄マッチ」出現、「予科練」「同期の桜」「ラバウル小唄」など流行
昭和20年 (1945年)	1. 31 2. 10	電休につき全校休業 アルミ製品など緊急供出	1 2 2	東海地方に大地震、1961名死亡 米艦載機1200機、関東各地を空襲 米軍機太田空襲



年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	3. 10	本校14教室を中島飛行機学校工場として使用することに決定 (2712工場)	3	B29東京大空襲 (9日)
	4. 1	本校第8代 平野武夫校長赴任	3	観音塚古墳発掘 (避難壕構築中発見)
	4. 5	始業式	3	国民学校初等科以下の授業を4月から1年間停止
	4. 29	天長節挙式	4	鈴木貫太郎内閣成立
	6. 18	通年動員学徒学校工場受入式	4	ヒットラーベルリンで自殺
	6. 20	農繁期勤労働員第一日	5	ドイツ軍連合軍へ無条件降伏
	8. 15	正午天皇陛下の放送を一同拝聴	6	沖縄守備軍全滅
	8. 21	学校工場閉鎖の指示	8	広島に原子爆弾投下
	8. 23	詔書奉読式	8	長崎に原子爆弾投下
	9. 23	秋季皇霊祭	8	終戦の詔勅
	10. 6	遠足 (1・2年水沢方面、3・4年子持方面)	9	降伏文書調印
	10. 10	実務科修了証書授与式		
	10. 19	全生徒に甘藷の配給		
	10. 28	大運動会		
	11. 11	県下体育大会にて優勝		
	11. 24	ドングリ採集各自家庭において実施		
	12. 25	本日より臨時休校 (食糧難と交通事情による)		
	12. 17	修身日本史の授業廃止		
昭和21年 (1946年)	1. 15	農場麦踏み	1	天皇人間宣言
	2. 19	御真影奉還		
	3. 20	卒業式	4	プロ野球復活
	4. 15	始業式、新5年生は4月中家庭学習		
	4. 20	開校記念日 (全校遠足)	5	吉田内閣成立
	4. 28	第18回同窓会		
	6. 9～11	農繁休暇		
	6. 20～22	農繁休暇		
	7. 28	北毛地区中等学校体育大会		
	9. 28	県下陸上競技大会		
	9. 29	県下排球大会		
	10. 12	近県中等学校競技大会	10	文部省男女共学を指示
	10. 26	運動会		
	10. 26～30	農繁休暇		
	11. 2	新憲法公布を迎えて校長訓話	11	第1回国民体育大会
	11. 22	秋季校内球技大会	11	日本国憲法公布
	12. 8	同窓会	12	学校給食開始
			12	文部省6・3・3教育体制決定を発表
昭和22年 (1947年)	1. 31	ゼネストにつき全校生徒に説明・質疑応答	1	マッカーサー 2. 1ゼネスト中止命令 声明発表
	2. 1	ゼネスト中止についての説明		
	3. 1	卒業式	3	教育基本法、学校教育法公布
	3. 22	終業式		
	3. 23	新学制について父兄会		
	4. 7	始業式 (本年度入学者なし)	4	6・3・3・4制教育の実施
	4. 19	開校記念日 マラソン大会		
	5. 3	憲法施行記念日	5	新憲法施行
	5. 4	記念庭球大会、県下体育大会	5	片山内閣成立
	5. 11	記念排球大会		
	5. 26	賀川豊彦氏講演		
	6. 13	子持山遠足		
	6. 23～30	農繁休暇		
	7. 26～30	高原体育学校	8	古橋水泳400m自由型に世界新

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	9. 15	大水害翌日授業中止		
	9. 24～27	勤労奉仕 (水害復旧)		
	10. 26	運動会		
	12. 8	学生大会 (頭髮の自由、級会民主化)		
昭和23年 (1948年)	1. 24	新制高校についての説明指導	1	帝銀事件
	1. 30	P T A発足		
	3. 24	終業式	3	芦田内閣成立
	4. 10	学制改革により群馬県立渋川高等学校となる		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		
	4. 25	ステージ祝賀会 徽章バッジ、ボタンの制定		
	5. 24	5日制実施	5	サマータイム実施
	5. 29	北毛地区大会 (沼高)		
	8. 4～5	県体育大会 (卓球、庭球、排球)		
	8. 11	県下陸上競技大会		
	9. 3	定時制2学級 (定員400名) として認可		
	9. 17	定時制願書受付		
	9. 23	佐藤次郎杯大会		
	9. 29	定時制入試		
	9. 30	定時制合格者発表		
	10. 1	定時制大会入学式 (58名)	10	第2次吉田内閣成立
	10. 18	定時制授業開始		
	10. 31	運動会		
	11. 21	同窓会総会		
昭和24年 (1949年)	1. 15～16	スケート大会	1	法隆寺金堂火災
			2	第3次吉田内閣成立
	3. 14	新制高校第1回卒業式		
	3. 24	終業式		
	4. 5	始業式 (全定)	4	1ドル360円の単一為替レート設定
	4. 11	入学式 (定新入生108名)		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		
	4. 25～28	第12学年修学旅行実施 大島・伊豆方面		
	4. 28	第10学年、第11学年遠足		
	5. 28	北部地区体育大会 (於：本校)		
	7. 16	全学年高原体育学校		
	10. 16	全定共催運動会 佐藤次郎杯庭球大会		
	10. 26	日本美術文化史展見学	11	湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞
	11. 6	定時制遠足 (1年生榛名、2年生妙義)	12	お年玉つき年賀はがき新発売
昭和25年 (1950年)	2. 28	映画「忘れられた子等」見学	1	年齢を満で数えることとなる
	3. 16	卒業式	1	1,000円紙幣発行
	3. 20	終業式		
	4. 1	第9代 狩野道美校長赴任		
	4. 6	始業式		
	4. 10	入学式 (新入生209名)		
	4. 19	定時制入学式 (112名)		
	4. 20	開校記念日		
	4. 21	マラソン大会		
	4. 28	同窓会総会		
	5. 19	1・2年生遠足実施 (神津牧場)		
	6. 5	北部地区体育大会	6	朝鮮動乱おこる
	6. 16～18	農繁休暇		
	7. 11	P T A・同窓会・校友会合同会議 (30周年記念行事の件)	7	金閣寺放火で全焼
	9. 6	映画「きけわだつみの声」見学		
	9. 14	映画「宗方姉妹」見学		







年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	5. 13	自転車旅行	5	第1回柔道世界選手権大会 夏井優勝
	5. 19	北部地区大会（於中之条高校）	5	日本登山隊 マナスル初登頂
	5. 26	県下高校体育大会		
	6. 16	映画鑑賞（南極の秘境）		
	7. 8	県高校柔道大会で優勝		
	7. 14～16	2年海水浴		
	9. 1	定時制弁論大会		
	9. 5	P T A臨時総会（体育館建設資金について）		
	9. 30	北毛地区大会		
	10. 14	定時制北毛地区大会		
	10. 20～21	文化祭		
	10. 26	遠足（3年吾妻耶山 2年赤城山 1年榛名山）	11	アイゼンハワー米大統領に再選
	11. 21	同窓会 東京支部総会		
	11. 23	第1回渋川地区高校演劇連盟発表会		
	11. 25	県下高校駅伝		
昭和32年 (1957年)	12. 3	体育館解体工事開始	12	国連総会 日本の加盟を可決
	12. 23	定時制北毛地区学芸大会・生活体験発表会		
	3. 13	卒業式	1	相馬ヶ原でジラード事件
	3. 19～20	入学試験	2	岸信介内閣成立
	4. 6	始業式		第16回オリンピックメルボルン大会
	4. 8	入学式		
	4. 9	新校旗制定樹立式		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		
	5. 17	北毛地区大会		
	6. 14	バレー部関東大会に出場		
	7. 2	小原国芳氏講演		
	7. 16	体育館落成式		
	10. 5	中曽根康弘氏講演	8	東海村で原子炉に原子の火ともる
	10. 23	体育祭	10	5千円札発行
	10. 26	遠足（3年妙義 2年赤城山 1年大峰山）	10	ソ連人工衛星スプートニク1号打上げに成功
昭和33年 (1958年)	11. 6	渋高赤十字結成式		
	11. 10	柔道県下大会（於講堂）	12	百円硬貨発行
	1. 1	生徒会主催水沢初登山	1	米国人工衛星打上げに成功
	2. 19	2年スキー教室 この年から年中行事化		
	2. 28	学校安全会に加盟		
	3. 11	卒業式	3	関門国道トンネル開通
	3. 18～19	入学試験		
	4. 1	第10代 井関保校長赴任		
	4. 7	始業式 入学式		
	4. 19	開校記念日 マラソン大会		
	5. 18	生徒会自転車遠足		
	5. 20	北毛地区大会	6	第2次岸内閣成立
	6. 8	北毛地区定時制体育大会		
	6. 21	同窓会総会（伊香保紅葉館）		
	9. 27	台風のため休業		
	10. 11	体育祭		
	10. 15	定時制生活体験発表会		
	10. 19	定時制第1回運動会		
	10. 22	遠足（3年妙義 1年大峰山）	11	皇太子・正田美智子さんの婚約発表
			12	1万円札発行
			12	ドゴール仏大統領に当選

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
昭和34年 (1959年)	1. 1	水沢登山	1	カストロのキューバ革命
			1	メートル法実施
				第3次南極観測隊 放置されたカラフト犬の生存確認
	2. 15	北毛地区高校親善柔道大会		
	2. 19	2年スキー教室（於大穴）		
	2. 20	1年スキー教室（於大穴）	4	皇太子御成婚
	3. 12	卒業式		
	3. 13	映画鑑賞（いたずら 鉄道員）		
	4. 6	始業式 入学式		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		
	5. 11	映画教室（私は貝になりたい コタンの口笛）		
	5. 17	生徒会自転車旅行		
	5. 20	北毛地区大会	9	台風15号中部地方を襲う 死者5041人
	5. 24	映画教室（野バラ）定時制長瀬サイクリング		
	6. 14	定時制大峰山ハイキング		
昭和35年 (1960年)	9. 6	定時制北毛地区大会（全種目優勝）		
	9. 20	佐藤次郎杯庭球大会		
	10. 10	体育祭		
	10. 18	定時制運動会		
	10. 31～1	11月祭		
	11. 15	定時制柔道部県大会で優勝		
	12. 9	演劇教室（ヴェニスの人）		
	12. 20	定時制県学芸大会に福田武君優勝		
	1. 1	水沢山登山	1	新安保条約ワシントンで調印
	2. 14	全国生活体験発表会 福田武君5位	2	皇太子妃 男子（浩宮徳仁）を出産
	3. 12	卒業式		
	3. 18～19	入学試験		
	4. 6	始業式 入学式		
	4. 12	映画教室（レ・ミゼラブル 続菩提樹）		
	4. 20	開校記念日 マラソン雨のため21日に延期		
昭和36年 (1961年)	5. 7	谷川徹三氏講演		
	5. 14	日本体操祭（於体育館）		
	5. 24	北毛地区大会	6	全学連国会突入をはかり警官隊と衝突
				東大生樺美智子死亡
			6	安保阻止統一行動 32万人が国会デモ
			6	新安保条約自然承認
			7	第1次池田内閣成立
			9	カラーテレビ本放送開始
			10	浅沼社会党委員長刺殺される
	7. 16	宇宙大博覧会見学		
	9. 14	職業講話（渋川職業安定所長）		
	10. 6	能楽教室		
	10. 15	体育祭		
	10. 22	定時制第1回文化祭		
	10. 25～29	修学旅行		
	10. 28	遠足（1年大峰山 3年妙義山）	11	ケネディ 米大統領に当選
	11. 6	国宝展・日展見学		
	11. 8	第11代 小池惣校長赴任		
	11. 22	井関保校長退任式	12	第2次池田内閣成立
	1. 1	水沢登山		
	1. 24～25	1年生スキー教室		
	2. 13～15	2年生スケート教室		
	3. 9	卒業式		
	3. 23	終業式		
	4. 6	始業式 入学式		
	4. 14	応援部新設決定		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会（終了後寄宿舎階上で祝賀会）		











年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	6. 20 7. 14~15 9. 12 9. 13 9. 25 10. 13 10. 31 11. 9 11. 15~16	長尾輝景先生叙勲祝賀会 体育祭 生徒会主催講演会 空手関東大会個人戦に飯島選手優勝 定時制北毛地区生活体験発表会 飯野選手レスリング高校の部優勝 創立50周年式典ならびに祝賀式 記念会館起工式 定時制文化祭	9 10 11	アラブゲリラ旅客機乗っ取る 日本最長の山陽新幹線六甲トンネル開通 三島由紀夫自殺
昭和46年 (1971年)	1. 1 2. 15 2. 25 3. 5 4. 1	水沢登山 降雪のため中止 同窓会役員会 草野心平氏講演(夢の実現) 卒業式 第14代 梶原堅二校長赴任	1 2 4 9	ソ連 初の金星軟着陸に成功 米アポロ14号月に着陸 NHK総合テレビ全カラー化 天皇・皇后 初の訪欧旅行 アラブ共和国連邦成立
昭和47年 (1972年)	4. 6 4. 20 5. 19~21 6. 2 6. 10 6. 28 6. 29 7. 14、17 7. 20 10. 23 10. 28~29 11. 18~22	始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 209名参加 関東大会出場壮行会(空手道・陸上・レスリング・テニス) PTA総会および講演会「人間と環境」高木健太郎博士 1年PTA学年部会 2年PTA学年部会 体育祭 インターハイ出場壮行会(レスリング) 演劇教室(わらび座) 榛嶺祭 修学旅行(2年)	1 2 3 5 8 9	横井庄一氏グアムで発見 浅間山荘事件 高松塚古墳壁画発見 沖縄県復活 イタイタイ病 日中共同声明
昭和48年 (1973年)	2. 10 2. 13~14 2. 19~20 3. 1 3. 24 3. 31 4. 6 4. 20 5. 17 5. 18~20 5. 26 6. 10 6. 20 6. 24 7. 12~14 9. 26 10. 6~7 11. 2 11. 7~11	予餞会 1年生スキー教室 2年生スキー教室 卒業式 終業式 中庭部室竣工 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 PTA総会 学研山内氏進路講演会 県高校総体(空手道優勝) 関東大会出場壮行会 (空手道・レスリング・サッカー・陸上) 空手道部関東大会優勝 1年PTA学年部会 同窓会総会 体育祭 音楽教室(東京佼成吹奏楽団) 榛嶺祭 4階増改築工事本日から開始 修学旅行	2 4 5 5 8 11	円急騰 祝日法改正(振替休日) 東独と国交樹立 イスラエル共和国成立 金大中事件 石油危機

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
昭和49年 (1974年)	1. 16 2. 9 2. 14~15 3. 1 3. 23 4. 6 4. 7 4. 20 5. 17~19 5. 18 5. 20 5. 24 5. 30 6. 2 6. 7 6. 28~29 7. 10~13 7. 17 9. 15 10. 3 10. 26~27 11. 9~13	国体出場壮行会(スキー・スケート) 予餞会 1年生スキー教室 卒業式 終業式 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 講演会 エベレスト登はん体験談(群大 田中氏) PTA総会 4階増築校舎完成 関東大会出場壮行会(レスリング、バレー、空手道、陸上) 同窓会総会 演劇教室(わらび座) 米レスリング高校生2名合宿参加 体育祭 対沼高定期戦 ブラスバンド 関東吹奏楽コンクール銀賞 落語教室 三遊亭桂写氏 柳亭小痴楽氏出演 10月祭(文化祭) 修学旅行(2年)	3 9 12	小野田少尉 ルバング島で発見 人口1億1000万人突破 インドネシア共和国成立
昭和50年 (1975年)	1. 25 2. 10 2. 24~25 3. 1 3. 24 4. 7 4. 21 4. 22 5. 16~18 5. 17 5. 20 6. 4 7. 8~9 7. 17 10. 3~7 11. 1~2	スキー部 関東大会2名出場 予餞会 1年生スキー教室 卒業式 終業式 始業式・入学式 開校記念式典 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 講演会 駒沢大学 村山輝吉氏 PTA総会及び交通講話 関東大会出場壮行会(陸上、空手道、レスリング) 体育祭 対沼高定期戦 修学旅行(2年) 榛嶺祭	1 5 7 7 9	インド共和国成立 ロッキード事件 沖縄海洋博開催 米・ソ宇宙船ドッキング 天皇・皇后御訪米
昭和51年 (1976年)	1. 14 1. 27 1. 30 2. 5 2. 17~18 2. 27 3. 1 3. 24 4. 1 4. 6 4. 19 4. 28 5. 14~16 5. 20 5. 30 6. 3 7. 7~8	関東大会出場壮行会(スキー・スケート) 風邪大流行 生徒欠席多数 東京同窓会 予餞会 1年生スキー教室(武尊オリンピック) 1年生小山君作曲コンクール1位入賞 卒業式 終業式 第15代 水穴再喜校長赴任 始業式・入学式 開校記念式典 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 PTA総会 同窓会総会 関東大会出場壮行会(レスリング、空手道、山岳、陸上) 体育祭	1 7	郵便料金値上げ モントリオール・オリンピック開催







年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	4. 6 4. 13 4. 20 5. 14 5. 15~17 5. 23 5. 30 6. 17 7. 10 7. 20 9. 6 9. 19~20 10. 8 11. 14 11. 28	始業式 入学式 講堂等建設特別委員会 初会合 開校記念日 マラソン大会 講堂等建設対県陳情 県高校総体 PTA総会 進路講演会 関東大会壮行会（レスリング、テニス、バレーボール、弓道、空手道、陸上競技） 英国人英語教師 M・ウィリアムズ氏公開授業  対沼高定期戦（一般戦）浜高惜敗 全国大会壮行会（陸上、空手、レスリング） 佐藤次郎杯テニス大会 榛嶺祭 高教研理化学部会授業研究会会場  奉仕活動の日（榛名クリーンハイク）実施 北校舎落成記念式典	5 6 6 7 10	フランス、ミッテラン大統領に就任  イスラエル、イラク原子炉爆撃 中国、胡耀邦共産党主席に就任 オタワ先進国首脳会議  イラン、ハメネイ師大統領に。反体制派を大量処刑
昭和57年 (1982年)	1. 18~23 1. 25~29 2. 6~13 3. 1 3. 3 3. 24 4. 6 4. 20 5. 14~16 5. 22 5. 28 6. 12 6. 18 6. 19~20 7. 10 9. 12 10. 8 10. 29 11. 17 11. 27	インターハイ、スケート競技大会（八戸）参加 国体スケート冬季大会（日光）参加 インターハイ、スキー競技大会（草津）参加 卒業式、同窓会入会式 文部省、県教育委員会訪問 終業式 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 山岳部優勝 PTA総会 進路講演会 関東大会壮行会（空手道、テニス、レスリング） 県民文化大学、高校開放講座開講 音楽教室（市民会館） 榛嶺祭 対沼高定期戦（部戦）惜敗 佐藤次郎杯テニス大会 体育館等建設地鎮祭 数学科 公立学校教員研修会 県視聴覚研究大会 県民文化大学高校開放講座 修了式	4 4 7 9 11 11 11	500円硬貨発行、東北新幹線開業 フォークランド紛争勃発  中国、教科書問題で日本に抗議 鈴木首相、中国訪問  自民党総裁予備選、中曽根康弘圧勝 上越新幹線開業 ソ連ブレジネフ議長死去、後任はアンドロポフ
昭和58年 (1983年)	1. 12 1. 26~30 2. 12 3. 1 3. 24 4. 1 4. 6 4. 20 5. 13~15 6. 1 6. 2 6. 5 7. 9 7. 13 9. 5	「学校爆破予定」により、生徒退避 伊香保国体開会式に、本校から補助員、合唱隊として 111名参加 高教研進路指導部会 卒業式 終業式 第17代 原 弘校長赴任 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 講堂等落成記念式典（講堂兼体育館、音楽室） 祝賀会（出雲） 落成記念音楽会 落成記念講演会 県民文化大学開講式 対沼高定期戦（一般戦）浜高優勝 英国人英語指導助手 Mr.Bowcock（バーコック）赴任	5	ウィリアムズバーグ・サミット開催  大韓航空機、ソ連機に撃墜

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	9. 10 9. 11 10. 14~20 10. 29~30 11. 29	県民文化大学 修了式 定時制北毛地区体育大会（会場） 赤城国体開催（役員、合唱、柔道補助員として、職員、生徒多数参加） 愛の赤城国体（役員、合唱団参加） 同窓会記念品寄贈式	10 10 11	米軍、グレナダ進攻 三宅島大爆発 レーガン米大統領来日
昭和59年 (1984年)	1. 29 3. 1 3. 24 4. 6 4. 20 5. 11~13 5. 15 5. 19 6. 1~3 6. 23~24 6. 30 " 7. 7 11. 15 11. 20 12. 1	前同窓会長佐藤直氏、県教育委員就任祝賀会  卒業式（新体育館で行う初の卒業式） 終業式 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 県高校総体 山岳部優勝 県議会文教治安常任委員会 視察 PTA総会 空手道、卓球、テニス、関東大会出場 榛嶺祭（2千人以上来観） 同窓会総会 県民文化大学開講式（～12／1） 対沼高定期戦（部戦）  演劇教室「アップレ、クライトン」上演 村山義治氏講演会「高校生の健康管理」 県民文化大学 修了式	2 6 9 10 10 12	ソ連、アンドロポフ書記長死去、チェルネンコ就任  中曽根首相、ロンドン・サミット出席  韓国、全斗煥大統領 来日 インド、ガンディー首相暗殺 ポーランド、ワレサ氏にノーベル平和賞 香港返還の中英合意調印
昭和60年 (1985年)	1. 25 3. 1 3. 24 4. 1 4. 8 4. 9 4. 20 4. 21 5. 10~12 5. 15 5. 18 6. 3 6. 14 6. 18 7. 16 10. 19 10. 25 10. 28 11. 19 12. 14	東京同窓会に学校長、事務局長（2名）参加  卒業式 浜高賞初授与 松島、市村、池上君 空手道部、高橋君 全国高体連表彰 終業式 第18代 八高進校長赴任 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会（4. 20が雨天のため順延） 県高校総体 山岳部優勝 未明、生物準備室戸棚荒らされる PTA総会 進路講演会 県習熟度別指導研究推進委員会（会場） 「愛の献血」 282名応募、日赤から感謝状を送られる 群響音楽教室（市民会館） 対沼高定期戦（一般戦）本校の勝利  格技場改築工事始まる 英語科新採用教員研修会（会場） （初の）群馬県民の日 実施 合同慰霊祭実行委員会  佐藤次郎顕彰委員会（会場）	2 3 3 5 5 8 11	「創成会」発足 ソ連、チェルネンコ書記長死去、後任にゴロバチョフ就任 筑波科学万博開催  男女雇用機会均等法成立 ボン先進国首脳会議  日航ジャンボ機 墜落  コロンビアのネバドデル・ルイス火山爆発
昭和61年 (1986年)	1. 29	高教研国語部会研究大会（会場）	1 1	「怪人21面相」森永製菓を恐喝 スペースシャトル・チャレンジャー 打ち上げ直後に爆発



年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	2. 25	北毛地区図書館職員研修会（会場）	2	フィリピン、アキノ女史新大統領に就任
	3. 1	卒業式		
	3. 24	終業式		
	4. 7	始業式 入学式	4	ソ連、チェルノブイリ原発で放射能漏れ大惨事
	4. 19	第3回渋高同窓会 合同慰霊祭		
	4. 21	開校記念日 マラソン大会		
	5. 9～11	県高校総体 軟式テニス部・山岳部優勝	5	東京先進国首脳会議
	5. 17	P T A総会		
	6. 17	日赤「愛の献血」（生徒 187名職員14名参加）感謝状を贈られる		
	6. 20	仮装行列		
	6. 21～22	榛嶺祭（22、後夜祭）		
	7. 12	対沼高定期戦（部戦）V 2	7	衆参両院選挙で自民党大勝
	"	同窓会総会		
	9. 3	吾妻線事故（岩島）生徒65名登校不能	9	社会党委員長に初の女性党首 土井たか子誕生
	9. 10	映画教室「植村直巳物語」（市民会館）		
	9. 17	高校入試への面接導入研究委員会発足		
	10. 23	県教委 計画訪問	10	米ソ首脳会談（レイキャビック）
	11. 13	演劇教室「夏の夜の夢」（市民会館）	11	三原山大爆発 全島民避難
	11. 15	佐藤次郎顕彰委員会（会場）		
昭和62年 （1987年）	3. 2	卒業式	3	国鉄民営化 115年の歴史を閉じる
	3. 24	終業式		
	4. 1	第19代 荒井英一校長赴任	4	地域改善財特法施行
	4. 7	始業式 入学式		
	4. 20	開校記念日 マラソン大会		
	5. 16～18	県高校総体 総合第4位と健闘。卓球部優勝		
	5. 23	P T A総会 進路講演会		
	5. 29	関東大会 壮行会 （テニス、柔道、空手道、登山、レスリング、卓球）		
	6. 18	県教育委員の本校視察	6	ベネツィア先進国首脳会議
	6. 20	同窓会総会（於、出雲）新形態による総会、懇談会に100名参加	6	日中閣僚会議（北京）
	7. 13	2年生進路講演会（田嶋善之氏）		
	7. 14	対沼高定期戦（一般戦）渋高の勝利（V 3）		
	9. 29	音楽教室（市民会館）中沢 桂（ソプラノ）他出演		
	11. 21	登坂忠夫元教頭 文部大臣表彰祝賀会（於プリオパレス）	10	利根川進ノーベル医学生理学賞 受賞
	12. 1	校内職員研修会 同窓生 駒沢大学 村山輝吉氏「私の見た今の学生」	11	竹下登総理誕生
	12. 8	中国文物展見学（県歴史博物館）	12	米ソ I N F全廃条約調印
	12. 19～23	3年 学年末考査（初の試み）		
昭和63年 （1988年）	1. 27～30	伊香保国体（生徒多数補助員として参加協力）		
	2. 6	同窓生羽仁素道氏 群馬県教育委員就任祝賀会（於、出雲）	2	盧泰愚韓国大統領就任
	3. 7	卒業式	3	青函トンネル開業
	3. 24	終業式		
	4. 7	始業式 入学式	4	瀬戸大橋開通
	4. 20	開校記念日 記念講演「これからの社会の変化」同窓生木暮剛平氏		
	5. 14～16	県高校総体		
	5. 21	P T A総会 進路講演会（進研上田一郎氏）		
	6. 11	同窓会総会（於、出雲 130名参加）	6	トロント先進国首脳会議
	6. 17	高教研進路指導部会総会（会場）		
	6. 25～26	榛嶺祭（24、仮装行列 26、後夜祭）		
	6. 30	県教育委員会 計画訪問		
	7. 8	3年生、志望校検討会（初の試み）	7	自衛隊潜水艦と民間船舶の衝突で30人の犠牲者がでる
	7. 16	対沼高定期戦（部戦）V 4		

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	9. 1	英語指導助手 英国人アマンダ・フィリップス女史新任式	8	イラン、イラク戦争 停戦
	9. 4	佐藤次郎杯テニス大会		
	9. 7	高校音楽教室 群響（市民会館）		
	9. 8	創立70周年記念事業の一環 正門移設工事竣工		
	9. 24	特別講演会 同窓生通産事務次官 杉山弘氏「思い出すまに」		
	11. 17	開校記念マラソン大会（秋実施の最初）		
	12. 5	校内進路指導研修会 英数学館 児玉一成氏		
昭和64年 （1989年）			1	昭和天皇崩御 平成と改元
平成元年 （1989年）	1. 15	創立70周年記念事業の一環として「同窓会会員名簿」刊行	1	米ブッシュ氏大統領に就任
	3. 7	卒業式	2	大葬の礼（学校は休校 服喪）
	3. 24	終業式	3	伊藤みどり 世界選手権で優勝
	4. 1	第20代 中村英一校長赴任	4	消費税スタート
	4. 7	始業式 入学式		
	4. 20	開校記念日 講演会 同窓生星薬科大学教授 永井恒司氏 「治療によく役立つ薬にする」		
	5. 9	創立70周年記念事業準備委員会		
	5. 13～15	県高校総体 卓球個人優勝（本多選手）		
	5. 23	P T A総会 進路講演会（代ゼミ 秋山桂一氏）		
	7. 12	対沼高定期戦（一般戦） 渋高優勝（対戦成績10勝6敗 V 5達成）	6	宇野内閣成立
	7. 20	英語指導助手 アマンダ・フィリップス女史離任式	6	中国、天安門事件勃発
	8. 1	同窓会の援助により、図書館、事務室に空調設備（冷房）稼働	6	ポーランド国会選挙「連帯」圧勝
	8. 4	第2回創立70周年記念事業実行委員会	6	参議院選挙で、社会党大勝 与野党勢力が逆転する
	9. 6	県教育委員会 要請訪問	7	フランス革命 200年祭（パリ）
	9. 10	北毛地区定時制体育大会		
	9. 15	佐藤次郎杯テニス大会		
	10. 4	演劇教室 劇団風「ハムレット」上演（市民会館）		
	10. 30	2年生進路講演会 職員研修会 群ゼミ田嶋善之氏		
	11. 16	開校記念マラソン大会	11	巨人3連敗のあと4連勝して日本一となる
	12. 1	冬時間、本日から実施（運動部の要請）		
	12. 5	学校保健安全点検（県教育委員会来校）		
平成2年 （1990年）	2. 1	大雪のため第3限で生徒放課	2	衆議院選挙で自民党安定多数をとり、巻き返す
	2. 26	2年生 志望校検討会（初の試み）		
	3. 1	卒業式		
	3. 24	終業式	4	東独初の新人民議会開催
	4. 7	始業式 入学式	4	選挙制度審議会が小選挙区比例代表制導入の答申をする
	4. 20	開校記念日 記念講演会 同窓生東大教授 馬場宏二氏 「数学、歴史、経済学」	5	海部首相南西アジア歴訪
	5. 12～14	県高校総体、総合4位に輝く。卓球個人優勝（本多選手）	5	ソ連邦、ラトビアが共和国の独立を宣言。バルト三国が足並みをそろえる。
	5. 19	P T A総会 進路講演会	5	韓国盧泰愚大統領来日、天皇のいわゆる「お言葉」問題化
	5. 23	関東大会壮行会（レスリング、バレーボール、軟式テニス 卓球、剣道、空手道、山岳）	5	米ソ首脳会談、全欧安保、戦略兵器削減などで合意
	6. 2	同窓会総会（上州物産館）	6	
	6. 8	記念会館増改築に伴う、荷物の搬出開始		



年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	6. 16	記念会館増改築工事始まる（11/15完成予定）	6	日系二世 フジモリ氏 ペルー大統領に当選
	6. 17	インハイ予選で、剣道田中選手個人優勝 卓球団体準優勝	6	EC首脳会談 アイルランド ダブリンで開催、共同声明発表
	6. 22	仮装行列	6	天皇家次男礼宮、川嶋紀子さんと結婚
	6. 23～24	第18回榛嶺祭 （3,000 人來観）		秋篠宮家を創設
	7. 7	対沼高定期戦（部戦）本校のV 6 達成		
	7. 20	1学期終業式 インターハイ壮行会		

## 創立70周年記念事業実行委員会役員名簿

委員長	川崎 富三	顧問	小 渕 光 平
副委員長	角 田 登	"	橋 本 光 彦
"	池 原 透	"	荒 井 英 一
"	中 村 英 一	"	竹 園 一
"	石 原 尉 行	"	梶 原 堅 二
"	大 塚 修 平	"	水 穴 再 喜
"	堀 江 明 朗	"	佃 和 朋
"	石 附 周 行	"	原 弘
"	今 井 孝 一	"	八 高 進
"	福 田 尚	"	角 田 儀平治
"	福 田 英 作	"	堀 口 吉 七
"	都 丸 博 行	"	飯 野 藤 好
"	堀 口 靖 之	"	高 橋 清
"	石 井 明	"	北 村 英 吾
"	鈴 木 重 甫	"	佐 鳥 俊 一
"	斉 藤 修	"	馬 場 秀 夫
"	木 暮 剛 平	事務局長	青 柳 光 作
監 査	宮 前 剛	事務局員	岡 田 豊 治
"	宮 崎 英 弥	"	片 山 満 秋
"	岸 喜代路	"	広 瀬 洋
顧 問	福 田 宏 一	"	小 野 博 文
"	猪 熊 重 二	"	高 橋 洋 一
"	狩 野 勝	"	田 村 茂
"	真 下 玄 永	"	小 林 太一郎
"	大 林 喬 任	"	岸 明
"	角 田 登	"	狩 野 実
"	登 坂 秀	"	狩 野 悠
"	浅 見 道 雄	"	峰 村 宏
"	深 井 正 昭	"	中 林 勇
"	島 田 卓 爾	"	松 村 君 雄
"	羽 仁 素 道	"	小 林 政 幸
"	神 保 俊二郎	"	番 場 幸 作



【教職員名簿・現】

氏名	住所	電話				
中村英一	校長 沼田市材木町1315-11	0278-22-4761	五十嵐 健 一	国 語	渋川市半田1968-3 飛松ハイツ201号	0279-22-3754
岡田豊治	教頭 群馬郡箕郷町西明屋114-3	0273-71-4316	岩 田 真 二	社 会	前橋市三俣町1-19-8	0272-32-7831
山下健平	英語 北群馬郡子持村吹屋1361-2	0279-23-4014	関 原 正 子	英 語(地公臨)	前橋市総社町総社1328-5	0272-53-0769
星野武	社会 高崎市赤坂町49-3	0273-26-5597	坪 内 陽 祐	社 会(地公臨)	前橋市岩神町2-11-29	0272-31-6627
岸明	国語 群馬郡群馬町足門895-3	0273-73-1689	萩 原 恵 子	養 護	勢多郡北橋村真壁1399-5	0279-52-3320
狩野実	保体 渋川市石原331-3	0279-23-1201	田 中 順 子	実習助手	渋川市下郷1320-13	0279-22-3901
小野沢七郎	保体 渋川市東町1165-6	0279-23-1102	蓮 武 雄	置 籍	前橋市天川大島町2-18-14	0272-43-6710
武井民部	国語 高崎市正観寺町1028	0273-61-4119	阿久津 忍	置 籍	太田市西長岡54-1	0276-37-0695
木暮利夫	英語 北群馬郡子持村上白井2039	0279-53-2705	田 中 雅 伸	非常勤	前橋市田口町1291-3A11	0272-33-4378
峰村宏	理科 勢多郡赤城村津久田1622	0279-56-3901	北 爪 智 啓	非常勤	勢多郡大胡町河原浜252	0272-83-4969
広瀬洋	理科 北群馬郡榛東村山子田1010-2	0279-54-7339	竹 澤 泰 子	非常勤	前橋市田口町1222-27	0272-34-7198
高橋洋一	理科学 群馬郡箕郷町下芝663-10	0273-71-3176	後 藤 道 美	非常勤	北群馬郡子持村白井1121	0279-53-3753
橋本興東	数 学 前橋市上小出町223-1	0272-34-5075	青 柳 光 作	事務長	吾妻郡中之条町中之条940	0279-75-2042
加納一夫	音楽 勢多郡大胡町茂木211-32	0272-83-5988	小 林 太一郎	事務主任	利根郡月夜野町下牧1054-2	0278-62-3002
中林勇	英語 群馬郡群馬町足門929-1	0273-73-1051	佐 藤 和 恵	事務主事	吾妻郡東村五町田211-1	0279-59-3427
小野博文	英語 前橋市櫛島町85-2	0272-65-2365	小 淵 明 義	事務主事	利根郡白沢村大字上古語父甲1622	0278-53-3135
酒井一嘉	理科 前橋市文京町1-7-19	0272-23-5333	加 藤 美 香	事務主事	前橋市朝倉町1-8-3	0272-61-5501
田村茂	数 学 吾妻郡吾妻町大字原町2463-2	0279-68-5100	山 本 英 夫	司 書	高崎市剣崎町550-16	0273-43-3946
狩野悠	国語 渋川市並木町666-3	0279-23-3582	番 場 幸 作	公 仕	渋川市金井南町1502-2	0279-23-2839
一場肇	英語 吾妻郡吾妻町原町2659-8	0279-68-3266	浅 見 芳 弘	公 仕	渋川市川島1657	0279-23-8648
下田紀史	美術 群馬郡榛名町下室田3690-2	0273-74-0712	片 山 満 秋	教 頭	前橋市上小出町3-19-25	0272-32-5391
鳥塚定男	国語 高崎市町屋町565-11	0273-43-5563	佐 藤 登	英 語	前橋市駒形町662-11	0272-66-8322
小澤龍雄	数 学 群馬郡箕郷町矢原496-2	0273-71-4562	小 田 暁 夫	社 会	前橋市元総社町59-8	0272-51-5204
徳江效	保体 勢多郡赤城村三原田618-129	0279-56-2279	結 城 伸 吾	保 体	前橋市国領町1-14-5	0272-31-5335
篠原隆生	保体 渋川市行幸田38-5	0279-23-6352	橋 本 喜久男	理 科	富岡市上小林428-7	0274-67-3494
金井正之	英語 前橋市青柳町838-9	0272-33-7233	福 田 哲 夫	数 学	群馬郡群馬町足門917	0273-72-0381
鎗木澄雄	国語 吾妻郡中之条町折田194-3	0279-75-2001	今 泉 総 佳	国 語	渋川市辰巳町1694-14	0279-22-3201
松村君雄	理科 高崎市並榎町387-1	0273-27-2456	柳 井 由 弘	非常勤	前橋市青柳町708-5	0272-31-3647
永舩敏明	保体 渋川市金井3002-6	0279-24-1854	野 村 千代子	非常勤	渋川市入沢203-5	0279-22-3619
笠原洋一	保体 前橋市元総社町1-4-1 エバグリーン前橋305号	0272-52-8058	萩 原 文 公	非常勤	渋川市川島1292-1	0279-24-5926
井之浦和男	社会 渋川市東町1252-4	0279-22-1459	伊 藤 民 夫	非常勤	前橋市総社町総社2867-1	0272-53-1586
山口知彦	数 学 前橋市上小出町613	0272-31-6358	押 江 孝 子	給食員	渋川市元町572-16	0279-22-1329
阿部三郎	国語 前橋市元総社町1315-3	0272-53-0546	萩 原 恵 子	兼務養護	勢多郡北橋村真壁1399-5	0279-52-3320
榛沢健二	社会 吾妻郡中之条町中之条2049	0279-75-1973	野 沢 勇	警備員	渋川市東町2055-1	0279-23-7155
石原武	数 学 前橋市朝日町4-1-16	0272-21-8387	樋 口 公 三	代行員	渋川市並木町669-3	0279-23-5044
大坪哲	国語 渋川市入沢7-1県住78A-5	0279-23-4629	岩 淵 勘 二	代行員	渋川市金井南町1167-9	0279-23-0801
伊藤恭滋	理科 群馬郡箕郷町矢原436-3	0273-71-6544	松 沢 誠 平	代行員	渋川市並木町715	0279-24-1321
田口哲男	理科 高崎市羅漢町64-1	0273-22-4819	角 田 直 得	代行員	渋川市金井2522-17	0279-24-1709
小林政幸	数 学 勢多郡北橋村八崎981-2	0279-23-7368	酒 井 雄 二	代行員	渋川市元町597	0279-23-6548
青山祥一	社会 前橋市箱田町467-4 メゾン・ド・ブランシュ202号	0272-52-6486	高 井 英 世	内 科	渋川市1945-1	0279-22-0076
茂木信弘	社会 渋川市石原64	0279-22-4639	平 形 義 人	眼 科	渋川市石原966	0279-22-0073
佐久間秀人	保体 前橋市六供町758-2	0272-24-5647	川 島 尚	耳鼻科	渋川市1722-2	0279-22-2421
北爪秀明	英語 前橋市上小出町386-16	0272-34-7670	小 林 安 夫	歯 科	渋川市折原3879-11	0279-23-2329
田中雅徳	英語 沼田市西原新町1872	0278-24-1663	宮 前 剛	薬剤師	渋川市2448	0279-22-4141
木暮文博	数 学 勢多郡富士見村横室98-1	0272-88-5372	角 田 登	P T A会長	勢多郡赤城村津久田328	0279-56-2255
武井明	数 学 高崎市正観寺町136-3	0273-62-0145				



# 【歴代校長】

代	氏 名	在 任 期 間
初	杉 原 九 郎	大正 9 年 3 月11日～大正12年 3 月16日
2	湯 沢 徳 治	大正12年 3 月17日～大正14年 9 月30日
3	樋 口 安一郎	大正14年10月 1 日～昭和 3 年 3 月31日
4	中曾根 都太郎	昭和 3 年 4 月 1 日～昭和 6 年 7 月24日
5	高 見 勘次郎	昭和 6 年 7 月25日～昭和16年 3 月31日
6	長 岡 禎 利	昭和16年 4 月 1 日～昭和18年 4 月 7 日
7	小 林 熊 光	昭和18年 4 月 8 日～昭和20年 3 月31日
8	平 野 武 夫	昭和20年 4 月 1 日～昭和25年 3 月31日
9	狩 野 道 美	昭和25年 4 月 1 日～昭和33年 3 月31日
10	井 関 保	昭和33年 4 月 1 日～昭和35年11月 7 日
11	小 池 愼	昭和35年11月 8 日～昭和40年 3 月31日
12	竹 園 一	昭和40年 4 月 1 日～昭和44年 3 月31日
13	飯 塚 二 郎	昭和44年 4 月 1 日～昭和46年 3 月31日
14	梶 原 堅 二	昭和46年 4 月 1 日～昭和51年 3 月31日
15	水 穴 再 喜	昭和51年 4 月 1 日～昭和55年 3 月31日
16	佃 和 朋	昭和55年 4 月 1 日～昭和58年 3 月31日
17	原 弘	昭和58年 4 月 1 日～昭和60年 3 月31日
18	八 高 進	昭和60年 4 月 1 日～昭和62年 3 月31日
19	荒 井 英 一	昭和62年 4 月 1 日～平成元年 3 月31日
20	中 村 英 一	平成元年 4 月 1 日～

# 【歴代PTA会長】

代	氏 名	在 任 期 間
初	鈴木 国彦	昭和22年度～昭和28年度
2	増 田 彦七	昭和29年度～昭和32年度
3	由 利 太 郎	昭和33年度～昭和36年度
4	真 下 玄 永	昭和37年度～昭和40年度
5	木 暮 武太夫	昭和41年度～昭和43年度
6	佐 藤 直	昭和44年度～昭和46年度
7	浅 見 四 郎	昭和47年度～昭和49年度
8	川 島 尚	昭和50年度
9	川 崎 富 三	昭和51年度～昭和52年度
10	大 塚 修 平	昭和53年度～昭和54年度
11	榎 本 清 茂	昭和55年度～昭和56年度
12	羽 鳥 一 郎	昭和57年度
13	羽 仁 素 道	昭和58年度
14	小 渕 光 平	昭和59年度
15	橋 本 光 彦	昭和60年度～昭和61年度
16	斉 藤 修	昭和62年度
17	石 附 周 行	昭和63年度～平成元年度
18	角 田 登	平成 2 年～現在

# 【歴代同窓会会長】

代	氏 名	卒 業 期	卒業回数
初 代	中曾根 満寿雄	大正14年	旧制 1 回
2 代	角 田 儀平治	大正14年	旧制 1 回
3 代	狩 野 半 平	大正15年	旧制 2 回
4 代	飯 野 藤 好	昭和 2 年	旧制 3 回
5 代	北 村 英 吾	昭和 4 年	旧制 5 回
6 代	真 下 玄 永	昭和 8 年	旧制 9 回
7 代	佐 藤 直	昭和 9 年	旧制10回
8 代	神保(青木)俊二郎	昭和17年	旧制18回
9 代	川 崎 富 三	昭和19年	旧制20回



【卒業生数】

卒業	回数	人数
大正14年	中学1	33
15	2	34
昭和2年	3	73
3	4	67
4	5	69
5	6	70
6	7	83
7	8	75
8	9	67
9	10	81
10	11	84
11	12	67
12	13	77
13	14	80
14	15	72
15	16	81
16	17	87
17	18	95
18	19	95
19	20	93
20	21	5年 122 4年 167
21	22	52
22	23	114
23	24	189
24	25	19
計		2,146

卒業年	全 日 制		定 時 制		計
	回数	人数	回数	人数	
昭和24年	高校1	94		男 女	94
25	2	146			146
26	3	181			181
27	4	256	1	41	297
28	5	192	2	80	272
29	6	206	3	75	281
30	7	261	4	84	345
31	8	261	5	70	331
32	9	263	6	76	339
33	10	262	7	58	320
34	11	250	8	66	316
35	12	254	9	60	314
36	13	253	10	51	304
37	14	242	11	48	289
38	15	243	12	51	294
39	16	301	13	48	291
40	17	375	14	36	337
41	18	357	15	69	444
42	19	357	16	60	417
43	20	357	17	39	396
44	21	349	18	43	392
45	22	335	19	34	369
46	23	335	20	19	354
47	24	325	21	21	346
48	25	327	22	16	343
49	26	314	23	9	323
50	27	347	24	11	358
51	28	361	25	16	377
52	29	360	26	11	371
53	30	359	27	10	369
54	31	357	28	11	368
55	32	360	29	14	374
56	33	354	30	12	366
57	34	342	31	17	359
58	35	356	32	6 3	365
59	36	356	33	12 2	370
60	37	351	34	3 3	357
61	38	342	35	5 1	348
62	39	357	36	5 4	366
63	40	349	37	14 4	367
平成元年	41	359	38	13 6	378
2	42	346	39	11 3	360
計		12,638		1,324 26	13,988

指導方針

1. 教育方針

教育基本法、学校教育法に示された事項並びに精神に基づき、平和的、民主的、文化的社会の形成者として、また、真に国際社会の発展に貢献できる者として、心身ともに健全な国民の育成を目指す。

2. 教育目標

- (1) 道義心を培い、豊かな教養に根ざした均衡のとれた判断力と、たくましい実践力を養う。
- (2) 理解と愛情をもって自律的集団生活を営むことのできる能力を養う。
- (3) 積極的、自発的な学習態度の確立につとめ、深く豊かな知性を養う。
- (4) スポーツを奨励し、健康の増進を図り、明朗、健全な心身を養う。
- (5) 気品高き校風を育成し、洗練された情操を養う。

3. 本年度の努力目標

全日制

- (1) 学力の向上
  - 授業時数の確保と自宅学習指導の徹底 ● 課題学習指導と添削指導の充実
  - 校内諸テストの内容充実とその結果の効果的活用
  - 適切な進路情報等の提供と実効ある進学指導の推進
- (2) 渋高生としての誇りと責任の自覚
  - 基本的生活習慣の確立ー特にあいさつの励行
  - 他人への思いやりの育成 ● 規律ある充実した集団生活
- (3) 教育環境の整備と美化
  - 施設・設備の改修 ● 清掃の徹底ー特に汚さない、散らかさないことの指導
- (4) 部活動の奨励によるたくましい豊かな人間性の陶冶

定時制

- (1) 基本的生活習慣の確立 (2) 出席率を高める教育活動の推進
- (3) 学習意欲の向上と実態に即した指導の徹底
- (4) 交通事故違反の絶滅 (5) 他人への思いやりの育成



(1) 校地面積 28,521m<sup>2</sup>  
(2) 校舍面積 10,355m<sup>2</sup>  
(3) 運動場敷地面積 15,807m<sup>2</sup>

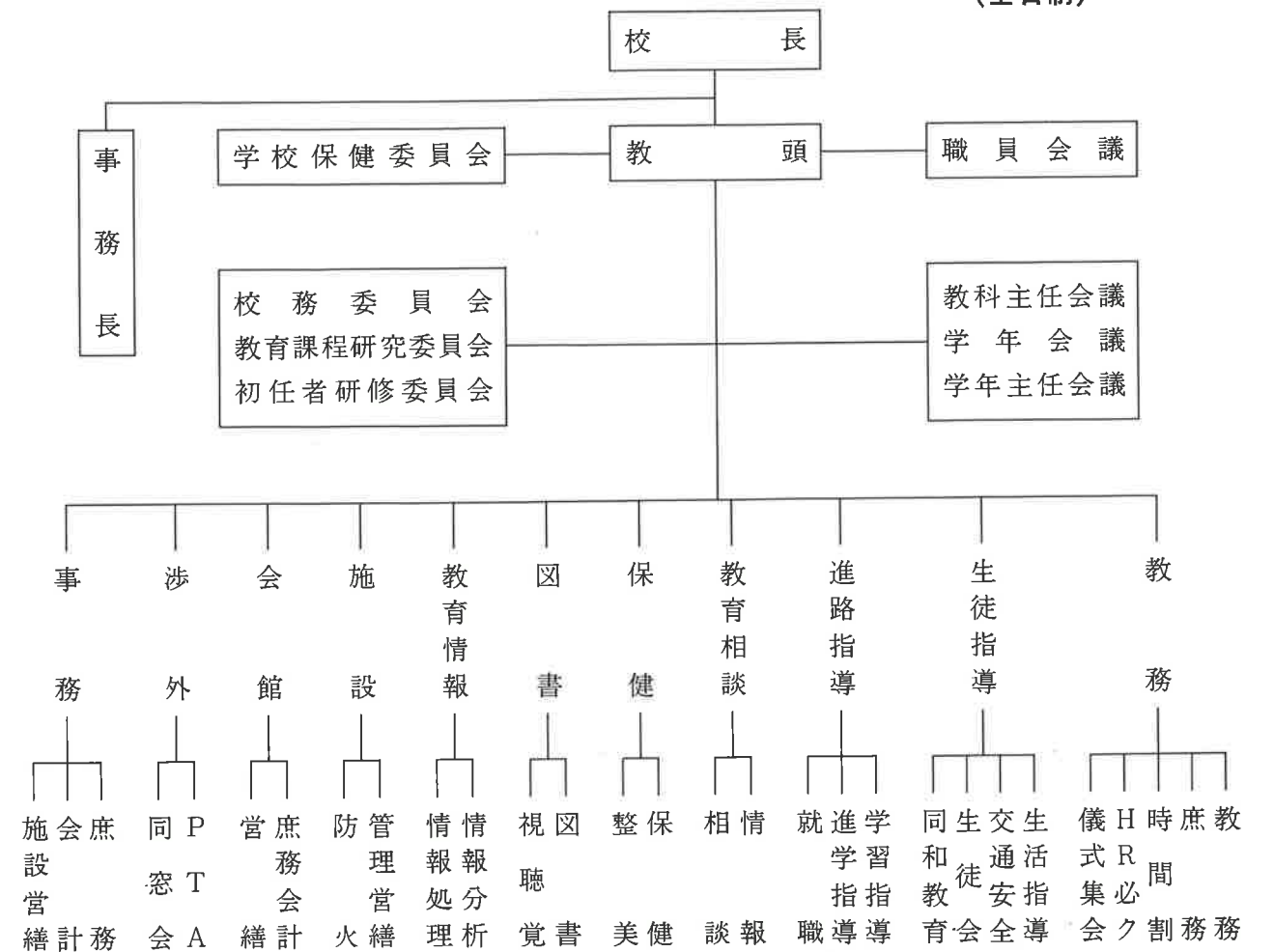
	棟 数	面 積	摘 要
本 校 舎	1	5,660㎡	管理室 普通教室24 理科室 4 視聴覚室 1 美術室 1
北 校 舎	1	730㎡	被服室・食物室・生徒会会議室・図書館
音 楽 室	1	432㎡	音楽室・天体観測室
体 育 館	1	2,127㎡	体育場・卓球場
格 技 場	1	534㎡	柔道場・剣道場
部 室	3	349㎡	
セミナーハウス	1	688㎡	食堂・合宿所（記念会館） 展示室
倉 庫	3	72㎡	
計	12	10,592㎡	

(1) 全日制

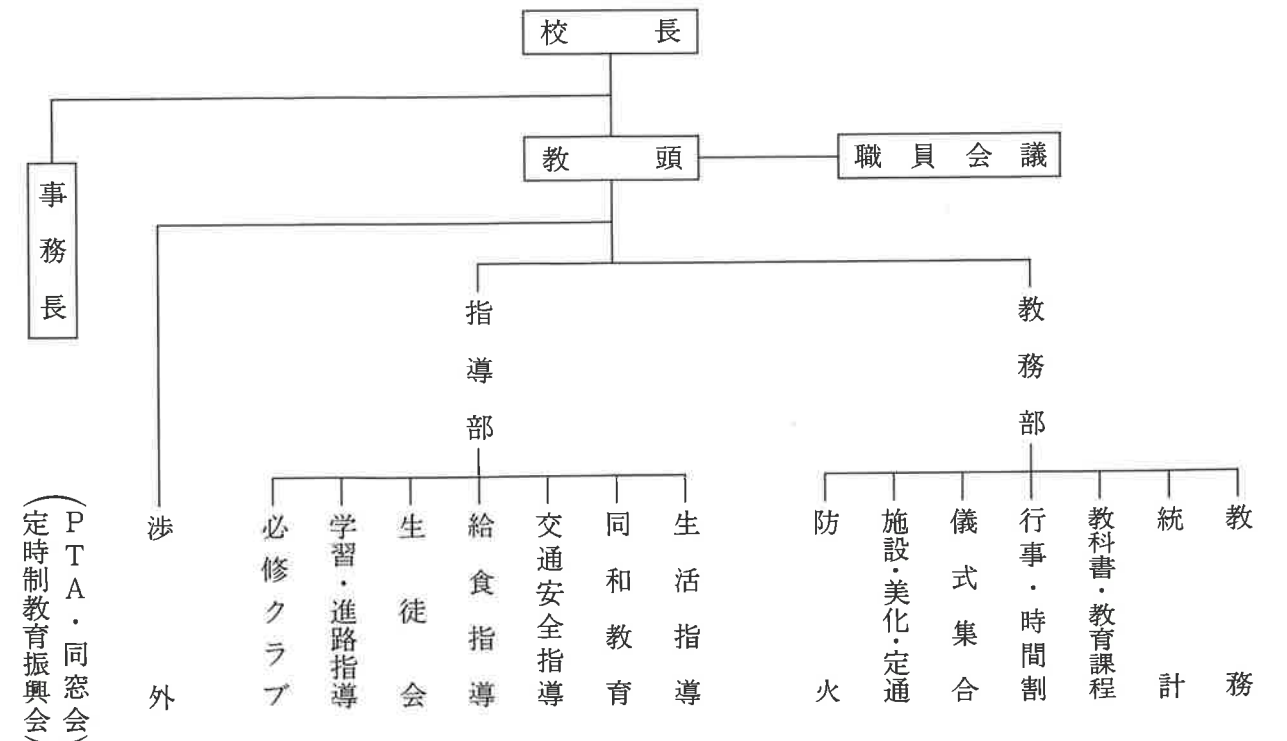
區分	校長	教頭	教諭	置籍	養護教諭	事務職員	學校司書	実習助手	公仕	学校警備員	計	非兼時数	学校医	学校歯科医	学校薬剤師	備考
現員	1	1	48	2	1	5	1	1	2	1	63	非常勤務 588	3	1	1	

備 考	學校藥劑師	學校齒科醫	學校 校醫	非 兼 時 數	計	學校警備員	公 仕	實習助手	學 校 司 書	事 務 職 員	養 護 教 諭	教 諭	教 頭	校 長	區 分
				非常勤 10 兼 務 2								6	1		現員

(全日制)



(定時制)





【生徒の状況】

市町村別生徒数

区分	全定別 学年	全 日 制				定 時 制					全定合計
		1	2	3	計	1	2	3	4	計	
渋 川 市		103	123	112	338	14	16	11	8	49	387
伊 香 保 市		4	6	6	16	2	0	0	2	4	20
子 持 村		32	23	26	81	1	0	2	2	5	86
小 野 上 村		6	5	2	13						13
吉 岡 村		24	14	23	61	1	1	2	1	5	66
榛 東 村		13	6	29	48	5	2		2	9	57
赤 城 村		17	24	24	65	1	3	6	2	12	77
北 橋 村		15	16	18	49	1	1	1	1	4	53
富士見村		7	4	6	17						17
中之条町		47	33	21	101						101
長野原町		17	16	8	41						41
東 村		6	5	3	14						14
吾 妻 村		27	27	30	84						84
高 山 村		0	5	4	9						9
草 津 町		2	7	7	16						16
六 合 村		2	3	3	8						8
嬭 恋 村		9	15	4	28						28
箕 郷 町		1	0	2	3						3
群 馬 町		2	0	1	3						3
前 橋 市		25	28	23	76	2				2	78
高 崎 市											
沼 田 市		1	2	0	3						3
そ の 他		1	4	8	13	1	1			2	15
県 外											
計		361	366	360	1,087	28	24	22	18	92	1,179

【行事予定】

(全 日 制)

四 月	始業式 入学式 新任式 対面式 離退任式 生徒会部紹介 部・サークル編成 追認試験 大掃除 身体検査 進路希望調査 内科・眼科・耳鼻科献身 検尿 河合塾模試(2・3年) 群数研テスト(1・2・3年) 開校記念式典 記念講演会 図書館オリエンテーション 街頭交通指導	九 月	始業式 追認試験 防火巡視 街頭交通指導 大掃除 校内実力テスト(1・2年) 体育祭 校内模試(3年) 公務員模試(3年) 校内同和教育研修 音楽教室 保健安全点検 河合塾模試(3年) 進路希望調査 就職推薦開始 進研模試(2・3年)
		十 月	中間テスト(1・2年) 期末テスト(3年) 防火巡視 大掃除 クリーンハイク 進研模試(3年) 旺文社模試(3年) 英語検定 中高連打合会 進路講演会(2年) 貧血検査 代ゼミ模試(1年) 河合塾模試(3年)
五 月	生徒総会 レントゲン撮影 公務員模試(3年) 生徒会役員選挙公示 中間テスト 大掃除 下宿生指導訪問 高校総体 校内模試(3年) 映画教室 PTA・教育振興会総会 進路講演会 歯科検診 防火巡視 防火訓練	十 一 月	代ゼミ模試(3年) 保健安全点検 進研模試(1・2・3年) 進研小論文模試(3年) 保護者面談(1・2・3年) ストープ搬入 校内模試(3年) 創立七十周年記念式典 防火巡視 防火訓練 大掃除 校内マラソン大会 成績会議(3年) 校内職員研修会 教育相談研修会
		十 二 月	期末テスト(1・2年) 学年末テスト(3年) 防火巡視 大掃除 校外補導 終業式 成績会議(1・2年) 代ゼミ模試(3年) 河合塾模試(3年) 一橋模試(3年) 保護者面接(3年) 志望校検討会(3年)
六 月	旺文社模試(2年) 英語検定 教育実習 防火巡視 YG性格検査(1年) 同窓会総会 進研模試(3年) 交通安全教室 衣替え 自転車点検 公務員模試(3年) 心臓検診(1年) 保護者面談(3年) 大掃除 榛嶺祭 生徒会役員選挙 草津地区保護者会 中高連総会 保健安全点検 アメヒト駆除 進研小論文模試(3年)	一 月	始業式 防火巡視 大掃除 追認試験(3年) 大学入試センターテスト 3年特別時間割 校内実力テスト(1・2年) 進研模試(1・2年) 志望校検討会(3年) 予餞会 進路別集会(3年)
		二 月	修学旅行(2年) スキー教室(1年) 防火巡視 大掃除 代ゼミ模試(1・2年) 成績会議(3年) 3年特別時間割 保健安全点検 志望校検討会(2年)
七 月	期末テスト 大掃除 求人票受付開始 公務員模試(3年) 定期戦(部戦) 進研模試(1・2・3年) 校外補導 防火巡視 成績会議 終業式 夏季補習 アメヒト駆除 PTA学年部会(1・2年) 志望校検討会(3年) 旺文社小論文模試 学級懇談会(1・2年)	三 月	卒業式 大掃除 学年末テスト(1・2年) 防火巡視 高校入試 成績会議(1・2年) 終業式 中高連総会
八 月	合宿部活動 北部地区特活研 全国PTA大会 除草(1年) 河合塾模試(1・2・3年) 夏季補習 中高連総会		



(定 時 制)

四 月	始業式 入学式 新任式 対面式 離任式 部編成 クラブ編成 内科・眼科・耳鼻科検診 開校記念講演 身体計測 校門指導 会 食 検尿	九 月	大掃除 北毛地区定時制体育大会 校内生活体験発表会 校門指導 会 食
	追試(第1回) 歯科検診 胸部X線撮影 交通講話 中間考査 P T A総会 校門指導 会 食 振興会総会	十 月	追試(第2回) 中間考査 定時制開校記念マラソン 北毛地区生活体験発表会 生徒会役員改選 校門指導 会食
五 月	防火指導 車両点検 同窓会総会 会 食 校門指導 大掃除 榛嶺祭	十 一 月	北毛地区交流会 車両点検 防火訓練 校門指導 会食
	期末考査 成績会議 保護者個人面接 球技大会 会 食 終業式	十 二 月	同和映画 期末考査 成績会議 会 食 大掃除 終業式
六 月	始業式 校門指導 定通制全国体育大会	一 月	始業式 映画教室 校門指導 会 食
		二 月	4年学年末考査 1～3年中間考査 予餞会 会食 車両点検 防火指導 卒業判定会議 4年家庭学習 校門指導 卒業式予行 表彰
七 月		三 月	卒業式 1～3年学年考査 進級判定会議 終業式 大掃除 入学検査 合格発表 補講

## 編集後記

平成2年4月20日、群馬県立渋川高等学校は創立70周年の輝ける記念日を迎えた訳であります。この日を記念して本校の生徒同窓生であります東京大学教授馬場宏二先生の御講演をいただきました。そして12月1日、記念会館の完成を待って創立記念式典が盛大に催される運びとなりました。

創立記念の節目を迎える学校が、かつてのように分厚い「校史」にかかわって「グラビア写真集」で記念誌を刊行する趨勢にありますので、私どもの学校も「榛嶺一目で見る渋高70年」と題する記念誌を発行することになりました。「榛嶺」とは、申し上げるまでもなくこの渋川の秀嶺「榛名の嶺」のことです。渋高生徒会誌も「榛嶺」と呼ばれて永く親しまれてまいりました。この度完成を見ました記念会館も「榛嶺会館」と名付けることに決しました。わが母校の象徴としてこの名が永く親しまれて欲しいという願いをも込められています。

さて、ご覧になりましたとおりこの記念誌は、①序—挨拶、②グラビア—一目で見る渋高70年、③渋高70年の略年表、④学校概況の4部構成でありまして、②の部分は「渋高五十年史」(上下)におさめられた写真、及びそのおり日の目を見なかった写真、そして卒業アルバム所収の写真をテーマ別に編集したものであります。

また③の略年表は、大正9年の創立から昭和45年の創立50周年までの記事については、「渋高五十年史」の年表を圧縮して再構成したもの、昭和46年から平成2年7月までの記事は、「教務日誌」から再構成したものであります。記事は吟味して年間20～30項にまとめましたので主な行事のみしか記載されていません。この記念誌の年表の元になったアルバム15冊と年表は、新しい記念会館の一隅に保管して将来「校史」編纂の資料としてもらいたいと考えております。

④の学校概況は、これを見れば母校渋川高校の現状が瞭然と解ると思われる資料を、主に本年度版「学校要覧」から引用・配列いたしました。

この「榛嶺一目で見る渋高70年」は、卒業生にとっては懐かしい心の拠り所であり、在校生にとってはわが母校の歴史を知る縁であってほしいものと願っております。

末筆ながら、資料の編集・写真の複写・資料写真の提供など、かなりの場面でご協力戴いた伊ワモト・フォトのスタッフに深甚なる感謝の言葉を申し上げ編集後記と致します。

◎記念誌編集担当 群馬県立渋川高等学校

高橋洋一(全12回)、岸 明(全5回)、峰村 宏(全10回)、狩野 悠(全15回)、松村君雄(全21回)





年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	5. 10	御大婚25年記念日 講堂で挙式 棒高跳の設備成る	5	総同盟解散 日本労働組合協議会を 結成 6 前橋一渋川間自動車運転開始 中学校規則改正 教練のため授業を 2時間増 休業日を改正 4月4日から1学期始業 不況のどん底から米価暴騰
	5. 20		6	
	7. 15	同窓会第1回幹事会 4・5年生課外授業開始(～27) バスケットボールの設備ペンキ塗り終わる 第2回召集日 第1回同窓会総会	7	東京放送本放送開始 内閣不統一で総辞職 第2次加藤高明憲政党内閣成立 前中晴れの甲子園出場 渋川火葬場完成 帝国議事堂全焼 第2回国勢調査人口8345万人
	7. 20		8	
	8. 1		9	
	8. 21		10	
	9. 17	4・5年生軍隊宿泊 ～19日 第3代 樋口安一郎校長新任式 相馬ヶ原で野外演習(～17) 全国体育デー 第1回運動会 国民精神作興に関する詔書奉読式 教練査閲 午前5年生 午後4年生他全校生 補習授業開始 英数国(～28) 始めて事務室、職員室にストーブ備え付け 渋女に御真影奉迎のため全校生徒参加 終業式 4・5年生学力補充授業始まる	11	東京環状線省電全通
	10. 7			
	10. 16			
	11. 3			
	11. 10			
	11. 20			
	12. 5			
	12. 7			
	12. 23			
	12. 24			
大正15年 (1926年)			1	学則改正 中学授業料4円となる 山田耕筈ら日本初の交響曲定期演奏会 加藤内閣総辞職 若槻礼次郎内閣成立
	2. 20	予餞会 第2回卒業式 1年～4年野外教練 在校生野外演習 終業式 始業式 入学式 英霊殿参拝 開校記念日 マラソン大会 修学旅行団出発 ～5月1日 在校生館林へ遠足 前橋市小出河原にて学生連合演習 5年生参加 銃器36挺払下げ 軍隊宿泊(～14日) 増築校舍及控室の修繕工事成る 1・2年生赤城登山 第2回同窓会総会 剛健旅行 尾瀬方面	3	
	3. 2			
	3. 20		4	通行税渋川市内10銭を9銭へ 古巻小学校竣工
	3. 22			
	3. 24		5	アムンゼン北極横断に成功
	4. 5			
	4. 18		6	公益質店前橋で開業 郡役所廃止 蔣介石中華民国革命軍総司令に就任 蔣介石北伐開始 日本放送協会設立 前中甲子園へ(3回戦で静中に敗る) 第2回オリンピックで人見選手優秀選 手となる
	4. 20		7	
	4. 25		8	ドイツ国際聯盟に加盟 草津電鉄全線開通 日本学術協会発足式
	5. 1		9	
	5. 6	全生徒相馬ヶ原野営 本校で県下中学校野球大会 渋中对沼中 初旬全生徒妙義登山 午後生徒弁論大会 4・5年生連合演習に参加 剣道部神宮競技大会に出場 第2回運動会 3年水沢付近で露営演習 妙義登山 八幡宮で天皇御病氣平癒祈願 7日、8日も 各室にストーブ取付け 1・4年生野外教練	10	上越線後閑まで開通式 全国水平社松本治一郎らを検挙
	5. 21		11	
	6. 12		12	大正天皇崩御
	7. 12			
	7. 19			
	7. 25			
	8. 18			
	9. 10			
	9. 16			
	10.			
	10. 20			
	10. 22			
	10. 30			
	11. 3			
	11. 22			
	11. 27			
	12. 6			
	12. 10			
	12. 22			

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	12. 23	2・3・5年生野外教練 天皇崩御につき午前11時職員会議 渋川町在住生徒全員に12時30分集合 午後1時より遥拝式 生徒に対し大喪に服する心得を配布		
	12. 25			
昭和元年 (1926年)			12	摂政裕仁殿下踐祚し、昭和と改元
昭和2年 (1927年)	5. 10	5年生関西旅行 4年生以下榛名山登山	3	渋川で大火(30戸全焼) 県立盲啞学校創立 県下初めてのメーデー アメリカのリンンドバーグ大西洋無着陸 横断飛行に成功 山東出兵始まる ジュネーブ軍縮会議開催
	6. 26	兵営宿泊(4・5年生150名) 1年赤城、2年日光、3年横須賀方面へ旅行 全校生徒交替で榛名キャンピング	4	
	7. 28		5	
	8. 16		6	
	10.	秋季大演習に茨城県水戸堀ヶ原練兵場で御親閲を拝受 野営2泊 秋季大運動会開催(団の優勝旗制定) 第1回県下中等学校連合競技大会参加	8	
	11. 2		8	
	11. 13		8	
			9	
			10	
			11	初の明治節 参拝者80万人 中等学校の入試明春から廃止 当分常識的口答試問、内申で選抜 日本最初の地下鉄上野～浅草間に開通
			12	
昭和3年 (1928年)	1. 13	特別教室2教室(コンクリート建)及び雨天体操場西側 70坪を増築完成	1	入試に身体検査を重視することを県 通達 第1回普通選挙施行 大正橋着工 左派の労働運動家1568人を全国的に大 検挙(3. 15事件)
	3. 5	校地の周囲に杉500本、扁柏500本、樺4本植樹 狭窄射撃場を八幡山に新設 この年から軍事教練強化され る 教練用歩兵銃不足分16挺陸軍省より下給される 樋口校長高中校長に転補、第4代中曽根都太郎校長赴任	2	
	3. 20		3	
	3. 21	上級生御大礼記念東京博覧会見学、下級生は榛名登山 軍隊宿泊 ～6月2日	4	算術教科書にメートル法を採用 渋川町に幼稚園開設 日・米・英軍縮会議(ジュネーブ) 治安維持法改正(死刑・無期を追加) 特高警察を全国に拡充 第9回オリンピックに日章旗初めて揚 がる 県下233校に御真影伝達式(県庁) 文部省に学生課を置き思想問題を所管 東電佐久発電所完成 新帝即位大礼式を行う 上毛電気鉄道開通 群馬県体育協会生まれる
	3. 31		5	
	5.	御大典記念として校旗制定(渋川市下郷の鳥羽資氏の寄贈) 御真影拝受 中等学校と青年訓練所生徒の連合大演習実施	6	
	5. 30		7	
	7. 7	このころ校歌できあがる 教練用の背囊、歩兵第15連隊より下給される	8	
	11. 5		10	
	11. 5		11	
	11. 19		12	
昭和4年 (1929年)	2.	始業式、入学式 開校記念日 マラソン大会 遠足 近県中等学校庭球大会において庭球部優勝 競技会	2	中等学校射撃大会(県) 衆議院、治安維持法改正案緊急勅令を 事後承認 前橋市立高等家政女学校(現市立女子 高)開校 海軍記念日 教員の俸給未払い、減俸、くびきりな ど全国的に起こる
	3.		3	
	4. 4		4	
	4. 20		5	
	5. 18		6	
	5. 19			



年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
	9. 4 9. 15 10. 10 10. 20 10. 21	歩兵第15連隊に営内宿泊訓練 県下中等学校庭球大会において庭球部優勝 全国中等学校選手権大会に庭球部出場 県下中等学校連合競技会 競技部連続優勝 校訓改訂す 1. 教育勅語ノ聖旨ニ奉仕シ人格ノ完成ニ努ムベシ 2. 質実剛健、勤勉事ニ従ヒ国家社会ノ中堅人物タランコトヲ努ムベシ 3. 遠大ノ志ヲ励マシ堅忍持久大成ヲ期スベシ	8 10 11 12	ツェッペリン伯号霞ヶ浦に安着 伊香保、榛名間ケーブル開通 浜口首相緊急政策を全国に放送 小学校教員連盟結成（日本教育労働者組合の前身） ニューヨーク株式市場で大暴落（世界恐慌始まる） 大正橋竣工 群馬会館落成式 憲兵司令部、思想研究班を編成 清水トンネル開通（この年不景気で物価下落）
昭和 5 年 (1930年)	3. 24 4. 4 4. 6 4. 19 5. 5 5. 10  9. 14 9. 21 9. 24  10. 12  11. 1	終業式 始業式、入学式 創立10周年記念式典挙行、図画習字等展覧会一般公開 創立記念日 マラソン大会 5年生修学旅行 ～10日 4年生以下遠足  県下中学校総合庭球大会（本校コート） 県下中学校剣道大会（前中） 県下中学校連合競技大会に競技部3年連続優勝を果たす  教育勅語頒布40周年記念式挙行  創立10周年記念運動会	1 2 3 4 5 6 9 10 11 12	大正橋落成式 ロンドン海軍軍縮会議 官立校入学に思想傾向重視を決める 県下大演習 青年訓練所入所者増加中等学校志望者激減 ロンドン海軍軍縮会議条約調印 経済不況から中等学校退学者激増  国産品愛用運動の開始を政府通牒 米価暴落 浅間山大爆発 前橋敷島球場開場 生糸大暴落（農村恐慌） 東京・神戸間に特急列車運転開始（時速67.4Km） 渋川警察署上棟式 浜口首相東京駅頭で愛国社員佐郷屋留雄に狙撃され重傷 群馬会館落成 失業者32万人と公表
昭和 6 年 (1931年)	3. 2 3. 25 4. 1 4. 4 4. 20 5. 19  7. 25 9. 7 9. 24 10. 27	卒業式 終業式、入学生合格発表 この年から作業科を新設 園芸木工を課する 始業式、入学式 開校記念日 学芸会  第5代高見勘次郎校長就任 軍隊宿泊（～10日） 県下中学校連合大会 剣道部優勝 明治神宮庭球大会に、松岡・神谷組出場、準々決勝で静岡県富士中学校に惜敗	1 2 3 4 6 7 9 10 12	中学校を進学の有無により1種2種に区別 県下中等学校御真影伝賜式 衆議院婦人公民権案可決（3. 24貴族院否決） 全国の製糸業1か月の休業に入る  重要産業統制法公布  官吏減俸実施 小学校教員の減俸実施 文部省に学生思想問題調査委員会設置 八高線倉賀野一見玉間開通 上越線全線開通 満州事件勃発 東北・北海道で大飢饉 太田町に中島飛行機株式会社設立

年 代	月 日	本 校 関 係	月	国内・外関係
			12	内務省失業者42万5526人と発表
昭和 7 年 (1932年)	3. 2 3. 24  4. 20 5. 7 5. 8  6. 12  7. 19 7. 20 7. 21  9. 23 9. 25 10. 2 10. 23 10. 31 11. 10	卒業式 終業式、新入生発表  開校記念日 マラソン大会 5年生関西旅行出発 ～14日 全国中等学校競技選手権大会参加（明治神宮）  佐藤・田中組、関東中等学校庭球選手権大会に出場  4年・5年野外演習 3年野外演習 1年・2年野外演習  県下中等学校連合武道会 柔道・剣道第2位 県下連合庭球大会 石田・平方組第2位 県下中等学校連合射撃大会 県下中等学校連合競技大会 第3位 勅語記念日 精神作興詔書記念日	1 2 3  5  6 7  8 9 10 11 12	第1次上海事件 衆議院選挙 満州国建国宣言 （この年全国での完全失業者50万人、潜在失業者と併せて300万人と推定）  メーデー500余名参加、50名検束（県内） 中学校野球取締細則発令 陸海軍将校犬養首相を暗殺（5. 15事件－政党内閣終止） 警視庁に特別高等警察部、府県に特高課をおく 第10回オリンピック 農漁村の欠食児童20万名突破と文部省発表（農村恐慌激化） 前橋測候所新築落成 東京を中心に米よこせ闘争各地に波及 煙草の売行き、不況で激減  東京人口500万都市となる 大日本国防婦人会結成  群馬大同銀行創立（現群馬銀行） 楽泉園設立
昭和 8 年 (1933年)	3. 3 3. 24  4. 2 4. 4 4. 20 5. 6 5. 13 6. 23  8. 1 9. 24 10. 7  10. 29 11. 28	卒業式 終業式 新入生発表  同窓会総会 始業式 入学式 開校記念日 マラソン大会 関西旅行出発 ～13日 全国中等学校剣道大会 第3位 県下中等学校競技大会 第2位  県下中学校庭球大会シングルスで佐藤選手優勝 県下中等学校連合武道大会で剣道部第2位 水戸高校主催全国中等学校剣道大会で巣鴨商を破り優勝、松本選手個人優勝 明治神宮体育大会 庭球シングルス佐藤選手優勝 秋季野外演習	1 3  5 6 7 8 9 10 11 12	独にヒトラー内閣成立 新入生から絹の学帽採用（県） （生糸の国内消費から） 国際連盟脱退の詔勅頒布 第4期国定教科書使用開始  滝川事件起こる  丹那トンネル貫通 前橋放送局開局、ローカル放送開始 政府、満州移民大綱発表 国防議會生まれる（県） 鳥井峠開通式（県） 第1回関東地方防空大演習 県内秋の修学旅行に不参加者激増 外米輸入制限制公布 独国際連盟脱退を宣言  若槻民政党総裁襲撃未遂 警視庁、風教に害ありとして新劇場の「源氏物語」上演を禁止 皇太子御誕生
昭和 9 年 (1934年)	1. 4 2. 22 3. 3 3. 24 4. 1 4. 1 4. 5	軍人勅諭下賜記念日 予餞会 卒業式 終業式 入学式 4年生から第1種、第2種の課程を設ける 第10回同窓会総会 佐藤次郎選手死去	4	公立学校教員制服規定（県） 思想検事を設置





# 群馬県立渋川高等学校

〒377 渋川市並木町 6 7 8 - 3

TEL 0 2 7 9 - 2 2 - 4 1 2 0